

東京府會議員 伊藤武七郎君  
 正五位勳四等 前田多門君  
 復興局長官 中川望君

幹事

復興局書記官 武部六藏君  
 正六位勳五等 土岐銀次郎君  
 西村輝一君

議事

午前十時四十分開議

○菅原委員長 是ヨリ開會致シマス、前日ノ會議ヲ繼續致シマス、前回ハ第一二六號議案ノ大體ノ質  
 間ヲ了リ、意見ノ御陳述ガアツタノデアリマスガ、其御意見ニ付テ保留セラルル方々モアリマシテ  
 決議ヲ延バシテ居リマシタノデアリマス、此ノ場合前ニ保留セラレタ方ガ御意見ヲ御述ベニナツテ  
 ハ如何デアリマスカ、尙ホ當局ノ方カラモ、アノ際保留セラレテ居ル問題ニ付テ御調査ナサレタ其  
 ノ結果ニ付テ御報告ガアルサウデアリマス

○土岐計畫課長 前回ノ會議ニ於キマシテ鈴木サンカラ御話アリシマタ點ニ付キマシテ色々協議致シ  
 マシタ結果ヲ申上ゲマス、ソレハ第八條ノ受益者負擔金額ヲ減免スル規定デアリマス、其ノ第五號  
 ニ於キマシテ道路ノ新設又ハ擴張ニ要スル土地ヲ土地區劃整理或ハ耕地整理ノ施行ニ依リ無償ニテ  
 國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入シタル場合ニ於テハ減免スル規定ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ  
 國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入スル前ニ既ニ道路トシテノ效用ヲ開始シテ居ルモノハ、是ハ無償供  
 用ヲ認メテ受益者負擔金ヲ減免シテハドウカト云フ點デアリマス、原案ノ方ハ大體ニ於テ所有權ヲ  
 移轉スル場合ニ限ツテ減免スル方針ノ下ニ出來タ規定ナノデアリマスガ、土地區劃整理又ハ耕地整  
 理ノ施行ノ場合ニ於テハ、換地處分ヲ原則トシテ開設セラル、道路敷地ハ、國又ハ公共團體ノ敷地  
 ニ編入サレルノデアリマスガ、換地處分前ニ於キマシテハ、道路トシテハ早く效用ヲ開始シテ居ル  
 ノデアリマスガ、色々ノ事情ノ下ニ換地處分ガ非常ニ遅レル、斯ウ云フヤウナ場合ニ際シテ、換地  
 處分ノ際ニハ當然所有地ニ編入サレルベキ運命ヲ持ツテ居ル部分ニ對シテ無償供用ヲシテ、サウシ  
 テ受益者負擔額ヲ減免スルト云フコトハ適當デナイカ、斯ウ云フヤウナ御意見ナノデアリマシテ、  
 之ニ付キマシテハ當局ナリ又内務省ノ方トモ協議致シマシタ結果、區劃整理、耕地整理ノ場合ニ限ツ  
 テ供用スルト共ニ相當工事ガ進捗致シマシテ、受益者負擔金ノ減免ノ關係ガ明ニナリマシタ時期ニ  
 於テ之ヲ認ムルト云フ事ハ何等支障ガ無イ、斯ウ云フウナ風ニ協議シタノデアリマス、隨ツテ所



有權ヲ移シタ場合ニ限ラズ斯ウ云フ特殊ノ場合ニ於テハ、無償供用ノ場合モ減免スル方ガ宜イト云フ御意見デアリマスナラバ「無償ニテ國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入シ又ハ無償ニテ供用シタルトキ」斯ウ云フ文句ヲ入レマシテモ何等支障ハ無イノデハナイカト云フ風ニ考ヘタ次第デアリマスカラ一應御報告致シマス、ソレカラ其ノ次ニハ廣瀬サンカラ御話ノアリマシタ増課負擔ノ規定デアリマス、東京市ノ受益者負擔規程ニ於テハ土地ノ利用ノ狀況又ハ建物ノ階層ニ依リマシテ受益者負擔金額ヲ増課スルコトノ出來ル規定ガアルノデアリマス、本規程ニ於テハ之ヲ省イタノデアリマス、之ニ付キマシテ東京市ノ受益者負擔規程トノ關係上サウ云フ規定ヲ設ケテハドウカト云フ御意見デアリマス、ソレニ對シマシテ東京府トモ篤ト協議シタノデアリマスガ、大體ノ意嚮ト致シマシテハ、成ルベク其ノ規定ヲ設ケナイコトニシタイト云フコトニ協議シタノデアリマス、此ノ増課負擔ノ規定ニ二ツノ場合ガアリマシテ、一ツハ階層ニ付キマシテ、三階以上ノ建物ニ對シテ受益者負擔金額ヲ増課スル、斯ウ云フノト、モウ一ツハ土地利用ノ狀況ニ依ツテ受益者負擔金額ヲ増課スルト云フ二ツノ場合ガアルト考ヘマス、現在東京市デ増課負擔ノ規定ヲ適用シテ居リマスルモノハ、總建坪百坪以上ノ倉庫ヲ使用スル倉庫業、常時五十人以上ノ職工ヲ使用スル製造業石材木材鐵材業及常時三臺以上ノ自動車ヲ使用スル營業、右以外ノ自動車々庫ヲ有スルトキ是ハ七坪未滿ノモノヲ除イテアリマス、斯ウ云フ風ニ比較的道路ヲ使用スルコトガ多イ特殊ノ營業ニ對シテ受益者負擔ヲ課ス

ルコトニ現在ノ東京市ノ規程ハナツテ居リマス、斯ウ云フ二ツノ場合ガアルノデアリマスガ、東京府ノ現状カラ申シマスレバ、實際ニ未ダ開發ノ程度ガ少ナイノデアリマシテ、寧ロ相當階層ヲ有スル建物ノ建築ヲ希望スルヤウナ狀況デアリマス、其ノ程度ガ東京市内ニ於ケル狀況トハ餘程趣ヲ異ニシテ居リマスルノデ、サウ云フヤウナ階層ヲ有スル建物ノ敷地ニ對シテ特ニ増課規定ヲ設ケルト云フコトハ、東京府トシテハ希望シナイ、斯ウ云フ意見デアリマス、之ニ付キマシテハ東京市ノ方ト致シマシテハ、ドシ／＼市ノ收入ヲ増加スル意味ヲモチマシテ、強キ希望ガアリマシテ、此ノ増課負擔ノ規定ガ設ケラレタノデアリマス、東京府ノ現状カラ申シマスレバ、必ズシモソレ程ノ財政上ノ必要モ感ジテ居ナイ、殊ニ第一期ノ環狀線放射線ニ付キマシテ色々調査致シマシタ所、階層ヲ有スル建物ノ賦課ハ、現在ノ東京市ノ規程ニ依レバ増課サレル建物ニ付テ増課シマシテモ、實際増課シ得ル金額ハ非常ニ僅少デアリマシテ、假ニ一件ニ付キマシテ百圓トシテモ三萬七千圓位シカ收入ガ無イノデ、之ヲ三倍ニ考ヘテモ十萬圓程度デ、第一期環狀線放射線トシテ受益者負擔金トシテトシテハ必要ヲ感ジナイ、斯ウ云フヤウナ狀況デアリマス、次ニ土地利用ノ狀況ニ依ツテ増課負擔ヲ設ケル點デアリマスガ、是ハ現在ノ東京府ノ規定ハ、或ル種ノ營業者ニ對シテ負擔ヲ課スルコトニナツテ居リマスガ、是ハ研究ノ如何ニ依ツテ必ズシモ東京市ノ標準ニ依ラナケレバナラヌノデア



リマセヌカラ、更ニ適當ノ方法ガアレバ變ヘテモ宜イノデアリマスガ、之ニ付テモ色々研究シマシ  
 タノデアリマスガ、理論的ニ考ヘマスルト色々ノ點ヲ考ヘラレルノデアリマス、ドウモ實際實施ス  
 ルニ當リマシテハ非常ニ困難ヲ感ズルコトガ多イノデアリマス、結局實施上最モ公平ニ感ゼラル、  
 ヤウナ案ハ見當ラナイ、隨ツテ研究致シマシタ結果ト致シマシテハ此ノ規定ハ東京府ノ現狀ニ照ラ  
 シマシテ設ケラレナイモノデアルト云フコトニナツタノデアリマ線、尙ホ此ノ前ニモ申上ゲタノデ  
 アリマスガ、實ハ今度ノ受益者負擔規程ハ、所謂第二期ノ環狀ス放射線ノ受益者負擔規程ヲ設ケル  
 コトガ主眼デアリマシテ、ソレヲ追加スル際ニ多少今迄ノ條文ニ缺陷ノアリマシタ點ヲ、全文改正  
 ノ意味デ改正シタノデアリマスガ、既ニ第一期ノ環狀線放射線トシテハ其ノ工事が大分進捗致シマ  
 シテ、残りノ方ガ少ナイヤウナ時期ニ於テ、斯ウ云フ特殊ノ受益者負擔ノ規定ヲ設ケテ残りノモノ  
 カラ其規定ヲ適用スルコトハ、ドウモ穩當ヲ缺クノデハナイカ、若シ増課負擔規定ヲ設ケルトスレ  
 バ、是カラ新タニ施行スル第二期ノ環狀線放射線ニ對シテ適用スルヤウナ風ニ條文ヲ改正シナケレ  
 バナラヌノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレル以上ノ意味ヲモチマシテ、此ノ點ハ成ベク御入レ  
 ニナラヌヤウニ願ヒタイ

○菅原委員長 鈴木君ハ修正意見ヲ御述ベニナリマスカ

○鈴木委員 此ノ前ハ修正意見トマデ申シテ居リマセンデシタガ、他ノ委員カラモ同様ノ御意見ガア

ルヤウデアリマスシ、ソレカラ當局トシテモ入レテモ差支ナイ、斯ウ云フ御意見ノヤウデアリマス  
 カラ、或ハ修正意見トシテ御諮リヲ願ツタラ宜イカト思ヒマス

○菅原委員長 當局ノ方ニ伺ツテ見タイノデアリマス、無償ニテ供用シタルトキト云フノハ、他ニ例  
 ガ是マデアリマスルカ、アリマセヌカ

○土岐計畫課長 最近内務省ノ都市計畫課ノ方デ扱ツテ居リマスル他ノ都市デハ其ノ例ガアルノデア  
 リマス、但シソレハ土地區劃整理ノ場合ニノミ限ツテ居リマシテ、耕地整理ノ場合ニ認メタ例ハ初  
 メテノヤウデアリマス

○前田委員 修正ノ文句ハドウ云フヤウニナリマスカ

○鈴木委員 今當局カラ御説明ニナリマシタヤウニ此ノ編入シト云フ次ニ「又ハ無償ニテ供用」ト云  
 フ字句ヲ入レタラドウカト思ヒマス

○菅原委員長 此ノ前ノ總會ニ於テ決議ニナツタ横濱都市計畫事業、アレガ今審議シテ居ル案ト内容  
 ガ同ジニ出來テ居リマスガ、アノ當時決定サレタ場合ニハ供用ノコトガ問題ニナラズニシマツテ居  
 リマスガ、アレトノ關係ガドウ云フモノデアリマスカ別ニ差支アリマセヌカ

○土岐計畫課長 條文ノ文句カラ言ヒマスルト一方ガアル一方ガナイト云フ結果ニナルノデアリマス  
 ガ實際カラ申シマスルト區劃整理ナリ耕地整理ナリテ施行スル道路ガ開設スル場合ハ大體ニ於テ組



合ノ工事ノ進捗シタ場合デアリマス、サウ云フ場合ニ急イデ換地處分ヲヤレバ、必ズ無償供用ノ條文ヲ適用シナイデ減免スルコトガ出來ル、道路ダケガ先ニ出來テ換地處分ガ、遅レルト云フ例ガアルデアリマスガ、實際ノ扱ヒ上カラ申シマスレバ、此ノ規定ガ無イ爲ニ非常ナ不便ヲ感ズルコトモナカラウカトモ思ヒマス

○菅原委員長 如何デアリマスカ、此ノ問題ニ付テ別ニ御質問モナケレバ進ンデ行キタイト思ヒマスガ……

○伊東委員 今ノ御修正ノ意見ニ賛成致シマス

○菅原委員長 ソレデハ第一條カラ第七條マデハ別ニ御意見モナイヤウデアリマスガ、原案ノ通りデ御異議ハアリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○菅原委員長 ソレカラ第八條ノ第五號ニ鈴木君カラノ修正御動議ガアリマス、五號ノ末文ノ方ノ「編入シ」ノ次ニ「又ハ無償ニテ供用シ」ト入レル修正ノ御意見ガ出テ御賛成ガアリマスガ……

○牛塚委員 私ハ文句ノ續キヲ聽キタイノデアリマスガ、是ガ明瞭ニナルノデアリマセウケレドモ

「又ハ無償ニテ供用シタルトキ」ト云フコトヲズツト續ケテ讀メバ宜イノデアリマスカ、「國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入シ」之ニ「道路新設又ハ擴築ニ要スル土地ヲ」ガ續クノデアリマスカ、又後

マデ讀ムノデアリマスカ、「土地區劃整理又ハ耕地整理ノ施行ニ依リ無償ニテ供用シタルトキ」斯ウ云フノデアリマスカ

○土岐計畫課長 サウデアリマス

○牛塚委員 ソレデ意味ガ通ジマスカ

○菅原委員長 ソレデハ修正ノ御意見ニ御同意ノ方ハ舉手ヲ願ヒマス  
(舉手者多數)

○菅原委員長 御多數デス、ソレデハ左様ニ決シマス、第八條ハ今御修正ノ通りニ決シマシタ第九條以下附則マデ之ニハ別ニ御意見ハ無イヤウデアリマスガ、原案ノ通りデ御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○菅原委員長 御異議ハ無イモノト認メマス、ソレデハ東京都市計畫事業道路受益者負擔規程ハ決定ニナリマシタ——次ハ議第一二七號東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔ニ關スル件之ヲ議題ニ供シマス

○土岐計畫課長 私カラ本案ニ付キマシテノ大體ノ御説明ヲ申上ゲマス、此ノ澁谷川ノ改修ハ昭和二年ノ三月ニ決定ニナリマシタモノデアリマスガ、此ノ澁谷ノ宮益坂ノ下宮益橋ノ下流カラ天現寺橋



ノ古川改修ノ地點ニ至ル間ノ改修ノ工事デアリマス、現在ノ幅員ハ三間乃至五間アルノデアリマスガ之ヲ五間乃至七間ニ擴張致シマシテ、河底ヲ適當ニ浚深シテ兩側ノ護岸ヲ築キマシテ是ハ鐵筋「コンクリート」ヲ以テ施工スルコトニナツテ居リマス、之ニ付テノ受益者負擔規程デアリマス、便宜上前ニ御決定ニナリマシタ古川及目黒川ノ受益者負擔規程ト對照致シマシテ、其ノ異ナツテ居リマス點ヲ御説明申上ゲタイト思ヒマス、先ヅ第二條ニ於キマシテ受益者負擔ノ區劃ハ「河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側ニ於テ河川ノ幅員ノ三倍ノ地域トス」ト云フノデ區域ヲ三倍ニ致シタノデアリマス、是ハ古川ニ於キマシテハ三十間デアリマス、三十間ヲ幅員ノ倍數ニ致シマスルト、約三倍七分五厘ニナルノデアリマス、ソレカラ目黒川ハ五倍ノ地域ニナツテ居リマス、之ヲ目黒川ナリ古川ヨリモ狭メマシタ理由ハ、目黒川ハ舟運ノ便ガアルノデアリマス、澁谷川ハ舟運ノ便ハ無いノデアリマス唯水害ヲ豫防スルノガ主ナノデアリマス、隨ツテ目黒川ヨリ幅員ガ狭クナルノデアリマス、尙ホ古川ト比シマシテ幅員ガ狭クナルノデアリマスガ、古川ヨリモ洪水時ニ於ケル浸入狀況ガ實際上狭イノデアリマス、ソレデ幅員ノ三倍ト云フコトニ縮メタノデアリマス（圖面ニ就キ説明）是ガ澁谷川デアリマスガ、此ノ赤ノ區域ハ洪水時ニ於ケル浸水ノ地域デアリマス、此ノ上流ノ方ハ非常ニ水害ガ少ナイノデアリマス、幅員ハ比較的狭イ、上流ノ方ハ幾ラカ幅員ガ狭バマル關係ニナリマス、是ノ方ハ適當デナイカト云フコトデ何十間ト云フコトニ限ラナイデ、三倍ノ地域ト云フコトニシタノデアリマス、次ニ第三條ニ負擔區劃ヲ分チテ負擔區ヲ定ムルト云フコトノ規定ヲ置イタノデアリマス是ハ古川ノ方ニハ此ノ規定ヲ置イテナイ、即チ澁谷川ニ付キマシテモ、實ハ負擔區ヲ原則トシテハ定メナイ豫定デアアルノデアリマスガ、唯此ノ下流ノ古川ニ接シテ居リマスル部分ニ於キマシテ、年度割等ノ關係カラ、或ハ負擔區ヲ設クル必要ガ生ズルカモ知レナイ、サウ云フヤウナ程度デ、「負擔區ヲ定ムルコトヲ得」ト云フ規定ヲ置イタノデアリマス、全體ニ亘ツテハ負擔區ハ定メナイ豫定デアリマス、ソレカラ其ノ次ノ第四條デアリマス、是ハ古川及目黒川ニ比ベマシテ全然異ナツテ居ルノデアリマス、目黒川ナリ古川ナリハ、道路ノ受益者負擔ト同ジヤウニ、此ノ境界線カラ何間ノ幅員第一地帯、何間ノ幅員第二地帯ト云フ風ニ地帯ヲ分ケマシテ、負擔金額ノ等差ヲ設ケタノデアリマスガ、今度ノ澁谷川ニ付キマシテハサウ云フ地帯ヲ全然設ケナイコトニシタノデアリマス、サウシテ實際ノ水害ニ依テ被害程度ニ應ジマシテ、異ナツタ負擔指數ヲ定メマシテ、之ヲ基準トシテ負擔金額ヲ定メル、斯ウ云フ風ニシタノデアリマス、ト申シマスノハ澁谷川ハ現狀ガ非常ニ高低ガアリ且ツ被害ノ程度ガ、片側ニ於テハ非常ニ遠クマデ被害ガアリ、片側ニ於テハ殆ド被害ガ無い、斯ウ云フヤウナ現狀デアリマスルノデ、此ノ境界線カラ一定ノ幅員ニ依ツテ受益者負擔金額ヲ定ムルト云フコトハ、現場ニ合致シナイト云フ趣旨カラ、被害ノ程度ニ應ジマシテソレニ依ツテ負擔金額ニ等差ヲ設ケル、斯ウ云フヤウナ方法ヲ採ツタノデアリマス、サウシテ事業費ノ百分ノ十二箇半ヲ之ヲ

アリマス、次ニ第三條ニ負擔區劃ヲ分チテ負擔區ヲ定ムルト云フコトノ規定ヲ置イタノデアリマス是ハ古川ノ方ニハ此ノ規定ヲ置イテナイ、即チ澁谷川ニ付キマシテモ、實ハ負擔區ヲ原則トシテハ定メナイ豫定デアアルノデアリマスガ、唯此ノ下流ノ古川ニ接シテ居リマスル部分ニ於キマシテ、年度割等ノ關係カラ、或ハ負擔區ヲ設クル必要ガ生ズルカモ知レナイ、サウ云フヤウナ程度デ、「負擔區ヲ定ムルコトヲ得」ト云フ規定ヲ置イタノデアリマス、全體ニ亘ツテハ負擔區ハ定メナイ豫定デアリマス、ソレカラ其ノ次ノ第四條デアリマス、是ハ古川及目黒川ニ比ベマシテ全然異ナツテ居ルノデアリマス、目黒川ナリ古川ナリハ、道路ノ受益者負擔ト同ジヤウニ、此ノ境界線カラ何間ノ幅員第一地帯、何間ノ幅員第二地帯ト云フ風ニ地帯ヲ分ケマシテ、負擔金額ノ等差ヲ設ケタノデアリマスガ、今度ノ澁谷川ニ付キマシテハサウ云フ地帯ヲ全然設ケナイコトニシタノデアリマス、サウシテ實際ノ水害ニ依テ被害程度ニ應ジマシテ、異ナツタ負擔指數ヲ定メマシテ、之ヲ基準トシテ負擔金額ヲ定メル、斯ウ云フ風ニシタノデアリマス、ト申シマスノハ澁谷川ハ現狀ガ非常ニ高低ガアリ且ツ被害ノ程度ガ、片側ニ於テハ非常ニ遠クマデ被害ガアリ、片側ニ於テハ殆ド被害ガ無い、斯ウ云フヤウナ現狀デアリマスルノデ、此ノ境界線カラ一定ノ幅員ニ依ツテ受益者負擔金額ヲ定ムルト云フコトハ、現場ニ合致シナイト云フ趣旨カラ、被害ノ程度ニ應ジマシテソレニ依ツテ負擔金額ニ等差ヲ設ケル、斯ウ云フヤウナ方法ヲ採ツタノデアリマス、サウシテ事業費ノ百分ノ十二箇半ヲ之ヲ



一般ノ改修事業ニ依ル負擔金額トシテ、尙ホ負擔金額ノ總額ハ總事業費ノ四分ノ一デアリマス、即チ豫算額中橋梁費ヲ除キタル百五萬九千三圓ニ對シマシテ、其ノ四分ノ一ノ二十六萬四千七百五十圓ヲ負擔セシムル計畫デアリマス、其ノ半分ノ十二箇半ヲ一般ノ事業費ニ對スル負擔額ト定メタ、サウシテ第五條ニアリマス残りノ十二箇半ヲ、大體護岸負擔ノ意味ヲ以テ河川ノ境界線カラ兩側各々六間ノ區域内ニアル有租地ノ所有者ノミニ負擔セシムル、斯ウ云フ風ニシタノデアリマス、ソレデ古川ニ於キマシテハ、事業費ノ百分ノ十三ヲ一般負擔ニ、百分ノ十七ヲ護岸負擔ニシタノデアリマス、即チ古川ノハ總額ノ百分ノ三十ヲ負擔セシメ、目黒川ノ方ハ是ハ舟運ノ關係デ此ノ點ハ多少趣ヲ異ニシテ居リマス、ソレカラ第六條ハ是ハ全然新ラシイ規定ニナルノデ、「橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ前二條ノ事業費トスルコトヲ得」ト云フノデ、是ハ此ノ前古川ノ時ニ相當御研究ニナリマシタ點デアリマス新タニ規定トシテ設ケルノガ適當ト認メテ置イタノデアリマス、第七條、負擔金ハ之ヲ均等ニ四分シト云フコトニシタノデアリマスガ、是ハ目黒川ハ二十四分、古川ハ二十分ニナツテ居ルノデアリマス、之ニ付キマシテハ澁谷町長ノ意見トシテ二十分ニシテ貫ヒタイト云フ希望ガ出テ居ルノデアリマス、古川ノ場合ニハ護岸負擔ハ特別ニ重カツタ、サウ云フヤウナ意味デ二十分ニナツタノデアリマス、澁谷川ノ方ニ於キマシテハ一般道路ナリ目黒川トノ權衡ヲ取リマシテ十四分シ

テ七年間ニ納メサスコトガ適當デナイカト思フノデアリマス、ソレカラ八條デアリマス、負擔金ハ前年度ノ事業費精算額ニ依リ之ヲ算出スルノデ、負擔金ノ第一回ノ計算ニ付テハ前年度以前事業費精算合計額ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、目黒川ハ豫算額ニ依ツテ居ルノデアリマス、澁谷川ハ殆ド工事ニ手ヲ著ケテ目下施行中デアリマスノデ、事業費ノ精算額ニ依ツテ算出スルコトガ可能ナノデアリマスカラ、其方法ニ依ツタノデアリマス、大體ノ條文ニ付テノ點ハ今申上ゲタヤウナ次第デアリマス、尙ホ澁谷町長ノ意見ト致シマシテ、第二條ノ「幅員ノ三倍ノ地域トス」ト云フノニ對シテ五倍ノ地域ニシテ貫ヒタイト云フ希望意見ガ出テ居リマス、多分目黒川ノ例ニ依ツタモノデアラウト思ヒマスガ、此ノ點ハ先程御説明申上ゲタ趣旨ニ依リマシテ三倍地域ガ適當デナイカト思ツタノデアリマス、尙ホ之ニ付キマシテハ東京市ノ意見ヲ徵シマシタ所異議ガナイ、斯ウ云フ回答ガ來テ居リマス、尙ホ之ハ能ク事業執行者ニ於テ能ク調査サレテ定メラルベキモノナノデアリマスガ、浸水ノ狀況ヲ一應御參考ノ爲ニ測ツテ計算シタ點ニ付キマシテ、是ガ實際施行ノ際ニ相當變更サレルベキモノト思ヒマスケレドモ、其ノ點ニ付テ御説明申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ソレハ最近大正十四年八月カラ昭和二年九月、三年十月、四年五月、九月十月ニ於ケル降雨ノ際ノ浸水面積並ニ浸水狀況ヲ調べマシテソレニ依ツテ之レヲ凡ソノ基準トシテ計算シタノデアリマス、先ヅ大正十四年八月降雨量ハ四十五「ミリ」九デアリマシテ、此ノ際ハ非常ニ浸水地域ガ廣カツタ、ソレカラ



昭和四年五月ノ降雨量ハ三十「ミリ」デアリマス、昭和三年十月ノ降雨量ハ二十二「ミリ」デアリマス、此ノ時ノ降雨量ヲ大體標準ニシマシテ二十二「ミリ」ノ際ニ於ケル浸水地域、三十「ミリ」ヲ標準ニシマシタ時ノ浸水地域、四十六「ミリ」ヲ標準ニシマシタ時ノ浸水地域、是ノ面積ヲ調べテ見マスルト二十二「ミリ」ノ場合ハ二千七百五十一坪、三十「ミリ」ノ場合ハ八千八百八十一坪、四十六「ミリ」ノ場合ハ六千二百二十坪、斯ウ云フ計算ニナリマス、此ノ計算ニ基キマシテ負擔指數ヲ、假ニ一番降雨量ノ多イ際ニ於ケル坪當リ指數ヲ七トシ、其ノ次ガ五、其ノ次ガ三ト致シマシテ、尙ホ非浸水地域ヲ一・五ト云フ指數ヲ以テ計算致シマスレバ、浸水地ノ甲ノ場合ニ於ケル一坪當リ六圓六十錢、乙ノ場合ニ於ケル一坪當リ四圓七十二錢、丙ノ場合ニ於ケル一坪當リ二圓八十三錢、浸水地域外ガ一圓四十一錢、斯ウ云フヤウナ計算ニナルデアリマス、是ハ古川ノ場合ニ比ベマシテ其ノ第一地帯ノ分ト計算シテ見マスルト、多少澁谷川ノ方ハ重クナツテ居リマス、ソレハ地域ガ狭イ關係カラデアラウト思ヒマス、一般事業費ニ付テ申シマスレバサウ云フ風ナ數字ガ出ル、尙ホ護岸負擔ニ付テ計算シテ見マスレバ、一坪當リ七圓三十一錢デアリマス、是ハ古川ヨリ非常ニ安イ計算ニナリマス、是ハ其ノ時ノ浸水地域ノ實際ノ面積ナノデアリマスガ、今度ノ計算ニ於キマシテ、此ノ面積ヲ基準ニスルコトガ出來ルカドウカト云フ事ハ多少疑問ナノデアリマス、斯ウ云フ風ニ面積ハ調べテハ居リマスルケレドモ、此ノ面積ハ其ノ當時ノ本當ノ間違ハナイモノカドウカ、實際ノ浸水

狀況ヲ見マスレバ多少疑問ノ點ハアラウト思ヒマス、ソレデ實際ノ問題トシマシテハ、或ル一定ノ域ヲ取リマシテ、ノ其時ニ於ケル各降雨量ニ依ル水面ヲ調査致シマシテ其ノ水面ニ依ル高サヲ以テ甲ノ地帯、其ノ次ノ降雨量ニ依リマス、點ヲ乙其ノ次ヲ丙ト云フヤウナ風ニデモシテ計算スルコトニナラウカト思フノデアリマスガ、大體ノ方法トシマシテハサウ云フヤウナ方法ニ依リマシテ、或ル地域ニ於ケル負擔指數ヲ出シテ負擔額ヲ決定シタイト思フノデアリマス、ドウモ斯ウ云フ方法ニ依ルヨリ他ニ公平ナ負擔金ニ等差ヲ設ケル方法ハ無イヤウニ考ヘマス、從來ニハ無イ例デアリマスガ斯ウ云フ例ヲ探ルコトニ考ヘタノデアリマス、是ハ實際ニ於テハ事業執行者ニ於テ十分ニ御調査ノ上ニ、公平ナル負擔指數ヲ御定メテ願フコトト考ヘルノデアリマス、大體私ノ説明ハ是デ了リマスルガ、何か御質問ガゴザイマシタナラバ……

○菅原委員長 御質問ヲ願ヒマス

○鈴木委員 今ノ當局ノ御説明デ大要承知致シマシタガ、四條ノ負擔金ノ標準ハ、只今ノ御手許ニアル材料ハ假ノ御計算ノヤウデアルガ、六圓何十錢、五條ノ負擔金ハ七圓幾ラト云フコトデアリマスガ、ソレニ對シマシテ參考ニ古川ノ方ハ四條ニ依ツテ幾ラ、五條ニ依ツテ幾ラト云フコトヲ、大體デモ宜シウゴザイマスガ伺ヒタイ

○土岐計畫課長 古川ノ方ハ護岸ノ一坪當リハ三十圓八十錢、ソレカラ面積割ノ方ハ第一地帯ハ五圓



六錢、第二地帯ハ四圓五錢、第三地帯ハ三圓二十四錢、此ノ三ツノ地帯ニナツテ居リマス、ソレカラ目黒川ハ間口負擔ノ方ハ一坪當リ十圓二十一錢、ソレカラ面積割ハ、アソコハ運河區域ノ方ト治水區域ノ方ト分レテ、下流ハ運河區域、上流ハ治水區域ニナツテ居リマス、其ノ運河區域ハ第一地帯ハ四圓八十八錢、第二地帯ハ二圓八十一錢、第三地帯ハ一圓七十五錢、ソレカラ治水地帯ノ方ハ第一地帯ハ三圓三十八錢、第二地帯ハ一圓十八錢、第三地帯ハ五十錢デアリマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 此ノ澁谷川ノ護岸費ハ間口幾ラニナツテ居リマセウカ

○土岐計畫課長 一間當リ百八十圓デス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 矢張澁谷川ト古川ノ關係デ市長ハ異議ナシト回答ヲ出シテ居ルノデ今頃色々申上ゲルノハ何デアリマスガ、此ノ澁谷川ノ場合ニ護岸負擔ト、ソレカラサウデナイ一般負擔トヲ共ニ十二箇半ト云フ同ジ率デ來テ居リマスガ、古川ノ場合ニハ一方ハ百分ノ十三、一方ハ百分ノ十七ト云フコトニナツテ居リマスルガ、是ハ玆ニ一方ノ護岸負擔ニ重キ率ヲ以テ負擔セシムルト云フ主義ヲ今度、拋棄セラレタヤウナ形ニナルデアリマスガ、其ノ點ニ付テ何か特別ノ理由ガアリマセウカ

○土岐計畫課長 古川ノ場合ハ、護岸負擔ハ特ニアソコト護岸ハ其ノ個人ノ所有ニ移ルノデアリマス、ソレデ實際ノ護岸ハ市ノ方デヤリマシテ其ノ所有權ハ個人ニ移スト云フヤウナ關係ニナツテ居リマ

ス、澁谷川ノ方ハ矢張所有權ハ府ニ於テ持ツコトニナツテ居リマス、此點ハ他ノ目黒川ナリ澁谷川ト古川トハ關係ガ異ナツテ居ルダラウト思ヒマス、此ノ護岸負擔ノ關係ニ付テハ色々特別委員會デ論議サレタサウデアリマスガ、初メハ事業費ニ依ツテ分ケタラドウカト云フ案ガアツタラシイノデアリマスガ、色々ノ論議ヲ經テ十三ト十七、斯ウ云フヤウナ數字ニ決定シタノデアリマス、澁谷川ノ方トシマシテハ、別ニ何ニ依ルベキカト云フ正確ナル根據ハ無いノデアリマスガ、事業費ト護岸負擔トヲ半々ニスルト云フノガ大體穩當デナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、サウ云フ風ニ所有權ノ關係ガ古川ノ方ハ非常ニ違ツテ居リマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 サウ致シマスルト澁谷川ノ護岸工事ヲセラル、ニ付キマシテハ、護岸敷地マデ全部東京府ガ買ツテ居リマスカ

○土岐計畫課長 買ツテ居リマス

○渡邊委員 護岸費ハ澁谷川ノ場合ハ百八十圓、タシカ古川ノ方ハ三百圓位デアツタカト思ヒマスガ……

○土岐計畫課長 三百六十圓デス

○渡邊委員 七圓三十一錢ト云フノハ先程坪當リト云フ風ニ聽キマシタガ、サウデナク矢張一間當リト云フコトデアリマスカ



○土岐計畫課長 坪當リデス、間口デナク坪デス、今申上ゲタノハ坪當リデ、間口ニナリマスルトソレノ六倍ニナリマス

○渡邊委員 皆坪當リデスナ

○土岐計畫課長 サウデス、目黒川ダケガ間口デス——目黒川ハ間口デアリマス、間口ノ一間當リデナク間口ノ一坪リニナリマス、古川ノ方ハ護岸負擔ニナリマスガ、目黒川ハ舟運ノ關係ガアリマスカラ、護岸負擔ト云フ意味デナシニ——一坪ノ金額デス、本當ノ間口一間當リニナルト七十一圓五十三錢ニナリマス

○前田委員 片側ナンカハ全ク浸水シナイ所ガアルガ、古川ノ方ハ大ナリ小ナリ浸水スル

○土岐計畫課長 上流ニ行キマスルト非常ニ少ナイ、地帯ヲ分ケル譯ニイカナイ、非浸水地域トシテ負擔ヲ輕クスル

○前田委員 古川ノ方ハ少シハ浸シテ居ツタ、是ハ全然浸サナイ所ガアルノデアアルカラ、關係ガ今度ハ違フ、ダカラ幅ハ餘リ廣クハ取レナイ——ソレデ全然浸水ノ虞ノナイ所デモ區域ノ中ニ這ツテ居レバ負擔ハ掛カルノデスカ

○土岐計畫課長 サウ云フ事ニナリマス

○菅原委員長 此ノ儘議事ヲ御進行ニナリマスカ、又ハ他ニ調査方法ヲ御執リニナリマスカ、或ハ實

地ヲ御覽ニナリマスカ

○渡邊委員 此ノ前ノ護岸負擔ト一般負擔ニ付テ重イトカ何トカ言ツテ來テ居リマスカ

○土岐計畫課長 コチラニハ別ニ何モ言ツテ來テ居リマセヌガ、市ノ方ニハドウデスカ

○堀切委員代理廣瀬東京市助役 市ノ方ニハ護岸負擔ニ付テ重過ギルト云フ事ハ陳情シテ來テ居リマス

○前田委員 五倍ニシタイト云フノハ澁谷町ノ希望デスカ

○土岐計畫課長 サウデス

○次田委員 先刻前田君ノ質問ノ中ニアリマシタチツトモ利益ヲ受ケナイト考ヘラレル所ハ第四條ノ負擔指數ガ「ゼロ」ニナル譯デハナイノデアリマスカ、私ハサウ考ヘマスガ、ドウシテモ幾ラカ取ラレルノデアリマセウカ、前田君ノ御話ノ、高イ土地デ、ドンナ豪雨がアツテモ水害ヲ被ムルコトハナイダラウ——護岸ハ別デアリマスガ、サウデナク一般負擔ノ方ハドンナ洪水デモ被害ノ無イ所デモ負擔指數ハ「ゼロ」ニナラナイノデアリマスカ

○土岐計畫課長 「ゼロ」ニハナラナイノデアリマス、ソレハ幅員ノ三倍ノ所ハ浸水ガ無クテモ河川ノ改修ニ依ツテ受益ガアルモノト推定スルノデアリマス、水害ト云フ事ばかり、實ハ申シテ居ルノデアリマスガ、是ハ水害ヲ主ニシテ居ルノデアリマスケレドモ、規定カラ行キマスレバ、幅員ノ三倍



ノ間ハ浸水ガ無クテモ、受益ガアルモノト見テ、受益者負擔ヲ課スル、斯ウ云フ立前ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ之ヲ五倍トカ範圍ヲ擴ゲルコトハ面白クナイ、古川ノ方ハ三倍七分五厘ニナルノデアリマスガ、浸水ノ狀況ガ、範圍ガ廣イカラソレデ宜シイガ、此ノ方ハ成ベク狭クシタ方ガ適當デアラウ、唯浸水ノ狀況ニ依リマシテ三倍ノ區域以外ニ浸水スル場合ガアリマスレバ二條ノ二項デ内務大臣ガ三倍ノ範圍外ニ互ツテ負擔セシムルコトガ出來ル

○前田委員 之ヲ賦課スル時ニ五倍ニ擴ゲル方ニハ理由ガアル、目黒川ハ工費が高イカラ廣クシテ一坪當リヲ薄クシタイト云フノデアリマスカ

○古島委員 アレハ水運ノ便利ガアルガ是ハ水害ダケノ問題デアリマスカラ——河ガ擴ガツテ、今迄ハ舟ガ着カナカッタガ、今度ハ舟ガ着クト云フナラ別デスガ、澁谷川ハ雨水ダケノ問題デス

○前田委員 少シ苦情ガ起リサウデスネ

○古島委員 是ハ中々重大ナ問題デアリマスカラ、一度實地調査ヲシテ、其ノ上デ能ク考慮シテ定メルコトニシテハドウデスカ

○菅原委員長 尙ホ實地調査ヲスルガ宜カラウト云フ御説モアリマスガ、從來ノ例モ大抵ソウナツテ居ルヤウデアリマスカラ、實地調査ヲシテ然ル後ニ尙ホ十分ニ御審議ヲ願フコトニシテハ……

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 モウ一度御研究ヲ願ヒタイト思フノハ護岸負擔ト一般負擔トノ關係ハ此ノ方ハ共ニ十二箇半、古川ノ方ハ十三二十七、此ノ區別ヲシタ理由ニ付テ、所有權ノ歸屬ノ問題ヲ御話ニナリマシタガ、其ノ以上ニ證據ハ無カツタカドウカ、ソレヲ又理窟ヲ附ケ得ラレルカドウカ十分ニ御研究ヲ願ヒタイ、此ノ前ノ古川ノ時ニ所有權問題モアリマシタガ、兎ニ角立派ナ護岸ガ造ラレタソノ結果非常ニ利益ヲ受ケルノハソノ護岸カラ約六間ノ地域ノ者ガ非常ニ利益ヲ受ケルト云フ點デ、特ニ率ヲ重クシタト云フ理由ガ別ニアツタノデアリマシテ、唯所有權ノ歸屬ノ問題ダケダト非常ニ説明ニ困難デナイカト云フ氣ガ致シマスガ……

○土岐計畫課長 最初ノ原案ハ護岸ト一般改修工事ノ事業費ニ比例シタ案ダツタラウト思ヒマス、實ハ今度ノ案モ初メハ事業費ニ依ツテ計算シテ見タノデアリマス、サウスルト護岸負擔ハ比較的輕クナルノデアリマス、工事費ノ方ガ重クナルノデアリマスカラ、ソレデ目黒川ト同ジヤウニ何倍ト云フコトニシテ見タノデアリマス、レデ尙且七圓幾ラト云フ古川ニ較ベテ安イ數ガ出ルノデアリマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 ソレデハ今度迄ニ、事業費總額ト、ソレニ對スル護岸費ハ總額幾ラニナルカト云フ事ヲ古川ト澁谷川トヲ比較シタモノヲ數字デ拜見シタイト思フノデアリマスガ……

○土岐計畫課長 ソレハ分ツテ居リマスルガ、此ノ前ノ古川ノ時ニ委員會デ修正ニナツタ案デアリマスガ、其ノ時ノ速記録ニ依ツテモウ少シ能ク調査ヲ致シテ置キマス



○渡邊委員 尙ホ六條ニ付テ一寸伺ヒマスガ「橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ、是ハコノ前ニ古川ノ時ニハ」橋ナドハ市中ノ者ガ皆通ルカラ近傍ノ者ダケノ利益デナイト云フヤウナ意味デ除イタラ宜カラウト云フ議論ガアツタノデアリマスガ、兎ニ角橋ニ付テハサウ云フ議論ガ起ラウト思ヒマスガ、其ノ他特殊ノ工事ト云フノハ實例ハ分リマセヌガ、橋梁ノ場合ニシテモ、理由ハ特殊ノ附近ノ住民ノミニ課スルヨリハ、一般ニ負擔シタラ宜カラウト云フ趣旨デサウ云フ議論ガ出テ來タノデアリマス、必ズシモ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノト云フ意味ノミデハナカラウヤウニ思フ、金額ガ餘計要ルカラ受益者ニ負擔セシムルノハ氣ノ毒ダト云フノデアリマスカ

○土岐計畫課長 兩方ノ意味デアリマス

○渡邊委員 特別ノ事情アルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ト云フヤウニシテハ宜クハナイダラウカト思ヒマスガ……

○土岐計畫課長 特殊ノ工事ト云フノハ、或ハ「ダム」ヲ拵ヘルトカサウ云フ意味ト、尙ホ金額ニ於テモ少額デアレバ兎ニ角、多額ノ費用ヲ要スルモノデアルト云フニツノ理由ヲ併セテアルノデアリマス

○菅原委員長 實地調査ノ日ハ幹事ノ方ニ於テ適當ニ御定メヲ願フコトニシテ置イテ宜シウゴザイマ

スカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○菅原委員長 六日ノ午後一時半ニ此處ニ御集マリヲ願ツテソレカラ實地調査ニ臨ムト云フコトニ致シマス、ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス

午後零時十分散會



道路受益者負擔規程改正及澁谷川改修事業  
 受益者負擔ノ件實地視察

昭和五年三月七日(金曜日)午後一時半復興局集合

出張者氏名

委員長

平野四郎三十五 貴族院議員

菅原通敬君

委員

從四位勳四等

渡邊鐵藏君

東京府知事牛塚虎太郎君  
 代理地方法技師

來島良亮君

東京市長堀切善次郎君  
 代理東京市技師

永井松次郎君

東京府會議員

伊藤武七郎君

復興局長官中川望君  
 代理復興局書記官

土岐銀次郎君

幹事



正六位勳五等 西村輝一君

一四二

視察箇所

午後一時五十分復興局出發

- 1 慶應橋附近
- 2 豊澤橋附近
- 3 新橋附近
- 4 エビス橋附近
- 5 一本橋附近
- 6 比丘橋附近
- 7 八幡橋附近
- 8 宮益橋

午後四時三十分解散

道路受益者負擔規程改正及澁谷川改修事業受益者負擔ノ件  
第三回特別委員會議事速記録

昭和五年三月十二日(水曜日)復興局ニ於テ開會

出席者氏名

委員長

貴族院議員 菅原通敬君

委員

從四位勳四等 渡邊鐵藏君

內務書記官 鈴木敬一君

東京府知事牛塚虎太郎君 來來良亮君

代理地方技師 廣瀬久忠君

東京市長堀切善次郎君代 岡田周造君

理東京市助役 內務省地方局長次田大三郎君代理內務書記官 伊藤武七郎君

一四三



東京府會議員 内田 秀五郎君  
復興局長官 中 川 望君

幹 事

復興局書記官 武 部 六 藏君  
復興局書記官 土 岐 銀次郎君  
正六位勳五等 西 村 輝 一君  
復興局事務官 片 野 道 藏君

議 事

午後二時三十分開議

○菅原委員長 是カラ開會致シマス、前回ニ引續イテ議第二百二十七號議案ノ御審議ヲ願ヒマス、去ル六日實地調査ニ參ルコトニナツテ居ツタノデアリマスガ、同日雨天デアリマシタノデ順延致シマシテ、其ノ翌日七日ニ實地調査ヲ致シタノデアリマス、其ノ調査ノ結果ニ依ツテ尙又皆様ノ御考モアラウト思ヒマスガ、十分御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス、大分込合ツテ居リマスカラ、今日ハ成ベク懇談的ニ願ヒタイト思ヒマス

○土岐計畫課長 前回ニ廣瀬サンカラ、古川ノ受益者負擔ノ關係デ、護岸負擔ト一般負擔トノ割合ニ付テ、其ノ當時修正ニナリマシタ、根據ガドウカト云フ御尋ガアリマシタ、ソレニ付キマシテ、實ハ都市計畫委員會ノ其ノ當時ノ速記録ヲ調べテ見タノデアリマスガ、色々御議論ガアツタヤウデアリマスガ、結局懇談會ニ移リマシテ、懇談會ノ結果十三ト十七ト云フ割合ニナツタヤウデアリマス、其ノ懇談會ノ内容ニ付キマシテハ速記録ガアリマセヌノデ、其ノ理由ヲ此處デ正確ニ申上ゲル譯ニ參ラナイノハ甚ダ残念デアリマスガ、唯其ノ當時廣瀬サンガ、其ノ懇談會ニ御臨席ニナツテ居ツタヤウニ見受ケラレル、尙ホ私ノ聞イテ居リマスル所デハ、古川ノ方ハ所有權ヲ私人ニ移スト云フ關係カラ、護岸負擔ヲ成ベク重クスル、サウ云フヤウナ空氣ニ傾イテ、結局只今申上ゲマシタヤウナ數字ニ落付イタヤウニ承知致シテ居ルノデアリマス、速記録ニハ懇談會ノ内容ガ載ツテ居リマセヌノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、左様御承知ヲ願ヒマス

○菅原委員長 先日ノ實地調査ニハ、御出デニナラナカッタ方モアツタノデゴザイマスカラ、御參考ニナルカナラヌカ分リマガセヌ、私ノ見タ所ヲ、別ニ意見ヲ申スノデハアリマセヌガ、御參考ニ申上ゲテ申置キタイト思ヒマス、私ハア、云フ場合ニ初メテ臨ンダノデアリマスカラ、其ノ觀察スル所モ極メテ要領ヲ得テ居ラナカッタコトデアラウト信ズルノデアリマスガ、自分ノ觀察シタ所ヲ一寸申上ゲテ見マスルト第一ニハ第一條第一項ノ問題デアリマスガ、此ノ區劃ガ三倍ガ宜シイカ、或ハ四倍



ガ宜シイカ、更ニ又五倍ガ宜シイカト云フ事ガ、吾々トシテハ考ヘテ見ナケレバナラヌ事デアツタ  
 ノデアリマス、三倍ト致シマスコトガ相當ナリヤ否ヤト云フ事ニ付キマシテ自分ノ感ジマシタ事ハ  
 アノ河川ト相並行シテ電車ノ線路ガアリマス、若シ三倍ニスルト云フコトニナリマスルト、電車ノ  
 線路ト河川ノ中間ニ三倍ノ線ガ引カレルヤウナ場所ガ往々ニシテアツタノデアリマス、地形上カラ  
 言ヒマスルト、電車ノ線路デ區域ヲ限ツタ方ガ極ク適切ノヤウニ思ハレマスガ、若シ三倍ニスルト  
 云フコトニナルト、ソコマデ達セズシテ、其ノ電車ノ線路ト河川ノ中間ニ三倍線ヲ引カナケレバナ  
 ラヌト云フコトニナルト、其ノ間ノ場所ハ一體ドウスルカト云フコトハ考ヘナケレバナラヌ事デナ  
 イカト思ツタノデアリマス、第二ニハ此ノ地域ノ分ケ方デアリマス、浸水地ト非浸水地トニ分チマ  
 シテ、其ノ浸水地ヲ甲乙丙ノ三ツノ地域ニ分ケ、非浸水地ヲ一ツニシテシマフト云フノガ只今ノ原  
 案ノ方ノ御調ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ三地帯ニ浸水地ヲ區分スルガ適當カ、或ハ四分ス  
 ルコトガ適當カ其ノ邊ヲ考慮シナケレバナラヌ事デアアル、更ニ又無浸水地ニ致シマシテモ、色々狀  
 況ガ違フノデアリマス、土地ガ高イ爲ニ全然其ノ川ノ兩岸ハ浸水セザル一帯ヲ成シテ居ルト云フ無  
 浸水地モアリマス、ソレカラ兩側ハ浸水サレテ居ルガ、距離ガ遠イ爲ニ浸水セヌト云フ場所ガアル  
 サウ云フヤウニ自ら區分ガアルヤウニ考ヘタノデアリマス、及ビ無浸水地ニ於テモ、或ハ浸水地ノ  
 一番下位ニ屬スル、負擔ノ歩合ノ少ナイ場所ト同ジ、或ハソレ以下ノ負擔ヲサレテモ正當デナイカト

思フヤウナ場所ガナイデモナカツタノデアリマス、サウ云フ所ハドウスルガ宜シイカ、次ニハ只今  
 當局カラ御話ノアリマシタ護岸ノ負擔デアリマス、隨分護岸ノ利益ヲ受クル者ガ多イヤウニモ感ゼ  
 ラレルノデアアルカラ、一般負擔ト護岸負擔トノ割合ト云フモノハ、五分々々ノ割合デアリシイモノカ  
 ドウカト云フ事モ是モ審査セラル、必要ガアラウト思フ、ソレカラモウ一ツハ此ノ護岸ニ當ツテ鐵  
 道ノ高架設備ガアリマス、護岸其ノモノガ其ノ高架線ノ建設物ノ基礎ヲ成シテ居ルト云フヤウナ部  
 分ガ大分長クアルノデアリマス、此ノ護岸ノ出來ルコトニ依ツテ其ノ鐵道ノ護岸設備ト云フモノガ  
 補強セラレ安全ニナル、若シ護岸ガ出來ヌト云フト、其ノ基礎ヲ表ハシ、其ノ床ガ壞レテシマフト  
 云フヤウナ所ガアル、サウ云フヤウナ者ニハ當然經費ヲ負擔サセテ然ルベキモデノアルト云フヤウ  
 ニ思ハレタノデアリマスガ、現行ノ都市計畫法施行令ノ第九條第四號ニ規定セラレタル受益者ニ付  
 テハ、有租地ニ限ツテ負擔ヲ命ズルコトニナツテ居ル斯様ナ鐵道用地ノヤウナ免租地ニ對シテハ負  
 擔ヲ命ズルコトガ出來ヌヤウニナツテ居ルヤウデアリマス、是等ハ或ハ立法部ニ於テ更ニ考フベキ  
 モノデハナイト云フヤウニ感ゼラレルノデアリマス、是等ノ諸點ガ私ノ一寸感セラレタ所デアリマ  
 スカラ御參考ニ申上ゲマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役

澁谷川ト古川トハ上流下流ノ關係ガアリマシテ、非常ニ密接ナ關係ガアリマス、此ノ澁谷川ノ受益



者負擔ノ決定如何ハ、矢張古川ノ既ニ決定セラレテ居ルモノニモ相當ニ強イ影響ガアルコトダラウト思ヒマス、コノ間御伺ヒ致シ、尙ホ自分デモ色々此ノ古川ノ受益者負擔ノ際ノ模様ヲ考ヘテ見マスト、護岸負擔ト一般負擔トノ問題ニ付キマシテハ、隨分其ノ當時議論ガアリマシテ、數日委員會ヲ開イタヤウニ記憶致シテ居リマス、ソレデ只今當局カラ御話ノヤウニ、古川ノ場合ニハ護岸ノ土地ノ所有者ニ與ヘルノハ東京市ノ慣行デアリマスカラ、ソレデ護岸負擔ヲ一般負擔ヨリ率ヲ高クシタト云フ事ダケハ速記録ニ殘ツテ居ルヤウデアリマスガ、當時私モ矢張其ノ會議ニ參加致シマシテ、其ノ當時ノ模様ヲ考ヘテ見マスト、無論此ノ護岸負擔ヲ一般負擔ヨリモ高ク致シマシタ根據ニ付キマシテハ、只今ノ所有權ノ歸屬ト云フ事モ一ツノ重要ナル問題デアツタト思ヒマスガ、ソレト、當時現場ニ臨ンデ視察シタ一般委員ノ方々ノ御意嚮ハ、只今委員長ノ研究ヲ要スルト云ハレタヤウニドウモ立派ナ護岸ガ出來テ居ツテ、此ノ護岸ニ依ツテ直接利益ヲ受クル者ハ、此ノ護岸ニ接スル土地ノ所有者ガ非常ニ利益ヲ受クルヤウニ感ズルト云フ感ジガ相當ニ強カツタヤウニ記憶致シテ居リマス、ソレデ東京市ノ受益者負擔ノ規程ニ於テハ、護岸負擔ヲ百分ノ十七、一般負擔ヲ百分ノ十三ト云フコトニ定メラレタデアリマスガ、元來受益者負擔ヲ、古川ノ場合ニハ百分ノ三十ヲ取ルコトニナツテ居リマスガ、澁谷川ノ方ハ百分ノ二十五ト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマスノデ、此ノ百分ノ二十五ヲ取ルカ百分ノ三十ヲ取ルカト云フ事ハ、是ハ其ノ事業ヲ執行スル事業團體ノ財

政上ノ必要ト云フ事ガ中心ダト思ヒマス、隨ツテ東京府ハ財政上東京市ニ比シテ遙ニ餘裕ガアル譯デアリマス、之ヲ百分ノ二十五ニスルカ百分ノ三十ニスルカト云フ事ハ、是ハ事業ヲ執行スル團體ノ財政上ノ問題デアリマスカラ、仕方ガ無イト思ヒマスガ、唯百分ノ三十ナリ百分ノ二十五ナリノ範圍ニ於テ、ソレヲドノ程度マデ護岸負擔ニ持ツテ行クカト云フ事ハ、是ハ矢張事業執行團體ノ如何ニ依ツテ區別スベキモノデハナクテ、矢張受益ノ實際ニ應ジテヤルベキモノデハナイカト思フノデアリマス、サウシマスト、既ニ都市計畫委員會ニ於テ、古川ノ受益者負擔ノ場合ニハ百分ノ十七ヲ以テ護岸負擔トシ、百分ノ十三ヲ以テ一般負擔トスルト云フ事ヲ御決定ニナリ、サウシテソレヲ内務省令トシテ御發表ニナツテ居リマシテ、ソレニ依ツテ東京市ハ其ノ執行ニ當ツテ居ル譯デアリマスガ、矢張是ト相續スル澁谷川ニ於テ、其ノ率ヲ矢張百分ノ十三、百分ノ十七ノ率ニ相應ズルヤウニ定メラレルコトガ、古川ノ受益者負擔ヲ定メタ當時ノ委員會ノ意見ヲ見マシテモ、又今日内務省令トシテ出テ居ル規程ヲ見マシテモ、今回ノ護岸負擔ノ率モ亦少シク高ムベキモノデハナイカト云フ感ジヲ致ス譯デアリマス、其ノ點ニ付テ百分ノ十二箇半ト云フ原案ヲ以テ何處迄モ宜イモノデアルト云フコトニナリマスルト、東京市ニ關スル内務省令ノ規程ト、主義ノ矛盾ガ起ルト云フヤウニ私ハ感ズル譯デアリマスガ、未ダ修正トカ何トカ問題デアアリマセヌガ、其ノ點ニ關スル當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、



ソレカラ序デアリマスカラ第二ノ問題ニ入りタイト思ヒマスガ、ソレハ護岸負擔ヲスル範圍ノ問題デアリマスガ、第五條ニ依リマスルト、「各六間ノ區域内ニ在ル有租地ノ所有者ヲシテ」云々ト云フコトニナツテ居リマス、此ノ六間問題ニ付テモ少シク疑問ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、ソレニ古川ノ受益者負擔ヲ決定スル場合ニハ六間ニナツテ居リマスガ、其ノ當時護岸負擔ヲセシムベキ範圍ハドノ程度ニスベキカト云フ事ハ隨分議論ガアリマシタ、是ハ勿論認定ガ加ハル譯デアリマスガ、併シ之ヲ數字的ニ説明致シマスレバ、古川ノ護岸ノ高サハ十五尺デアリマシテ、ソレノ土壓ノ關係ハ何處マデ及ブモノカ、ドウ云フ工合ニナルモノダラウカト云フ事ヲ中心ニシテ考ヘマシテ、六間ト云フノガ適當デアラウ、大體宜カラウガ、ソレニ尙ホ實際ヲ視察シタ結果其ノ認定ヲ加ヘテ、六間位ガ宜カラウト云フ事ニ決定シタヤウニ覺エテ居リマス、今回ノ澁谷川ニ於キマシテハ護岸ノ高サハ、古川ノ護岸ノ高サニ比シマシテ約三尺低ク設計セラル、ヤウニ聞イテ居リマス、即チ十二尺デアリマス、隨ツテ若シ土壓ノ關係ヲ考慮シテ、ソレニ認定ヲ加ヘテ護岸負擔ヲ負擔セシムル範圍ヲ定ムルコトニナリマスレバ、一方ガ十五尺デ一方ハ十二尺デアレバ澁谷川ハ六間デハ不合理デハナイカ、護岸負擔ノ範圍ハ尙ホ研究ヲ要スル問題デナイカト思ヒマス、此ノ二點ニ付キマシテ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○菅原委員長 澁谷川ノ方ハ護岸ノ所有權ハ與ヘナイト云フコトニナツテ居ルノデスカ

○土岐計畫課長 サウデハ

○菅原委員長 ソレハ與ヘル譯ニハイカヌノデアリマスカ、ドウ云フ譯デスカ、併セテ御説明ヲ願ヒマス

○土岐計畫課長 與ヘルト云フノハ東京市ノ慣例デ、東京府デハサウ云フ慣例ニナツテ居リマセヌノデアリマス——廣瀬サンノ御質問ニ御答ヘ申上ゲマス、澁谷川ノ護岸負擔ト一般負擔トノ負擔ノ區分デアリマスガ、ソレニ付キマシテ古川トノ權衡上十二箇半ト云フ風ニ定メタノハ護岸負擔ガ輕イノデハナイカ、斯ウ云フ御質問デアリマス、最初私共ガ考ヘマシタノハ總體ノ事業費ニ對シテ四分ノ一ヲ受益者負擔トシテ課スルノデアリマスガ、其ノ中デ一般負擔ト護岸負擔トノ割合ヲ如何ニスベキカト云フ點ニ付キマシテハ、コノ間申上ゲマシタ通り、護岸ノ事業費ト其ノ他一般工事ノ事業費ノ割合ニ一應ハ據ツテ見タノデアリマス、サウ致シマスルト、總體ノ事業費ノ百十四萬圓ニ對シテ護岸費ハ四十一萬六千圓デテリマス、之ニ依ツテ割合ヲ取リマスルト、一負擔ハ百分ノ十五、護岸負擔ハ百分ノ十、斯ウ云フヤウナ數字ニナルノデアリマス、之ニ付テ色々考究致シマシタ結果護岸負擔ハドウモ宜過ギル嫌ガアリマス、護岸負擔ヲ百分ノ十二半、一般負擔ヲ百分ノ十二半、斯ウ云フヤウニ半々ニスルノガ適當デナイカ、サウ云フ意味デ定メタノデアリマス、古川トノ權衡問題ニ付キマシテハ、古川ハ先程申上ゲマシタヤウニ、其ノ護岸ノ所有權ヲ私人ニ移スト云フ關係ガ



アリ、府知事ノ執行スル澁谷川ノ改修ニ於テハ、護岸ハ矢張り東京府ニ所有權ガ存スルト云フ關係ニナリマスノデ、此ノ間ニ區分ノアリマスコトハ、其ノ事情ガ違フノデアリマスカラ、已ムナキ結果ニ屬スルノデハナイカト思フ、尙ホ私共ノ承ツテ居リマス所デハ、古川ノ現在ノ護岸負擔ニ對シテハ、多少負擔ガ重イト云フ風ノ話モ實ハ聞イテ居リマス、澁谷川ノ關係ヲサウ云フヤウナ程度ニ迄引上ゲマスコトハ、護岸負擔ト致シマシテハ、却テ古川トノ權衡上酷ニ失スルヤウナ風ニ考ヘラレルノデアリマス、先ヅ百分ノ十二半位ノ程度ガ、サウ云フ意味ニ於キマシテ却テ古川トノ權衡ヲ得テ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、尤モ古川ニ於キマシテハ、護岸ノ方ノ一坪當リハ、コノ前申上グマシタヤニ、澁谷川ニ比ベマシテ約百圓以上ノ額ニモ達シテ居リマス、個人負擔カラ申シマスルト、澁谷川トハ比較ニナラナイ關係ニアリマス、ソレ等ノ事情カラ致シマシテ、此ノ位ノ程度ガ適當ダト考ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス、次ニ護岸ヲ負擔セシムベキ地域デアリマスガ、其ノ地域ヲ六間ノ區域内ノ土地ヲ有スル所有者ニ課スルコトニ致シマシタノハ、古川ト同ジ例ニ據ツタノデアリマスガ、先程御話ノアリマシタヤウニ、此ノ六間ノ幅員ヲ採リマシタ理由ハ、矢張基礎ト致シマシテハ土壓ノ關係ニ依ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點カラ申シマスレバ、多少論理ニ合ハナイヤウナ風ニモ考ヘラレルノデアリマス、同ジ河川デアリマシテ改修ノ計畫ハ十二尺ト十五尺ノ差異ガアルノデアリマス、其ノ土壓關係ノミニ依ツテ其ノ幅員ヲ定メタト云

フダケデハナク、ソレニ付キマシテハ、或ハ土地ノ事情ナリ河川ノ兩側ノ地質等ニ依リマシテ多少ノ差異ガアルノデアリマス、尙又土壓ハ六間幅トシテ二十五度ノ角度ニ於テ古川ノ幅ハ計算シタノデアリマスガ、此ノ二十五度ノ角度ニ於テ土壓ヲ計畫シタト云フ基礎ガ果シテ絶對ノモノデアルカドウカト云フ事ニ付キマシテモ、多少ノ疑問ガアリマス、此ノ際唯六間ノ幅員ト云フ事ノミヲ採ツタノデアリマシテ、土壓ノミノ計算ニ依ラナカッタヤウナ譯デアリマス、ソレデ實際ノ地形ニ依リマシテ、多少御變更ニナリマシテモ已ムヲ得ナイカト存ジテ居リマス、此ノ前ノ古川ノ際ニ於キマシテ、六間ト云フ事ヲ定メマシタ際ニ於テモモウ少シ土壓ノ關係ヲ擴張シテ八間位ニシテハドウカト云フ御尤モナ意見モアツタノデアリマス、護岸負擔ヲ比較的輕クスル意味カラ申シマスレバ、範圍ヲ擴張シテ考ヘルコトガ適當ナヤウニモ思フノデアリマス、理論上ノ基礎トシテハ土壓ノ關係ニ依リマスノデ、其ノ及ブ範圍ノ見方ニ依リマシテ變化スルノデアリマスカラ、古川ト同ジ基準ニ置クトシマスレバ、多少是ガ幅員ヲ縮メナケレバナラヌ結果ニナルノデアリマス、サウ云フヤウナ事情ニナツテ居ル事ダケ申上ゲマス

○渡邊委員 今ノ廣瀬サンカラノ御尋ノコトデアリマスガ、私モ其ノ當時關係シテ居リマシタカラ其ノ當時ノ模様ヲ一寸記憶ノアルダケ申上ゲタイト思ヒマス、古川ノ時ノ負擔ハ、大體ニ於テ負擔ガ重イト云フ意見ハ其ノ當時アツタノデアリマス、併シ國庫補助ハナクナツタノデアアルカラ、財政上



已ムヲ得ナイト云フ市ノ方ノ御説明デアツタノデアリマス、併シ出來ルダケ是ハ受益者負擔ヲ減サ  
 スト其ノ土地ノ負擔力又受益ノ程度ニモ副ハナイノデハナイカト云フ風ナ意見モ大分アリマシタカ  
 ラ、最初ノ案ハタシカ百分ノ四十ト云フコトニナツテ居ツタト思ヒマス、サウシテ一般負擔ガ百分  
 ノ二十八デ護岸負擔ガ十二デアツタト思ヒマス、其ノ百分ノ四十ヲモウ少シ下ゲヨウト云フノデ、  
 段々實地視察ヲシタ結果事業ノ模様影響ノ模様等ヲ見タ上デサウ云フ事ニナリマシテ、結局百分ノ  
 三十ト云フ所マデ落付イタノデアリマス、實ハ私個人トシテハモウ少シ低ク、百分ノ二十五位ガ宜  
 ササウニ思ツタノデアリマスガ、委員會デ多數ヲ以テ決定シタノデアリマス、ソコデ其ノ内譯ヲド  
 ウスルカト云フ事ニナツタ時ニ之ヲ十二ト十八ニ分ケルトカ、十六ト十四ニ分ケルトカ色々澤山ノ  
 案ヲ御作りニナツタノデアリマスガ、結局十三ト十七ニ落付イタノデアリマス、ドウシテ斯ウ云フ  
 事ニ落付イタカト言フト、委員會ノ席上デモ又實地視察ヲシタ當時ニモ委員ノ中ニ護岸ノ所有權ガ  
 個人ニ移ルノデアルカラ、公共團體ニ護岸工事ヲヤツテ貰ツテソレガ自分ノ物ニナルノデアルカラ  
 半分ハ愚カ四分ノ三モ費用ヲ出サセテモ宜イデヤナイカト云フヤウナ考モ一方ニ出テ居ツタノデア  
 リマス、尙ホ古川沿岸ハ特殊ノ事情ガアリ、沿革的ニモウ少シ廣イ所デアツタノヲ、或ル二三考ノガ  
 埋立ヲシテ土地ヲ造ツタ、其ノ爲ニ今日ハア、云フ風ニ汎濫スルヤウニナツタ、其ノ人達ハ自分ハ  
 儲ケテ他ニ迷惑ヲ探ケ、今日ハ工事ヲシナケレバナラヌヤウニナツタノデアルカラ、少シ重ク掛ケ

テモ宜イト云フ空氣ガアツタノデアリマス、又極ク一部分デアリマスガ、運河的ニ利用ガアルト云  
 フ意見モ多少アツタ譯デアリマスガ、川下ノ方ニハ大體ハ今申シタ特殊ノ事情、即チアレハ元埋  
 立テタ所デアアル、サウシテ個人ノ所有ニナルト云フ所カラ、護岸負擔ヲ重クシヨウデヤナイカト云  
 フコトニナツテ、兩者ノ振合ヲ定メラレタ、原案デハ一般負擔ガ二十八デアツタノガ十三ニナリ、  
 護岸負擔ハ十二ガ十七ニナル、斯ウ云フコトニナツテソレデ決定シタノデアリマスガ、ソコデ私ハ  
 實ハサウ云フ事情ガアルカラ、護岸負擔算盤ヲ彈イテ、是レ位重イ事ヲ知ラナカツタノデアリマス  
 ガ彈イテ見ルト、是ハ中々重イ負擔デアルト思フアレダケノ大キナ地所ヲ地主ハ多分三人位デ持ツ  
 テ居ル、ソレ等ノ人ハ七年間受益者負擔ヲ納メルノデ、現在ノ地代收入ヲ全部出シテモ恐ラクハ足  
 リマイト想像シテ居リマス、可ナリ大キナ負擔ニナルノデアリマス、唯併シ是ハ前ニ利益ヲシテ居  
 ツタカラ宜カラウト云フ意味ガアツタカ知レマセヌガ、是ハ確ニ若痛ダラウト云フ事ハ想像サレル  
 ヤウニ思ヒマス、併シ此ノ古川ノ場合ニハ沿革的ノ事情ガアリ、之ヲ速クヤツテ吳レト申出タ事情  
 モアリ、ヤツテ見ルト負擔ガ重イト言フノハ我儘デナイカト云フコトモアリマスガ、此ノ澁谷川ノ  
 方ニナリマスルト、今ノヤウナ特殊ノ地主ノ關係モ無イノデハナイカト思ヒマス、私ハ能クハ知リ  
 マセヌケレドモ——サウスルト特ニ護岸負擔ヲ重クシテヤラウト云フヤウナ考モ出テ來ナイト思ヒ  
 マス、尙ホ是ハ私ノ考ニナリマスガ、一體アノ下水的ノ工事デアリマスカラ、土管ヲ埋メルノト大



差ハナイヤウニ思フノデアリマスガ、川ヲ擴ゲレバ護岸ハ自然的ニ造ラナケレバナラヌ設備デアリマシテ、川幅ヲ擴張シ、水深ヲ深クスルニ付テハ兩岸ノ保護ノ爲ニハ、ドウセ必要ナ設備デアリマシテ、必ズシモソレガ爲ニ、川ヲ利用シテ居ル者デモナイ限リハ、兩岸ノ地主ガ特ニ利益ヲ受ケルト云フコトハ、ソレ程無イノデハナイカト思ヒマス、サウ云フ意味カラ言ヘバ、古川ト澁谷川トガ護岸負擔ノ權衡ガ取レナイ、澁谷川ノ方ガ低クナツテモ一向差支ナイノデハナイカ、斯ウ云フ氣ガスルノデアリマス、併シ幾ラカ一般ノ地主ヨリ少シ重イ負擔ト思量スル位デ原案ガ出テ居ルノデアリマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 私ガ古川ト同ジヤウナ負擔ニシテ貫ヒタイト云フ意味ハアリマセヌノデ、總金額ハ矢張百分ノ二十五デモ是ハ宜カラウ思ヒマス、ケレドモソレヲ一般負擔ト護岸負擔トニ分ケル場合ニ古川ト同ジヤウニ高クセヨト云フノデナクシテ、一般負擔ノ方ハ十二半ヲ例ヘバ十一ニ下ゲルトカ護岸負擔ノ方ヲ十四ニスルトカ云フヤウナ風ニ、一般負擔ト護岸負擔トノ割合ヲ變ヘテ貫ヒタイト云フ意見デアリマスガ、是ハ總額自體ガ百分ノ二十五ト云フコトニナツテ居リマスカラ、是ハ東京市ト東京府トノ財政状態ニ依ルコトデ仕方ガナイト思ヒマスガ、唯其ノ割合ヲ變ヘテ貫ヒタイト、實際護岸ニ依ツテ其ノ保護サレル近邊ノ土地ハ非常ニ大キイト思ヒマス、ダカラ矢張相當ニ是ハ負擔シテモ宜イノデハナイカ、今ノ古川ハ特殊ノ事情ガアルト云フ事ハ、是ハドウモ

餘リ理窟ニハ致シタクナイト思ヒマス、ケレドモ矢張、古川ノ埋立ヲシテ第一次ノ利益ヲ地主ガ得タト云フ事ノ關係ハ、澁谷川ニアツテモ同様ニ、矢張其ノ近邊ノ地主ハ埋立テテ利益ヲ得タコトデアルト思ヒマスガ、矢張法律上東京府知事ノ認可ヲ得テ埋立テタコトデアリマスカラ、是ハ餘リ問題ニシナイデ、實際現場ニ臨ンデ見テ、立派ナ護岸ガ出來テ利益ヲ受クルモノハ矢張近所ノ者デアルト云フ感ジガ強イ、他ノ川ニ於テモ護岸ノ負擔ヲ増シテアル以上ハ、同ジ百分ノ二十五ノ範圍内ニ於テモ十二ト十四ニスルトカ、ソコニ何等カノ差等ガアルヤウニスルコトガ、同ジ内務省令ノ下ニ於テ同ジ古川ニ付テハサウアルベキモノデハナイカト思ヒマス

(少時懇談)

○次田委員代理岡田内務書記官 此ノ負擔區劃ハ河川ノ兩側ニ於テ河川ノ幅員ノ三倍ノ地域トスト云フコトニナツテ居リマシテ、同ジ其ノ地域内ニ於ケル土地デアリマシテモ、此ノ河川ノ改修ニ依ツテ受クル利益ニハ厚薄ノ度合ガ勿論アル譯デアリマセウガ、其ノ場合ニ此ノ規定ノ取扱ハドウ云フ風ニナルノデアリマスカ、極メテ幼稚ナ質問デアリマスケレドモ、四條ノ一號ノ趣旨ニ於テ、多少今迄ノ規程ト異ナツタ規定ニナツテ居ルノデアリマシテ、ドウ云フ風ニ働クカト云フ事ガ疑問ニナリマスノデ、受クル利益ガ非常ニ少ナイ、或ハ殆ド利益ヲ受ケナイト云フ土地ニ於テモ、其ノ區域内ニ這入レバ、或ル程度ニ必ズ負擔ヲ受ケルノデアリマスカ、四條若クハ九條ノ働キニ依ツテサ



ウ云フ場合ニハ負擔ヲ受ケズニ濟ムコトガ出來ルノデアリマスガ、此ノ規程ノ、實際ニ負擔ヲ課スル場合ノ働キ方ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○土岐計畫課長 只今ノ岡田サンノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマス、此ノ浸水地域中ニ於テ、利益ヲ受クルコトノ殆ド無イト云フヤウナモノガアツタ場合ニハ、之ヲ第四條ノ第一號ノ適用ヲ「利益ヲ受クル厚薄」ト云フ此ノ「薄」ノ意味ヲ全然利益ヲ受ケナイ所ハ「ゼロ」トシテ計算ヲスルカドウカ又サウ云フヤウナ受益ノ無イヤウナ場合ニハ、第九條ノ二號ノ土地ノ狀況ニ依ル減免規定ニ依ルカドウカ、斯ウ云フ風ナ御質問ノヤウデアリマスガ、實ハ此ノ案ヲ拵ヘマシタ時ノ精神カラ申シマスルト第二條ニ於テ受益ノ區域ハ、河川ノ幅員ノ三倍ノ地域ト致シマシテ、其ノ三倍ノ地域内ニ於テハ受益ノアル土地、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、其ノ區域内ニ付キマシテハ、第二項ノ例外ガアリマスガ、之ヲ假ニ考ヘナイト致シマスルト、其ノ區域内ニ於テ、利益ヲ受クル厚薄ニ依リマシテ負擔指數ヲ定メルト云フ規定ニナツテ居リマス、是ハ一々各土地ニ付キマシテ、評價ヲ致シマシテ此ノ土地ニ付テハ是ダケノ受益ガアルト斯ウ云フ風ニ考ヘテヤリマスレバ、最モ理想的デアリマスケレドモ、實際問題トシテハサウ云フ譯ニハ出來マセヌノデ、唯從來ノ古川ナリ或ハ道路ノ受益者負擔規程ノヤウニ、第一地帯、第二地帯、第三地帯ト云フヤウナ風ニ、河川ナリ道路ノ、單ニ幅員ノミニ依リマシテ、地帯ヲ分ケマス其ノ代リニ、浸水其ノ他ノ狀況ニ依リマシテ利益ヲ受クル厚薄ヲ、

或ル一定ノ地域ト致シマシテ、此ノ負擔指數ヲ定メマシテ、之ニ依リマシテ受益者負擔ノ金額ヲ算定スルト云フ趣旨ノ下ニ第四條ヲ設ケタヤウナ譯デアリマス、隨ツテ若シ其ノ中ニ受益ノ無イ土地ガアリマス場合ニ於キマシテハ、從來ノ規程ト同ジヤウニ、減免ノ規定ニ依リマシテ免除スル、斯ウ云フ方針デ此ノ案ハ作成サレタノデアリマス、唯理論的ニ考ヘマシテ、第九條ノ規定ニ依リマシテ負擔額ヲ免除スルヤウナ、土地ニ對シマシテハ第四條ノ一號ニ依リマシテ、之ヲ利益ノ無イ土地トシテ指數ヲ「ゼロ」ニシテ考ヘルト云フコトハ、考ヘ方トシテ適當デナイカト云フ説モ實ハ立ツノデアリマシテ、理論トシテハサウ云フ風ニ御考ヘ下サツテモ少シモ變ハリハ無イト思フノデアリマス、唯何レニ致シマシテモ、受益ノ無イ土地ハ第九條ノ規定カ或ハ第四條ノ初メニ於キマシテ、受益者負擔ハ掛カラナイ關係ニナルノデアリマス、ソレカラ第三ニハ、先程委員長カラ御話ノアリマシタ點ニ付キマシテ、少シ申上ゲタイト思フノデアリマスガ、此ノ河川ノ幅員ノ三倍ノ地域ト致シマス關係カ、勾配ガ非常ニ緩勾配デアリマシテ、電車線路マデ達シナイ間ニ三倍ノ地域ノ境界ガ出來マシテ、ソレカラ電車線路トノ間ニ在ル土地デ、相當受益ノアルヤウニ考ヘラレル土地ガアルノデアリマシテ、ソレニ對シテ此ノ幅員ヲ何トカサウ云フ所ニモウ少シ擴ゲルト云フヤウナコトハドウカト云フ御話デアツタノデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ、此ノ第二條ノ第二項ハ、ソレニ對シテ適用スルコトハ出來ナイノデアリマス、隨ツテ此ノ規程ニ於テハ其ノ土地ニ對シテ受益者負



擔ヲ課スルコトハ出來ナイノデアリマス、故ニ若シソレヲ必要ト致シマスレバ、河川ノ幅員ノ三倍ノ地域ト云フノ擴ゲナケレバナラヌト云フ結果ニナルノデアリマス、ソレヲ擴ゲマスルト、他ノ方面ニ於テ實ハ反對ノ結果ヲ生ズルヤウナ地域モアリマス、土地ニ依リマシテハ多少不權衡ノ點ハアリマスケレドモ、止ムヲ得ナイモノトシテ斯ウ云フ風ナ規定ニナツタノデアリマス、ソレカラ尙ホ地域内ニ於キマスル指數ノ定メ方竝ニ地帯ノ地域ノ分ケ方ニ付キマシテハ、コノ前申上ゲマシタノハ私共ノ私案ニ過ギナイノデアリマス、實地御調査ノ結果地域ヲ分ケ、或ハ非浸水地域ニシテ、上流下流ノ關係其ノ他ニ於テ地域ヲ尙ホ細分スルト云フコトニ付キマシテハ、至極適當ナ事ダト思ヒマス、實際實施スル場合ニ於キマシテ、十分考慮致シタイト思フノデアリマス、ソレカラ沿岸ニ於キマシテ、東京横濱電鐵ノ敷地ガアリマシテ、是ハ護岸負擔ヲ課シテモ宜イヤウナ現狀ニ實ニアルノデアリマス、内務省令ノ二十八號ノ規定ニ依リマシテ、現在ニ於テハ之ニ對シテ受益者負擔ヲ課スルコトガ出來ナイノデアリマス、立法論ノ御意見トシテ、此ノ點ニ付キマシテハ、十分考究シタイト思フノデアリマス、現在ノ場合ト致シマシテハ、東京府ニ於キマシテ、受益者負擔デナク寄附金等ノ方法ニ依ツテ負擔セシムルコトガ適當デナイカト云フ風ニ考ヘマシテ、東京府ノ方トモ相談中ニナツテ居ルヤウナ次第デアリマス、御了承ヲ願ヒマス

○渡邊委員 今ノ岡田サンノ御尋ニ關聯シテ居ルノデアリマスガ、此ノ規程ノ内容カラ見マスルト、浸水地ニ對スル受益者負擔ト云フノガ主眼ノヤウニ見エマスガ、必ズシモソレノミニ限ラレルヤウニ見エナイ、第一條ハ受益者ヲシテ負擔セシムル規定、第二條ノ第一項ハ幅員ノ三倍ノ地域トスルト云フノデ、是ハ區域ヲ初メニ定メテシマツテ、ソレダケガ此ノ工事ニ付テ受益者ニナルノダ、ソレカラ廣クスルヤウナラバ、特ニ洪水時ニ於ケル浸水ノ狀況ニ依ツテ必要アリト認メタナラバ、内務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラズ別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得ルト云フノハ、是ハ廣クスル場合ヲ規定サレタノデアリマスカ

○土岐計畫課長 浸水スル地域ニ付テハ此ノ規定ヲ適用スルコトハ出來ナイノデナイカト云フコトデアリマスガ三倍ノ地域内ニ於テハ浸水地域モ浸水シナイ地域モ全部其ノ中デ減免スルモノハ別トシテ全部受益者負擔ヲ課スル三倍ノ區域外ニ亘ツテヤルノハ浸水地ダケデアリマス

○渡邊委員 原則トシテハ浸水地ノミニ限リ負擔ヲ課スルノデハナイ譯デアリマスカ

○土岐計畫課長 サウデス

○渡邊委員 利益ヲ受クル厚薄ト云フノハ、浸水ノ程度ノ大小ノミナラズ、其ノ他ノ場合モ含ンダモノト解型シテ宜イノデアリマスカ

○土岐計畫課長 サウデス

○渡邊委員 ソレデ私モ思ツタノデアリマスガ、ソレデスカラ、浸水シナイ土地デモ、此ノ工事ニ依



ツテ利益ヲ受クルコトヲ考ヘラレルモノハ受益者負擔ヲサシテモ宜イ、ソレカラ第九條ノ二ノ土地ノ狀況ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキト云フノト利益ヲ受クル厚薄ト云フノハ幾ラカ違ヒハシナイカ土地ノ狀況ニ依リ斟酌スル必要ガアルト云フノハ、道路ノ方ニ始メテ問題ガ起タノデアリマスガ、寧ろ是ハ害ヲ受ケル場合ガアル道路ガ出來テ蔭ニナツタトカ、坂ノ勾配ガ變ヘタトカデ、道路ガ出來タガ、受益ドコロデナク土地ノ利用ガ減ツタト云フヤウナ場合ハ道路ノ場合ニハアツタト思ヒマスガ、之ヲ運河ノ場合ニ適用サレテモ、土地ノ狀況ニ依リ斟酌スルト云フノハ、是ハ寧ろ害ガアルト云フコトヲ認メタ場合ダト云フ風ニ嚴格ニ解釋スルノデハナイカト思ヒマスガ、サウ云フ意味デスカ

○土岐計畫課長 護岸ノ場合ハ別トシテ一般ノ場合ハサウデス、嚴格ニ考ヘテ其ノ意味デス

○渡邊委員 直チニ其ノ浸水ガ無イカラト言ツテ、第四條ノ一號デ受益地デナイト云フコトモ斷定出來ナイシ、又九條ノ二號ニ依ツテ、浸水ガ無イカラト言ツテソレガ即チ土地ノ狀況ニ依リ斟酌スベキモノト云フコトニ直グニ當筭マルコトハナイト思ヒマスガ……

○土岐計畫課長 其ノ中ニハ無論這入ラナイト思ヒマス、寧ろ地形上實際受益ガ無イト云フ、斯ウ云フ特殊ノ場所、或ハ電車線路カラ向フ側ニ區域ノ亘ルヤウナ場合、サウ云フヤウナ際ニ、土地ノ狀況ニ依リ斟酌スルシナイノ問題ガ起ラウカト思ヒマスガ、サウ云フ電車ナリ道路ヲ隔テナイデ、一般的ニ非常ニ廣範圍ニ亘ツテ免除スルト云フ意味ハ持つテ居ラナイノデアリマス

○菅原委員長 第二條ノ第二項ハ浸水ノ狀況ニ依リト限ラレテ居リマスルガ、之ヲモツト廣ク規定シテ、サウシテ問題ノ方ニ引入レルヤウナ工合ニハ出來ナイモノデアリマセウカ、實際ニ利益アリト認メ得ベキニ拘ラズ、三倍ト云フコトノ爲ニ、第二項ノ適用ガ出來ナイト云フコトニナルト、見ス

〱之ヲ遁ガスコトニナル

○渡邊委員 私ハ此ノ全體ニ付テ大シタ意見ハアリマセヌ、大體是デ結構ダト思ヒマス、唯幅員ノ三倍デハ狭過ギルト云フ御意見ガ多數デアリマシテ、三倍半トカ四倍ト云フ程度迄及ボシタイト云フ御意見ガ多數デアレバ、ソレニモ賛成シテ宜カラウト思ヒマス、敢テ自分カラ修正意見ヲ提出スルト云フ考ハ無イ、ソレカラ先程申シタ第四條ノ利益ヲ得タル厚薄ニ依リト云フ意味デ、無浸水ノ所デモ利益ヲ受ケルト看做シ得ルト思ヒマス、其ノ理由ハ他ノ委員カラ十分御述ベニナツテ居リマスカラ申上ゲマセヌガ、大體一體ニ沿岸ノ土地ノ地柄ガ良クナルニ從ツテ續イテ地代ガ上リ得ル浸水ガ無イ所デモ良クナラウト思ヒマス、但シ同ジ無浸水地デモ隣ニ浸水地ガアツテ、沿岸ガ浸水シテ奥ノ無浸水地ニ負擔ガ掛カル所ガアリマス、ソレト全然沿岸ニ浸水シナイ無浸水地トハ多少區別スル必要ガアルヤウニ委員長ニ於テモ感ゼラレテ居ルヤウデアリマスガ、サウ云フ事ガ必要デアルト云フコトデアレバ、多少負擔ノ割合ニ付テモ考ヘラレナイコトハナイノデアリマスガ、是ハ委員長マデ極ク概略ノ卑見ヲ申述ベテ置キマシタ、護岸負擔モ原案通りデ宜イト思ヒマス、第六條ニ付テ



ハ先刻申上ゲマシタ通り、此ノ通りデモ差支ナカラウト思ヒマスガ、但シ説明スルニハ第六條ノ規定ノ趣旨ガ「著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキ」ト云フノハ、何カ説明ニ苦シムヤウナコトガアリハシナイカ、沿岸ノ者ノ利益バカリデナク、一般市民ノ、極ク廣範圍ノ者ノ交通ノ利益ヲ爲メト云フ所カラ恐ラク來ルノデアラウト思ヒマスガ、之ヲ「著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ」ト云フノヲ「特別ノ事由アルトキハ」ト云フ風ナ意味ニ改メルノモ一ツノ考ヘ方デナイカト思ハレル、其ノ他ニハ別段意見ハアリマセヌ、原案ノ通りデ結構ト思ヒマス

○菅原委員長　モウ別ニ御意見ハアリマセヌカ——今渡邊君ガ言ヒ置イテ退席サレマシタガ、無浸水地ノ負擔區域ヲ甲乙ニ分ケテ甲ト云フ方ハ、浸水地ニ沿ウテ居ツテ、距離ガ遠イ爲ニ其處マデ水ガ行カヌ、乙ノ方ハ沿岸ニハ全ク浸水セザルモノ、其處ノ地位ガ高イ爲ニ、全然其ノ沿岸ニ浸水シナイモノ、斯ウ二ツニ分ケテ、サウシテ前ノ方ハ一坪當リ一圓六十八錢トシ、後ノ方ハ一坪當リ一圓二十六錢、原案ハソレヲ一括シテ一圓四十一錢ト云フコトニナツテ居ルサウデアリマスガ、ソレヲ今ノヤウニ甲乙ニ區別スルコトニシテハドウカ、斯ウ云フ御意見ノヤウニアツタノデアリマス、併ナガラ別ニ修正意見ヲ出スト云フマデノ御考ハ無カツタヤウデアリマスガ、皆様ガ御同意デアレバ此ノ案ノ修正デアリマセヌガ、當局ノ方ニ申述ベテ置キタイト云フ御趣意デアラウト思ヒマス、甲ノ方ノ一圓六十八錢ト云フ方ノ割出シハ、何處カラ起ツタカト言フト、毎月二錢ノ割デ一年ニ二

十四錢宛、其ノ七年間ソレカラ乙ノ方ハ毎月一錢五厘ノ割デ、毎年十八錢其ノ七年間斯ウ云フ算出ノ基礎ニナツテ居リマス——何カ御修正ノ意見ガ出マスカ

○堀切委員代理廣瀬東京市助役　私修正ノ案ヲ出シマス、此ノ護岸負擔ト一般負擔トノ割合ノ問題ニ付キマシテハ、先程來ノ御説明ニ於キマシテモ、百十四萬圓ノ總工費ノ四分ノ一ヲ受益者負擔ニ掛ケルモノトシテ、護岸費ト一般工費ノ割合ガドウナルカト見ルト、護岸費ハ百分ノ十、一般工費ガ百分ノ十五デアリマスノヲ、共ニ百分ノ十二半トセラレタト云フ點、竝ニ護岸費ノ費用ノ中ニハ、護岸ニ要スル土地ノ買收費モ含ンデ居ルト云フヤウナ點カラ見マシテ、矢張護岸負擔ヲ重ク見テ居ラレルト云フ主義ハ一貫シテ居ルト云フ當局ノ御説明デ、此ノ點ニ付テハ修正ノ意見ハ申上ゲマセヌガ、唯第五條ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウナ理由デ、五條中ノ「六間」トアルノヲ「五間」ト云フコトニ修正致シタイト思ヒマス、其ノ理由ハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、護岸ニ依ル地先ノ土地ノ所有者ノ利益ハ土留メノ效果ト云フコトデアル、サウシテ古川ノ方ハ護岸ノ高サヲ十五尺ヲ標準トシテ、其ノ土壓ノ影響ヲ約二十五度ノ角度ニ於テ受ケルモノトシテ六間ト規定ヲシテ居ル況ヤ此ノ點ニ付キマシテハ認定モ加ハツテ居ルノデアリマスガ、數字的ニ言ヘバサウ云フ論據ヲ持ツテ居ル、澁谷川ノ場合ハ護岸ノ高サガ十二尺餘ニナツテ居リマス、ノミナラズ護岸敷モ買ツテ居ルト云フヤウナ點カラ見マシテ、矢張先程土留メノ效果土壓ノ影響ト云フヤウナ關係カラ見マシ



テ、五間位ニシタラドウカ、斯ウ云フ理由ヲ以テ修正ノ意見ヲ提出致シマス

- 鈴木委員 只今ノ御意見ニ附帶シテ質問致シマスガ、古川ノ方ハ矢張五條ノ規定ニ於キマシテ、河川ノ境界線ヨリ六間ト云フコトニナツテ居ッタヤウニ承知シテ居リマスルガ、澁谷川ノ方モ河川ノ境界ヨリ六間、此ノ六間ノ算定ノ起點ハ河川ノ境界線ヨリト兩方トモナツテ居リマスガ、河川ノ境界線ト云フノハ、古川ノ方ハ護岸ノテンバカラ測ル澁谷川ノ方ハ、府デ持ツテ居ル護岸用地ト民有地ノ境界カラ測ルト云フコトニナルカ、或ハ共ニ護岸ノテンバカラ測リマスカ、其ノ邊ヲ伺ヒタイ
- 土岐計畫課長 東京府ノ方ハ公有地ト民有地ノ間カラ計算シテ居リマス、ソレカラ市ノ方ハ河川ト護岸トノ間カラ計算致シマス

- 鈴木委員 澁谷川ノ方ハ民有地ト公有地ノ境界カラ測ルサウスルト古川ト對照シマシテ、假ニ廣瀬君ノ修正意見ノヤウニ、澁谷川ノ方ノ規定ヲ五間トシマシテモ、先刻承リマスルト護岸用地ガ約四尺アルト云フコトデアリマスカラ、其ノ差ハ二尺ト云フコトニナルヤウニ承知シテ宜シウゴザイマス

- 堀切委員代理廣瀬東京市助役 サウ云フコトニナリマス
- 菅原委員長 河川ノ境界線ト云フ意味カラ言ヘバ、護岸ノ所有權ガ何處ニアルカト云フ事ニ依ツテ區別セラル、モノデナイト思フ、若シサウ云フコトニナルト、第二條ノ境界線ト云フモノモ違ツテ

來ナケレバナラヌ

- 土岐計畫課長 サウ云フ事ニナリマス
- 菅原委員長 護岸ノ所有權ノ如何ニ依ツテ分レルモノデハナカラウカト思フ、意見ニナルカ知レマセヌガ、若シサウ云フコトデアルト餘程混雜シテ來マスヨ、今ノ三倍、四倍ト云ツタヤウナ計算ノ起點モ違ツテ居ルカラ、一方ガ三倍、一方ガ四倍ト云フ事ヲ比較スルニハ根據ガ違ツテ來マスヨ、サウ云フヤウナ考デハ出來テ居ラヌノデハナイノデスカ
- 鈴木委員 道路ノ時ニハ、道路有效幅員デナク官民有ノ境ヲ取ツテ居ル、其ノ考トハ合フ譯デス
- 西村幹事 古川ノ場合ニハ、一ツノ石垣ト云フモノハ河川ノ護岸タルト同時ニ民有地ノ土留ノ效用ヲナシテ居ル、唯ソレガ民有地ニ造ツテ居ルト云フノデ澁谷川ト違フ、澁谷川ノ方ハ護岸ハ河川敷地ニ全ク専用サレテ居ルデアリマスカラ、古川ノ場合ハ各テンバカラ出發シ澁谷川ノ場合ハ四尺隔ツタ所カラ出發スル、ソレデ實際負擔スルモノハ六間ナレバ六間ノ民有地ガ負擔スル、五間ナレバ五間ノ民有地ノ者ガ負擔スルコトニナルノデアリマス
- 鈴木委員 只今伺ヒマシタノデ、河川ノ境界線ノ解釋ハ、復興當局ノ御解釋モ又事業執行者タル東京府ノ御解釋モ官民有地ノ境界カラト云フ御趣意ノヤウニ承リマシタノデ、サウ云フ御趣意デ此ノ規程ヲ實際ニ運用サレル、斯ウ云フ意味ニ於テ廣瀬君ノ御意見モアリマスシ、百分ノ十二半ト云フコ



トニ付キマシテハ、矢張原案通りデ宜イト思ヒマスガ、兩側各六間ト云フノハ五間ト云フコトニ修正サレル方ガ適當デナカラウカト思ヒマス、廣瀬君ト其ノ點同感デアリマス

○菅原委員長 一寸伺ヒマスルガ、サウスルト理由ハ土壓ノ關係カラ起ルノデアリマスカ、或ハ今ノ護岸ノ河川ノ敷地ノ關係カラ起ルノデアリマスカ、ドツチノ理由デアリマスカ

○鈴木委員 私ノ意見ハ廣瀬君ノ趣意トサレル主トシテ土壓ノ關係カラ六間五間ト云フモノヲ見ナケレバナラヌト云フ斯ウ云フ趣旨カラ言ヒマシテ、五條ノ區域ハ護岸ノテンバカラドノ位ノ區域デ宜シイカト云フ事ヲ云フノガ相當デナイカト思フ、其ノ意味カラ見レバ、護岸ノ敷地ヲ境トシテ此ノ間數ヲ測ルト云フコトデアリマスレバ、無論河川ニ依ツテ護岸ニ高低ガアルヤウデアリマスガ、之ヲ通觀シマスレバ古川ヨリ澁谷川ノ方ガ護岸ガ低イト云フコトデアリマスカラ、特殊ノ影響ノ及ブモノガアリマセヌ以上ハ、澁谷川ハ古川ヨリ一間位少クテモ宜イノデハナイカ

○菅原委員長 況ヤ四尺除カレルニ於テオヤト云フノデスナ

○鈴木委員 サウデス

○内田委員 ソレニ賛成致シマス

○伊藤委員 賛成致シマス

○菅原委員長 是ハ逐條ニヤツテ行キマスカ、ソレニモ及ビマセヌカ、御意見ノ出次第ニ依ツテ纏メ

ルコトニ致シマセウ

○鈴木委員 他ハ私ニ於テハ何モ意見ハアリマセヌ、原案通り賛成デアリマス

○内田委員 只今一寸承ル所ニ依リマスルト、矢張第五條ノ問題デアリマスガ、護岸敷地ヲ買収シタ四尺ガ存スル所ト、ソレガ存シナイ所ガアルト云フ御話ヲ今一寸承リマシタノデアリマスガ、果シテサウナツテ居ルノデアリマセウカ、護岸敷地ノ残ツテ居ル所トソレノ無イ所トガ、今ノ澁谷川ノ中ニアルサウナツテ來マスルト、今鈴木サンノ仰ツシヤツタ事ニ賛成ハシマシタケレドモ、護岸ノ買収シタ四尺ガ残ツテ居ルト居ナイトデハ大變違ツテ來ル、皆四尺宛アルノデアリマセウカ

○菅原委員長 ソレニ關聯シテ、コノ頃實地ヲ見タ所ニ依リマスルト、護岸ニスレ〜ニ家が建ツテ居ル、而モソレガ地揚ゲサレタ土地ニ家が建ツテ居ル、アレハ買収サレタモノカ、或ハ買収サレタモノガ、使用ヲ許サレテ居ルモノカ、實際ハドウデスカ

○内田委員 無精ヲシテ現場ニ參ラナカツタノデアリマスガ、四尺デモ護岸ヲ買収シテ、今使用ヲ許シテ貸シテ居ルノナレバ、ソレハ同ジ理窟デアルケレドモ、護岸敷地ガ無クテ民有地ガ護岸マデ來テ居ルト云フコトニナルト、大層考ガ違ツテ來マスカラ……

○土岐計畫課長 現在アリマス護岸ニ付キマシテハ一部民有ノモアルサウデアリマスケレドモ、大體ニ於テハ官有ノモノデアリマス、ソレノ使用ニ付キマシテハ護岸ノ專用トシテ東京府ノ認可ヲ受ケ



テ、多少使用料ヲ徴收サレテ居リマス、ソレカラ護岸ノ中ニハ、新ラシク護岸ヲ設ケマス場合ト現在アル護岸ニ對シテ地固メナリ或ハ上ニ笠置キヲスル場合、サウ云フヤウナ場所ト兩方アルノデアリマス、中ニハ全然手ヲ附ケナイ所モアルデアリマス、ソレニ付キマシテハ第九條ノ第二號ニ依リマシテ、地固メダケノ場合ハ大體地固メダケノ費用ニ對シテ受益者負擔ヲサセルヤウナ意味デ減免スルコトニ考ヘテ居リマス、隨ツテ全然護岸ノ無イ場所ニ於キマシテハ、護岸負擔ハ免除サレルト云フ風ナ關係ニナルノデアリマス

○中川長官 四尺ト云フノハ必ズ四尺デアリマスカ、廣イ場合モアリマセウカ

○土岐計畫課長 大抵四尺デアリマス

○菅原委員長 全部買收シテシマツタラドウカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 不必要ニ工費ガ掛カルデセウネ

○鈴木委員 段々修正意見提出後、御問答ヲ承リマシテ私ノ立論ノ基礎ニ於テモ多少缺クル所ガアルヤウニ思ヒマスカラ、先刻ノ五條ノ六間ヲ五間ニスルト云フ廣瀨君ノ意見ニ同意シマシタケレドモ此ノ際撤回致シマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○内田委員 原案ニ賛成

○伊藤委員 原案ニ賛成致シマス

○菅原委員長 廣瀨君ノ御修正ノ意見ニ付テハ御賛成ガ無イヤウデアリマス、又其ノ他ニハ別ニ修正ノ御意見モアリマセヌガ、第六條ノ「著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキ」ト云フノヲ「特別ノ事由アルトキ」ト云フ風ニ修正シタイト云フコトデスガ、此ノ點ハ如何デセウ

○土岐計畫課長 實ハ是ハ實際ノ工事ニ依ツテ、餘リ費用ノ掛カラヌ安イモノデアレバ事業費ノ中ニ入レル積リデアリマシテ、著シク多額ノ費用ヲ要スルモノダケヲ控除シヨウ、斯ウ云フヤウナ趣旨デ出來テ居リマスルノデ、成ベク原案ニ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス

○鈴木委員 先刻ノ渡邊委員ノ御意見ハ御尤モデアリマスケレドモ、矢張今當局カラ御説明ノアリマシタヤウニ、少額ナラ殆ド問題ニナラナイ多額デアルカラ問題ニナル、ソレカラモウ一ツハ、其ノ地元ニ影響ガ無クテ一般ノ交通其ノ他ノ者ガ受益スル關係ダカラト云フ御意見モアリマシタガ、ソレハ此處ノ「特殊」ト云フ文字デサウ云フ意味アリト解釋モ出來ヌコトモ無イト思ヒマス、サウ云フ御解釋ヲシマス意味ニ於キマシテ原案通リデ宜イカト思ヒマス

○菅原委員長 ソレデハ全部原案通リデ御異議ハアリマセヌカ

「異議ナシト呼フ者アリ」

○菅原委員長 ソレデハ左様ニ決シマス

○鈴木委員 四條ノ一號ト九條ノ二號ノ關係ニ付テ岡田君ヨリ御質問ガアリ、サウシテソニレ御答ヘ



ニナツテ居ル通りニ御運用ヲ願ヒタイト思ヒマス

○菅原委員長 一寸御相談申上ゲマスガ、都市計畫事業道路受益者負擔規程ニ付テハコノ前第八條ノ第五號ニ修正ガアツタノデアリマスガ、其ノ修正文ノ文字ノ書キ方ニ付テ、他ノ條文トノ關係上少シ字句ノ修正ガ必要ダサウデアリマスカラ、ソレハドウゾ委員長ニ御一任ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

菅原委員長 ソレデハ御一任ヲ願ツテ置キマス、是デ此ノ特別委員會ハ全部終了致シマシタ、是デ散會致シマス

午後五時散會

○菅原委員長 一寸御相談申上ゲマスガ、都市計畫事業道路受益者負擔規程ニ付テハコノ前第八條ノ第五號ニ修正ガアツタノデアリマスガ、其ノ修正文ノ文字ノ書キ方ニ付テ、他ノ條文トノ關係上少シ字句ノ修正ガ必要ダサウデアリマスカラ、ソレハドウゾ委員長ニ御一任ヲ願ヒタイト思ヒマス

東京都市 郊外下水道決定ノ件特別委員會



計  
東京都市  
畫

郊外下水道決定ノ件第一回特別委員會議事速記録

昭和五年一月三十日(木曜日)復與局ニ於テ開會

出席者氏名

委員長

貴族院議員 藤田四郎君

議員

警視總監丸山鶴吉君代理  
警視廳書記官 古川靜夫君

內務省土木局長 三邊長治君

東京府知事 牛塚虎太郎君

內務技監 中川吉造君

東京市會議員 新甫寬實君

東京市長堀切善次郎君代理  
東京市助役 廣瀬久忠君



|        |    |     |    |
|--------|----|-----|----|
| 正四位勳三等 | 收  | 彦   | 七君 |
| 東京府會議員 | 佐藤 | 久太郎 | 君  |
| 復興局長   | 中川 | 望   | 君  |
| 復興局書記官 | 武部 | 六藏  | 君  |
| 復興局書記官 | 土岐 | 銀次郎 | 君  |
| 正六位勳五等 | 西村 | 輝一  | 君  |
| 復興局事務官 | 片野 | 道藏  | 君  |

幹事

議事

午前十時二十分開議

○藤田委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、本委員會ニ附託セラレマシタ東京都市計畫郊外下水道決定ノ件ニ付キマシテ會議ヲ開キマス、最初ニ復興當局ノ御説明ヲ煩スコトニシテハ如何デアリマスカソレデハドウカサウ願ヒマス

○土岐計畫課長 私カラ大體ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲマス、今回提案致シマシタ郊外下水道ノ計畫ハ、此ノ前總會ノ際ニ長官カラ御話ノアリマシタ通り郊外ノ町村ニ於ケル下水道ノ幹線ダケノ計畫デアリマス、隨ツテ枝線ノ計畫ニ付キマシテハ、コレヲ各町村ニ委セマシテ、唯幹線竝ニ唧筒場汚水處分場等各町村共同ノ關係ノアリマスモノ、ミニ付キマシテノ計畫ヲ定メタノデアリマス、隨ツテ今迄ニ計畫ニナリマシタ東京市ノ下水道ナリ或ハ郡部町村ノ下水道ト異ナリマシテ、單ナル幹線ノミノ計畫デアリマス、枝線ノ計畫ハ此ノ計畫ニ順應シテ計畫スルヤウニ、各町村ニ委セテアルノデアリマス、大體ノ要項ハ、條項ヲ逐ヒマシテ御説明申上ゲタイト思ヒマス、下水ノ排除區域ハ東京府南葛飾郡、南足立郡、北豐島郡、豊多摩郡及在原郡ノ各一部デアリマス、總面積ハ四千二百九十四萬坪ノ區域ニニナリマス、但シ地勢ノ關係ニ依リマシテ本區域内ニ流入致シマスル關係市町村ノ一部ノ下水ハ之ヲ收容スル計畫トナツテ居リマス、本區域内ニ流入スル關係市町村ノ面積ハ約四千二百四十五萬坪ニナリマス、ソレカラ下水ノ排除量ハ、汚水量ハ全區域ノ人口ヲ約三百萬人ト豫想シ一人當リ一日平均六立方尺ノ半量ヲ八時間ニ排泄スルモノトシマシテ、雨水量ハ一時間最大降雨量ヲ五十耗トシテ之ヲ定メタノデアリマス、現在ノ人口ハ約百七十八萬人將來増加スベキ豫想ヲ見込ミマシテ、三百萬人ト見込ダノデアリマス、三百萬人ニ致シマシタ根據ハ、大體千坪ニ付テ七十人之ヲ郊外町村ノ飽和的狀態ト見込ミマシテ、三百萬人ト云フ計算ヲ立テタノデアリマス、尙ホ本區域内ニ流入スル關係市町村ノ人口ハ約百七十五萬人、其ノ現在ノ人口ハ約二十六萬人デアリマ



一七六

スガ、此ノ關係市町村ノ人口ノ密度ノ關係ハ、千坪ニ付テ四十人ノ割合ヲ見込ミマシタノデ、大體是ダケノ人口ヲ見込ミマスレバ郊外ノ下水道ノ計畫トシテハ充分デアラウト云フ風ニ考ヘタノデアリマス、ソレカラ一人當リ一日平均六立方尺ノ計算ハ、此ノ前一寸申上ゲマシタヤウニ、現在ノ東京市ノト同ジ計畫デアリマシテ、上水道ノ計畫ニ順應致シマシテ、先ヅ最大ト認メラレタル六立方尺ヲ標準ニ取ツタノデアリマス、郊外ノ上水道ノ給水量ヲ御參考ニ申上ゲマスルト、荒玉水道デハ五立方尺ノ計畫ヲシテ居リマス、江戸川水道ハ四立方尺半、玉川水道ハ三立方尺、澁谷水道ハ四立方尺、東京市ハ六立方尺、斯ウ云フヤウウ計畫ニナツテ居リマス、ソレデ最大トシテ六立方尺ヲ見タノデアリマ、尙ホ此ノ雨水量ノ最大降雨量五十耗トシタノハ過去、四十一年間ノ統計ヲ基礎ニシテ大體三位カラ四位ノ間ニアル、先ヅ四十年間ニ三四度位此ノ最大ノ降雨量ガアルソレヲ標準ニ此ノ際採用シタノデアリマス、大體東京市ノ計畫モ斯ウ云フヤウナ計算ニナツテ居リマス、次ニ下水ノ排除方法ハ合流法ニ依リマシテ、雨水ト汚水トヲ同一管渠ニ收容シテ高地區域ノ下水ハ自然流下ニ依リ、低地區域ノ下水ハ唧筒ヲ用ヒテ各汚水處分場ニ導イテ處分シマス、是ハ現在ノ東京市ノ方法ト同ジデアリマス、下水處分ハ、雨水ハ適所ニ雨水吐ヲ設ケテ河海ニ放流シマスルガ、汚水ハ總テ處分場ニ導キ處理シタル後、東京灣及荒川ニ排泄スル計畫デアリマス、但シ最大汚水量ニ達スル迄ノ雨水ハ汚水ト共ニ、之ヲ處理スルノデアリマス、下水管渠ノ構造ハ雨水吐隧道等ノ外ハ暗

5  
1

渠式トシマシテ、排水量ノ多寡應ニジテ陶管、鐵筋「コンクリート」管、及鐵筋「コンクリート」矩形渠ノ三種ヲ使用スル、大體ハ陶管、鐵筋「コンクリート」管、鐵筋「コンクリート」矩形渠ヲ主トシマシテ或ル所ニ於テハ暗渠式ノ隧道ナリガ雨水吐出來ルコトニナルノデアリマス、ソレカラ下水排除區域ヲ砂町系統、三河島系統、石神井系統、羽田系統ノ四ツノ排水系統ニ分割スルノデアリマス、(圖面ニ就キ説明)砂町系統ハ荒川放水路ノ以西、東京市ノ境界トノ間デアリマシテ、綠色ノ處デアリマス、汚水處分場ハ此處ニ豫定シテ居リマス、此處ニアリマスノガ現在ノ計畫トシテ出來テ居リマス、東京市ノ汚水處分場デアリマシテ、其ノ中ニ出來ルコトニナリマス、三河島ノ系統ハ紫色デアリマス、汚水處分場ハ此ノ邊ニ豫定シテ居リマス、赤線ハ幹線デアリマス、石神井系統ハ黄色ノ處デ、江北汚水處分場ハ荒川放水路ニ接近シタ所ニアリマス、羽田系統ハ褐色ノ部分デ汚水處分場ハ羽田汚水處分場デ、東京市ノ計畫ノ直グ傍ニ出來ルノデアリマス、此ノ區域ニ這入ツテ居リマセヌ澁谷ノ一部トカ大久保町ノ一部、高田町、戸塚、西巢鴨、巢鴨瀧野川、是ハ地形ノ關係カラ東京市ノ下水區域ニ編入スル方ガ適當デアリマスカラ、此ノ計畫カラハ除カレテ居リマス、東京市ノ下水ノ計畫ニハ之ヲモ包含スル計畫ニナツテ居リマス、東京市ト協調ノ上ニ斯ウ云フヤウナ計畫ガ出來テ居リマス、各系統ノ區域、面積、下水道ノ延長、唧筒場、汚水處分場、是ハ此ノ案ニ書キマシタ通りデアリマス、汚水處分ノ方法デアリマスガ、是ハ今ノ所吾々ト致シマシテ確定的ニ斯

一七七



ウ云フヤウナ方法デ處理スルト云フコトニハ定マツテハ居ナイノデアリマスガ、面積トシテハ相當ノ廣サヲ取リマシテ、三河島ニ於テ東京市ノ下水ノ處分方法トシテヤツテ居リマス方式其ノ儘ヲ採リマシテモ差支ナイダケノ面積ハ見テアルノデアリマス、實際ノ處理法トシテハ、技術ノ事ハ能ク解リマセヌガ、促進汚泥法ニ依ル計畫ニナツテ居リマス、唯砂町ト羽田ハ直グ海ニ面シテ居リマスルノデ、サウシタ方法ヲ必要トスルヤ否ヤ或ハ單ニ沈澱ダケデ處理シテモ宜シイノデハナイカト云フヤウナ風ニモ考ヘテ居ルノデアリマス、處理ノ方法トシテハ確定致シテ居ラナイノデアリマス、只今三河島ニ於キマシテ促進汚泥法ノ研究中ニ屬シテ居リマスルカラ、ソレ等ノ研究ヲ俟ツテ、東京府市ニ於テ研究サレテ其ノ上確定サレルモノト思ヒマス、極ク概要デアリマスガ御説明申上ゲタノデアリマスガ、御質疑ガアリマスレバ……

○藤田委員長 ドウカ御質問下サルヤウニ願ヒタイト思ヒマス

○牧委員 降雨量ハ一時間五十耗ヲ取ツテ居ラレルヤウデアリマスガ、ソレニ時間ニ依ツテ最大降雨量ガ違フヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、是ハ「インテンシティー」ガ一時間五十耗、唧筒ノ「マキシマムキヤバシチー」ハドウ云フ風ナ計算ニナツテ居リマスガ、十五分デアレバ割合ガ強クナル、長い時間繼續スレバ一時間當リハ少ナクナルト云フヤウナ關係ガ生ジテ來ルト思ヒマスガ……

○茂庭囑託 只今ノハ雨量ノ「インテンシチー」デアリマスガ……此處ニ計畫シテ居リマスルノハ、

細部ノモノトハ違ヒマシテ、主トシテ汚水ノ幹線ヲ定メヨウトスルノデアリマシテ、雨水ハ收容シ得ルモノダケヲ入レル、隨ツテ唧筒ト云フモノハ雨水ニ必要ナ唧筒ハ含ンデ居リマセヌ

○牧委員 ソレデハ極ク短時間ニ非常ニ多量ノ雨水ガアツタラ、一時ハ溢レルコトニナリマスナ

○茂庭囑託 サウ云フ心配ハナ、ラウト思ヒマス、ドノ「フォーム」デアリマシテモ、唯觀念ガ違フダケデアリマシテ、總テガ含マレテ居リマスカラ、急ニ短時間ニ降リマシテモ差支ナイダケノモノハ這入ルコトニナリマス

○牧委員 大體ノ計畫デアリマスカラ、細カイ事ニ這入ル必要ハ無イト思ヒマスガ、一寸參考ノ爲ニ伺ツタノデアリマス

○牛塚委員 少シ御説明ガ技術的方面ニ付テ大要御話ニナツタヤウデアリマスガ、モット幼稚ナ素人解リノスル事ヲ御尋ネシタイト思ヒマスガ、第一ハ私共全ク素人デ解ラナイノデアリマスガ、事業ノ緩急ノ程度ヲ私共素人ニ解ルヤウニ、例ヘバ保健衛生上看過スベカラザル事業トスレバ、少ナクモ相當ノ期間内ニ着手スルトカ、緩急ガナケレバナラヌガ、ドウ云フ風ニ事業ノ緩急ヲ講ゼラル、カ、差迫ツテ居ルモノナラバ、今後何年間位ニ着手シタイトカ、或ハ將來何年位ニハ完成シタイモノデアルト云フヤウナ、御考デモアルノデアリマスガ、市中ノ下水工事ニ付テハ私ハ全ク知ラナイノデアリマスガ、現状ハドノ位ノ程度マデ進ンデ居リマスガ、是モ簡單ニ伺ツテ置キタイ、此ノ計



畫モ私ノボンヤリ記憶シテ居ル所デハ、明治四十年カ四十一年頃ニ計畫ト云フモノガ出來テ、ソレハ明治ノ時代デアリマシテ、特ニ内務大臣ガソレヲ上奏セラレテ裁可セラレタコトヲ聞イテ居リマス、所ガ其ノ後ノ狀況ハ知りマセヌガ、アノ計畫ハイツ着手サレテ現況ハドウデアルカ、其ノ計畫ガナカク、其ノ儘實行ガ出來ナクテ、上奏裁可ヲ經タモノガ大イニ變更シテ居ルノデハナイカト云フ風ニ素人考ニ思フノデアリマスガ、ソレ等ノ點モ參考ニ伺フコトガ出來レバ、此ノ計畫ニ付テモ大體ノ觀念ヲ得ラレル、サウシテ大體ハ六千萬圓ト云フ金ガ幹線ダケニ要ルト云フコトデアマリシガ、此ノ六千萬圓ノ資金ノ調達方法、支出方法ト云フモノハ、大要如何ナル考ヲ持ツテ居ラレルノデアリマスガ、全ク經費トカ其ノ負擔ノ方面ニ付テハ考ヘテ居ラナイノカ、イツ着手スルトカ何年間ニ完成スルト云フコトデナシニ、唯技術的ニ計畫ヲシテ置キタイト云フモノデアラナラバ、特別委員會ニ於テ審議スルニモ自ラ考ヘ方ガ違ヒハシナイカト思フ、其ノ點ニ付テモ、素人が尤モダト思フヤウニ御説明ヲ願ヒタイ

○土岐計畫課長 (圖面ニ就キ説明) 今東京市ノ下水關係ノ現狀トシテ、地震ノ前ニ、此處ニアリマス青イ線デアリマスガ、三河島ノ現在出來テ居リマス汚水處分場ノ計畫ニ、ソレカラ下谷淺草ノ方デアリマス、是ガ第一期計畫トシテ千五百萬圓デ、大體是ダケガ完成シタノデアリマス、ソレカラ第二期ノ計畫トシテ、黄色ノ部分デアリマスガ、之ヲ二千萬圓デ計畫ヲ立テテ工事ニ著手シマシタ際ニ

地震ニナリマシテ、ソレデ此ノ中ノ三千六百萬圓ト、コチラノ方ノ溝渠ノ方ニ屬シマス分カラ二千六百七十六萬圓、此ノ二ツノ計畫ヲ合セマシテ、之ヲ復興計畫事業トシテヤルコトニナリマシテ、現在デハ此ノ黄色ノ分ノ方が大體九分通り出來テ居リマス、コチラノ方ノ分ハ四割見當デアリマス是ノ汚水處分場ハ羽田ニナツテ居リマスガ、ソレガ出來ナイデ、芝浦ノ唧筒場デ假處分場ヲ拵ヘマシテ、此處デ是ノ方ノ假處分ヤル、コチラノ方ノ計畫ハ、今砂町ノ汚水處分場ハ、位置ノ關係デ多少込入ツタ關係ガアルノデアリマスガ、大體此處へ出來ルコトニナツテ居リマス、是ノ方ハ四割位シカ出來ナイ、アトノ計畫ハマダ東京市トシテハ豫算ハ出來テ居リマセヌノデ、東京市ノ財政ノ状態ニ依リマスノデ、イツノ事ニナリマスガ、其ノ邊ハ少シ申兼ネマス、尙ホ郊外ノ下水道ニ付キマシテモ、吾々ノ方トシマシテハ出來ルダケ早く完成シタイト云フコトハ希望シテ居ルノデアリマスガ、實際ノ施行ニ付キマシテハ、只今御話シ申シマシヤウニ、幹線ダケデ六千何百萬圓デアリマシテ、尙ホ技線ノ方ハ、或ハソレト同額位ノ金ヲ要スルヤウナコトニナリハシナイカト思ヒマスソレデ是ヲ實施スルニ付キマシテハ、關係公共團體ノ財政状態ニ依ルコトデアリマスカラ、事業其ノモノハ、非常ニ緊要デアリマシテモ或ハ實施ニ着手ノ出來ナイト云フヤウナ關係ガアリマス、唯此ノ郊外下水道トシテ急イデ決定シナケレバナラヌト云フ關係ハ、コノ前總會ノ際ニ長官カラ申上ゲマシタ通り、現在巢鴨ナリ南千住ナリ王子ナリ大崎ナリニ於キマシテ、各町村自體ニ於テ下水ノ



計畫ヲ立テマシテ、實施或ハ是カラ着手セントシテ居ルノデアリマス、其ノ際ニ幹線ガ定マリマセヌト、町村ニ於テ計畫ヲ立テマス上ニ於テモ不便ガアリマスノデ、大體ハ此計畫ニ町村ハ依ツテ居ル譯デアリマスガ、兎ニ角計畫ダケヲ先ニ定メマシテ、アトハ公共團體ニ於キマシテ財政ノ餘裕ノ付キ次第、成ベク早く實施ヲ願フト云フコトニ希望スルノデアリマス、實施ニ付キマシテハ東京府ノ方ニ於キマシテモ出來ルダケオカヲ入レテ戴キタイ、サウ云フ風ニ考ヘテイルノデアリマス

○牛塚委員 只今當局ノ御話デアリマシタガ、東京市ノ現在ハサウ致シマスルト、全體ノ計畫カラ見マスルナラバ、工程ハドノ位ノ程度ニ進ンデ居ルノデアリマスカ

○土岐計畫課長 東京市ノ豫算ノ總額ハ一億四千三百萬圓デアリマス、大體經費ノ上カラ言ツテ、ソレノ四割五分位ノ進捗ノ狀況ニナツテ居リマス、三河島ノ方ガ完成シテ、千五百萬圓ハ復興事業トシテ計畫シテ、今迄ニ出來上ツタモノ、其ノ外ニ速成工事トシテ下水道改修ヲヤツタモノ、合セマシテ四割五六分、五千萬圓餘ニナリマス

○牛塚委員 第一期工事ニ著手サレタノハイツデスカ

○土岐計畫課長 四十四年カラ着手シテ居リマス

○牛塚委員 震災マデ掛カリマシタノデアリマスカ

○土岐計畫課長 十三年ニ完成シテ居リマス

○牛塚委員 先程伺ヒマシタ初メノ計畫ガドノ位ニ變ツテ居ルノカ、大體アレニ基イテサレテ居ルカ非常ニ變ツテ居ルカト云フ事ハ……

○茂庭囑託 私ハ其ノ時分ニ從事シタ者デアリマスガ、アノ計畫ハ明治四十年ノ三月ニ終ツテソレカラ今ノハ明治四十四年ニナツテ居リマシテ、殆ド系統カラ言ツテ變ツテ居リマセヌガ、雨水量トカ何トカ云フコトデ多少サウ云フモノハ變ツテ居リマスガ、全體ニ於テハ踏襲サレテ居ルダラウト思ヒマス

○中川委員 石神井系統ノ污水處分場ハ荒川ヲ横斷シテ川ノ對岸ノ方ニ置クコトニナツテ居リマスガ石神井系統ノ區域ハ相當大キイヤウデアリマスガ、幹線ノ川ヲ横斷スル所ノ大キサハドノ位ノモノニナリマスカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ、ゾレカラ三河島ノ污水處分場ハ現在ノ東京市ノ污水處分場ニ列ベテ置クヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、石神井ノ方ノモ其ノ邊ニ持ツテ行クコトハ出來ナイノデアリマスカ、モウ一ツハ、石神井自身ノ污水處分場ヲ荒川ノ右岸ノ方ニ置クコトハ出來ナイカ、言フ迄モナク河底ヲ越エテ向フニヤリマスルコトハ、工事モ相當困難デアルシ、又隨ツテ工費モ澤山掛カル、尙又將來地震其ノ他ノ時ニモ、弱點ヲ其ノ部分ニ殘スト云フコトニナルノデアリマスカラ、出來ルナラバ右岸ノ方ニ置クコトガ宜イノデハナイカト思フ、無論工費其ノ他ノ事カラオ定メニナツタノデアリマセウガ、今御伺ヒシタ石神井系統ノ處分場ヲ川ノ南ニ置クコトハ出



來ナイカ、又更ニ三河島ノ汚水處分場ノ邊ト合併シテ矢張川ノ南ノ方ニ置クコトハ出來ナイカ、尙ホ河底ヲ横斷スル其ノ邊ノ大キサヲ伺ヒタイ

○近藤技師 江北處分場へ達スル前ノ川ノ横斷部分ノ大キサハ、斷面ト致シマシテ、約深サガ五尺幅ガ八尺五寸位デアリマシテ、川ヲ向フへ越シテ處分場ノ地ヲ豫定シタノハ、川ノ手前ニ於キマシテ適當ナ地所ガ得ラレサウニナカツタ、詰リ向フノ方ニ持ツテ行ツタ方ガ經濟的デアリ便宜デアルト云フ事ヲ考ヘマシテ定メタノデアリマス、ソレカラ三河島ノ處分場ノ附近へ併セテ設ケタラドウカト云フ事モ問題ニナリマシテ、研究致シマシタノデアリマニガ、三河島處分場ハ現在五萬六千坪バカリノ面積ガアルノデアリマシテ、其ノ中ノ一萬坪バカリハ郊外下水ノ處分場トシテ利用ノ出來ル見込デアリマスケレドモ、ソレ以上ノ面積ハ、現在ノ處分場内ニ於テモ外ニ於テモ取ルコトハ非常ニ困難デアル、一萬坪バカリノ面積デハ、此ノ案ニ於ケル十數箇町村ノ汚水ヲ處理スルニハ役ニ立タヌノデ、已ムヲ得ズ三河島ノ處分場カラ分離シマシテ江北ノ處分場ヲ豫定シタノデアリマス

○中川委員 只今ノ御説明ニ依リマスルト、右岸ノ方ニ現在既ニ非常ニ發展ヲシテ居ル、或ハ又將來ノ發展モアリマセウガ、土地ヲ得ルコトハ甚ダ困難デアル結局川ノ北ノ方へ持ツテ行ツタ方ガ經濟上安イヤウダ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、河底ヲドウ云フ風ニ通ルノデアリマスカ、此ノ舊荒川邊ノ一帯ハ工場地帯ニナツテ居リマスシ、更ニ上流ノ志村ノ方ニ於キマシテモ、現在色々工場ガ

アリマシテ、將來此ノ荒川ハ益運河トシテ利用サレルコト、思ヒマス、サウスルト現在ノ水ヲ流ス計畫トシテハ現在ノ深サデ適當デアリマセウガ、運河ノ關係カラモ少シ深クシナケレバナラヌサウスルト、川ヲ横斷スル深サガ深クナラナケレバナラヌ、今ノ御説明デハ北ノ方へ持ツテ行ツタ方ガ安イト云フコトデアリマシタガ、ソレニ付テハ、是ハ餘程宜ク調べナケレバ困難デナイカト思ヒマス

○近藤技師 荒川改修ノ浚渫ノ深サハ「マイナス」六尺デアリマシテ、其ノ外ニ二尺ヲ取りマシテ、伏越シノ高サト致シマス積リデ現在ナツテ居リマスガ、ソレ以上ニ荒川ノ浚渫ノ深サヲシナケレバナラヌト云フヤウナ實情ガアレバ、ソレニ伴ウテ多少或ル程度迄ハ伏越シノ深サヲ深クスルコトモ出來ル積リデアリマス

○中川委員 今ノ御話ニ依リマスルト、六尺カ六尺少シト云フ計畫ダト云フコトデアリマスガ、申ス迄モナク川幅全體、五十間ニ對シテ、實際川ノ形ハソレヨリモ二尺位深イ、或ハ三尺四尺五尺位深イ所ガアル、天狗ノ鼻ノ左岸ニ沿ウテ川ガ非常ニ深クナツテ居リマスガ、現在ノ深サヲ基トシテ河底ヲ越エヨウトスル計畫ノ、六尺ヨリ更ニ二尺位デハ淺過ギル、サウ云フ程度デアレバ川ノ方ニ、或ハ相當大キイ支障ヲ來スノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、サウスルト現在ノ計畫ニ從ツテヤリマシテモ、今ノ深サヨリモ更ニ三尺四尺ハ深クシナケレバナラヌ、或ハモウ少シ深クシナケ



レバナラヌト思ヒマスガ、サウスルト申ス迄モナク下ニ一尺デモ二尺デモ深クスルト云フコトハ、工費ニ於テ非常ニ増スコトデアリマスルシ、更ニ先程申シマヌヤウニ、荒川沿岸ハ上ノ方モ工場トシテ發達シテ居リマスカラ、將來運河トシテ深クシナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、其ノ邊ニ付テ、工事トシテ安イトカ尙イト云フ事ハ餘程考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマスガ……

○近藤技師 御説ノ通りニ、浚渫ノ深サヲ増スコトヲ豫定シナケレバナナルマイト思ヒマスガ、伏越シノ大キサハ大體五尺ニ八尺五寸程度ノモノデアリマスカラ、工事上ノ費用ハ勿論増シハ致シマセウケレドモ、サウ重大ナ増加ニハナラヌト考ヘマス、勿論河川ノ浚渫トノ關係ニ付キマシテハ、内務省ト十分ノ打合セヲシテヤリタイト考ヘテ居リマス

○佐藤委員 經費ハ六千何百萬圓ト云フコトデアリマスガ、恐ラク是ハ此ノ工事ノ直接ノ費用ダラウト考ヘマスガ、實際愈々此ノ仕事ヲ爲スニ當リマシテ、計畫ヲ立テルト云フコトニナリマスルト、起債ノ方法等ニ依ラナケレバナラヌコト、思ヒマスルシ、サウ致シマスルト、ソレ等ノ利子ヲモ見込マナケレバナラヌト云フヤウナコトニナリマスルト、マダ、此ノ金額ガ増スモノト云フ風ニ考ヘマスガ如何デアリマスカ、其ノ六千何百萬圓ト云フ豫算ノ極ク荒ラマシデ宜シウゴザイマスカラ、内容ヲ御示シテ願ヒタイ、モウ一ツハ、此ノ仕事ハ四十一箇町村ニ關係シテ居リマスル關係上單獨ニ各町村毎ニヤツテ行クト云フコトハ事實上不可能デアリ、又不適當デアルト云フコトハ勿論

デアリマスガ、御説明ニモアリマシタ如ク組合事業トスルカ、或ハ關係町村ヲ統轄スル上級官廳ニ於テ施行スルコトニナリマセウガ、何セヨ六千何百萬圓ト云フ事業費ハドウ云フ風ニナサル計畫デアリマスカ、理想カラ申セバ是等ノ町村ヲ統轄スル東京府デ單獨ノ事業トシテ執行スレバ、好都合ト思ヒマスガ、東京府ノ現在ノ状態カラ考ヘテ見マシテ、東京府ノ事業トシテ之ヲ執行スルト云フコトハナカ、容易デナイヤウニ考ヘマスガ、此ノ點ニ付テ、丁度東京府ノ知事サンモ御見エニナツテ居リマスルカラ、東京府ガ此ノ仕事ヲオヤリニナル御意思ガアルカドウカト云フ事ヲ、併セテ知事サンカラモ御伺ヒシタイ

○土岐計畫課長 豫算ノ事デアリマスガ、六千百萬圓ノ内譯ハ、各系統ニ依ツテ申シマスカ

○佐藤委員 總額ノ御知ラセテ願ツテ、モウ少シ詳シクハ書類デ、モ配ツテ戴イタ方ガ、計畫ノ全體ヲ見ル上ニ大體好都合デアリマス、今デナクテモ宜シウゴザイマスカラ各系統毎ノ……

○土岐計畫課長 砂町系統ハ七百八十七萬餘圓、三河島系統ハ二百五十三萬餘圓、石神井系統ハ一千六百七十五萬餘圓、羽根田系統ハ二千六百十九萬餘圓デアリマス、他ニ事務費雜費等デ七百六十四萬餘圓、大體サウ云フ數字デアリマス

○牛塚委員 只今東京府知事ニ對スル御尋デアリマシタガ、此ノ場合知事トシテ御答ヘスルコトハ如何カト思ツテ居リマスガ、先ヅ腹藏ノナイ所ヲ申上ゲマス、今日只今迄ハ府デヤラウト云フ考ハアリマセヌ、今後研究ノ結果、サウ云フ奮發ヲシナケレバナラヌコトニナリマスカ知レマセヌガ、是



迄府デ何等カヤラウト云フ考ヲ持ツタコトハアリマセヌカ

○佐藤委員 當分ヤルト云フ意思ハ無イト云フコトデアレバ、町村自身デヤラセルト云フ御意思ハ殘ツテ居ル譯デアリマスナ

○牛塚委員 今後ノ調査研究ノ結果、各町村デヤラシテハ困ルカラ、一遍ニ府デヤツタラ宜カラウト云フヤウナ事ニナルカモ知レナイガ、本當ニ著手スルト云フ話デアレバ考ヘナケレバナラヌ、今迄ハサウ考ヘテ居ラヌ

○佐藤委員 今ノ所デハ一寸分ラヌト云フコトデアリマスナ

○中川長官 申スマデモアリマセヌガ、此ノ網ハ東京府ノ方デ御調査ニナツテ居ルノデアリマスカラ御參考マデニ……

○土岐計畫課長 私共ノ方デハ、成ルベク東京府ノ方デ統一シテヤツテ戴キタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス、併シ東京府ガ執行スル場合ニ、關係町村ニ受益者負擔ノ意味デ負擔金ヲ分擔セシムルコトハ、差支ナイノデアリマスカラ、或ル所デハ町村組合デアリ或ル所デハ東京府ノ方デヤリマシテモ、東京府ハ分擔金ノ關係、或ハ補助ト云フ關係カラ、ドチラデヤツテモ差支ナイト思ヒマスガ、ドチラデモ結構デスカラ成ルベク知事サンノ方デ御進メヲ願ヒタイト思ヒマス、先程中川サンノ御尋デアリマスガ、計畫トシテ定メマスノデ、實際ノ事業トシテノ計畫ハモウ一回御協議ヲ願フコト

ニナツテ居リマス、ソレカラ江北處分場モアソコニ豫定シタノハ、唯荒川放水ガ別ニアリマシテ、實際利用シ得ナイ土地デアリマスシ、現在ノ三河島ノ位置ハ、工業地トシテ良イ位置デア、云フ土地ヲ潰サナイデ、利用シ得ナイ土地ヲ撰ンダガ宜イノデハナイカト云フノデ撰ンダデアリマシテ實際ヤル場合ニハ土地收用法ノ關係トカ色々ノ事情ガ起リマシテ、現在ノ所デモ御話ノ所ニ持ツテ來ナケレバナラヌヤウナ場合モアルカト思ヒマスケレドモ、一應ハサウ云フヤウナ意味デアノ位置ヲ豫定シタヤウナ譯ニナツテ居リマス、其ノ點ヲ御承知願ヒマシテ事業ノ際ニハ今度ハ具體的ノ御相談ヲ御願ヒスルコトニナラウカト思ヒマス、其ノ點ヲ御含ミ置ヲ願ヒマス

○佐藤委員 此ノ第五ノ下水管渠ノ構造ハ三種類ヲ使用スルコトニナツテ居リマスガ、若シ是レ以外ニ適當ノモノガアレバ、ソレヲ使用シテ差支ナイト思ヒマスガ、其ノ場合ニ斯ウ云フヤウニ之ヲ定メテ置ケバ、此ノ決定ノ拘束ヲ受ケテ、ソレヲ使用スルコトガ出來ナイコトニナルカ是ハ大體ノ計畫デアリマスカラ、實施計畫ヲヤル場合ニ於テソレヲ使ヘバ宜イト云フコトニ考ヘテ宜シイノデアリマスカ、ドウ云フ風ニナリマスカ

○近藤技師 此ノ文ヲ作りマシタ眞ノ精神ハ此ノ三種ニ必ズシモ限定スルト云フ考デハナカツタノデアリマス、御話ノ通り此ノ外ニ適當ナモノガ出テ來ル、或ハ研究ノ結果適當ナモノダト云フコトニナレバ、ドシ／＼使ツテ行キタイ積リデアリマスガ、是ハ文句ノ書キ方ガ餘リ宜シクナカツタカト



モ考ヘナイノデハアリマセヌ

○佐藤委員 大體豫算ヲ定メル上ニ於テ必要ダカラシテ、其ノ計算ノ基礎ニナルヤウナ譯デスカラ、其ノ位ニ考ヘテ宜シイノデスカ

○近藤技師 マアサウ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 今町村デヤツテ居リマスルノハ何處々々デアリマスカ、モウ一遍一寸……

○土岐計畫課長 今ヤツテ居リマスノハ千住、大崎、尾久、王子、大久保、巢鴨、南千住、三河島、日暮里デアリマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 ソレ等ノ場合ニ此ノ幹線トノ關係ハドウナツテ居リマスカ、幹線ノ費用ハ矢張組合ニ負擔サセマスカ、ソウ云フヤウニ契約ガナツテ居リマスカ、此ノ計畫ニナツテ居リマス幹線ト、ソレ等ノ組合トノ關係ハ……

○茂庭囑託 只今ノハ幸ニ此ノ系統ニ都合好ク、單獨ニ始マツタヤウナ場所ガ多ク施設サレテ居リマス、今迄ハソレ程ノ問題ガ起ツテ居リマセヌガ、今後行フ町村ガアレバ、幹線ガ定マツテ居リマスカラ……

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 ソコデ御伺ヒシタイノデアリマスカ、サウ云フコトニナリマスト、

例ヘバ幹線ノ問題ガ計畫トシテモ、定マツテ居ツテモ、町村デ負擔セシムルニ氣ノ毒デアルト云フノデ在來ノ如ク河川ニ放流スルト云フヤウナ問題ニナル憂ガアリマスカ……

○茂庭囑託 汚水ノ處分ト云フヤウナコトヲ無視スレバ、川ナリ溝渠ナリニ——雨水ハ將來共落チルノデアリマスカ——マア流スヨリ外ハナカラウト思ヒマス、併ナガラ益發展スル場合デアリマスカラ、其ノ儘川ヤ濠ニ流スト云フコトハ危険デナカラウカ、斯ウウ云フヤウニ計畫ガ定マツテ居レバ一部分カラデモ處分シナケレバナラヌコトニナツテ來ル……

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 ソレ等ヲ御尋ネスルノハ、私ノ今考ヘテ居リマスルノハ古川ト江戸川ノ改修問題デスガ、此ノ下水系統ト密接ナ關係ヲ持ツテ居ルノデナイカト云フ考ヲ持ツテ居ルカラ御伺ヒスルノデアリマスカ、例ヘバ江戸川ノ改修ニ付テハ東京府モ東京市モ、今計畫ヲ進メツ、アル譯デアリマス、ソレカラ古川ノ方ニ付テハ澁谷川ト古川トハ東京府市デ計畫ヲ進メツ、アルノデアリマスカ、是等ノ進メツ、アル計畫ト將來ノ下水幹線トハ非常ニ密接ナ關係ガアルヤウニ思ヒマスカ、關係ガアルノデアリマセウカ

○茂庭囑託 勿論非常ニ重大ナ關係ガアリマスカ、此ノ調査ニモ雨水ノ關係ハ研究サレテ居リマセヌ、東京市ノ計畫デモ研究サレテ居リマセヌヤウデ、御話ノヤウニ、江戸川ハ現在ニ於テモ上流ハ御承知ノ通り、幅ガ足ラヌ爲ニ汎濫スル、幹線ノ下水ガ出來マシテ其ノ排除ガモット早くナレバ、一層



汎濫ノ出水度ガ早クナリマスカラ、アノ儘デハイカヌト云フコトニナリマスシ、古川ハ幸ニ東京市ノ方デ計畫サレタモノガ、基準ニナツテ居リマスカラ、ソレヲ襲用スルコトヲ基準トシテ土臺ヲ定メテ居リマスカラ、東京市ノ御迷惑ニナルヤウナコトハナイト思ヒマス、目黒川ノ方モ、府ノ計畫サレタモノヲ基準トシテヤツテ居リマスカラ差支ナカラウト思ヒマス、其ノ他ノ川ニ於キマシテハ相當ニ考慮シテ……

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 江戸川ナドハ非常ニ危険デアツテ、現状ヨリモ水量ガ非常ニ急ニ増スト危険ニナル形デアリマスナ

○茂庭囑託 サウ云フコトニナリマス

○佐藤委員 全體ノ計畫ニ付テ關係町村ニ意見ヲ徵サレタコトガアリマスカ

○土岐計畫課長 アリマセヌ

○佐藤委員 東京府ノ方デ町村ノ意見ヲ聽カレタコトガアリマスカ

○牛塚委員 意見ヲ聽イテ居リマセヌ

○佐藤委員 東京府トシテ意見ヲ聽ク必要ハアリマセヌカ

○牛塚委員 アルカモ知レマセヌ

○來島東京府土木部長 技術上ノコトデアリマスカラ、其處ヲ通ツテハイケナイト言ツテモ其處ヲ通

ラナケレバナラヌ

○佐藤委員 採用スルシナイハ別デアリマスケレドモ……

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 法律上ハアリマスマイガ……

○牛塚委員 技術上ト言ツテモ、尙ホ常識ヲ飛離レタモノデナイカラ、聽ク必要ハアルト思ヒマス、

地元ニ、御前達ノ爲ニヤルノデアルカラ意見ハドウカト聽ク必要ガアラウ、役人ノ考ヘテ居ル事ガ一番良イノダト云フ考デハナイノデスカラ……

○佐藤委員 是ハ知事サンノ方ガ御考ヘ置ヲ願ヒタイ

○西村幹事 下水道ニ付キマシテハ、關係町村ノ意見ハ聽イテ居リマセヌケレドモ、街路網ヲ設計致ス時分ニ矢張關係町村ノ意見ヲ聽イテ居リマセヌノデアリマス、餘リ官僚式ノヤウニ御考ニナルカ知レマセヌガ、唯先刻計畫課長カラ申上ゲタ通りニ、是ガ都市計畫事業ニナリマシテ、愈々執行ニ入ル場合ニハ收用法等ノ關係カラ、其ノ點ニ於テ關係町村ト一應協議致シマシテ、モウ一度都市計畫委員會ニ付議スルコトニナリマスカラ、其ノ機會ガアラウト思ヒマス

○藤田委員長 一寸私カラモ御尋ネシテ置キタイト思ヒマスガ、是ハ標準ニナルノデアリマスカ、之ヲ行フト云フ目的デアリマスカ、詰リ造ルニハ斯ウ云フヤウニシテ造ルノダト云フコトヲ内務大臣ガ示スノガ目的デアルカ、或ハ成ベク之ヲ早ク行ハンケレバナラヌカラ、或ル程度ノ見込ガアツテ、



之ヲ御出シニナツタモノカ、其ノ點私ニ能ク分リマセヌカラ一寸伺ツテ置キタイ

○土岐計畫課長 實ハ都市計畫法ニ依リマスルト、都市計畫ノ認定、都市計畫事業ノ認定ト云フニツ  
ニ分ケテアリマス、都市計畫事業トシテノ認定ヲ得マス際ニハ、大體ニ於テ先ヅ豫算ヲ伴ヒマシテ、  
ドノ位ノ程度ニ於テドウ云フ風ニヤル、先ニ御話ノアツタ通り、例ヘバ土地收用ノ關係ニ於テ、關係  
ノ官公署ニ協議ヲスル、サウ云フヤウナ手續ヲ經マシテ、サウシテ都市計畫事業トシテノ認定ヲ行フ  
コトニナツテ居リマス、計畫ノ際ハ唯計畫トシテ立テル際デアリマスカラ、勿論唯標準ヲ示シタノ  
デハナクシテ、計畫通實施スル意志デアリマスケレドモ、事業トシテ認定スル前ニ計畫トシテ立テ  
テ置ク、成ベク早く計畫トシテ一應立テ、置ク、サウシテ財政ノ餘裕ヲ見テ之ヲ計畫事業トスル、  
斯ウ云フ順序ニナツテ居リマス、計畫トシテ立テマシタ際ニハ、計畫トシテノ效力ハ實ハ發生スル譯  
デアリマス、併シ計畫ダケデハ其儘事業ニ着手ガ出來ナイデアリマス、計畫トシテ定マリマスレ  
バ、其ノ定メマシタ計畫ニ基キマシテ事業ノ計畫ヲスル、斯ウ云フヤウナ順序ニナツテ居リマス少  
シ複雑シテ居リマスルシ、多少其ノ關係ガ、ドノ程度マデガ計畫、ドノ程度マデガ事業ト云フコト  
ハ、多少其ノ分界ガ不分明ナ所ガアリマスガ、計畫トシテノ認定ト、事業トシテノ認定ト、其ノ實  
質的ノ差異ニハ多少不分明ノ所ガアリマスガ、ヤリ方トシマシテハサウ云フ風ニ二ツニ分ケテヤツ  
テ居リマスヤウナ次第デアリマス、是ハ計畫ダケデアリマスノデ、府或ハ町村デ計畫スルニハ、此

ノ都市計畫ノ幹線ノ計畫ニ基イテ計畫スル、此ノ計畫ハ大體ニ於テハ動カナイ、尙此ノ計畫ニ基イ  
テ事業トシテヤリマスヤウニ調査ヲシ、又豫算等ヲ考ヘル、斯ウ云フヤウナ順序ニナリマス

○藤田委員長 尙甚ダ不慣レデ詰ラナイ問デアリマスガ、此ノ第一條ニ、都市以外ノモノニモ事業ヲ  
スルコトガ出來ルヤウニナツテ居ルヤウデアリマスガ……

○土岐計畫課長 實ハ都市計畫法ハ、市ヲ原則トシテ定メマシタモノデアリマスガ、其ノ區域外ノモ  
ノモ……

○藤田委員長 出來ヌコトハナイヤウデアリマスガ、斯ウ云フ計畫ヲ定メテドウ云フ目的ニナリマス  
カ、目的ガ一寸分リ兼ネマスガ、此ノ計畫ヲ定メタモノヲ東京市ニ命令スルトカ、東京府知事ニ命  
令スルト云フヤウナ事ヲナサル目的デセウカ

○土岐計畫課長 是ハ東京府知事ノ申請ニ依ルモノデアリマシテ、東京府デ調査シタモノデアリマス  
○藤田委員長 左様デスカ、ソレナラ能ク解リマシタ、今サウデナイラシク見エマシタカラ一寸御尋  
ネシタノデアリマスガ、ソレナラ能ク解リマシタ——ドウカ此ノ際充分ニ御質問下サイマスト議事  
ノ進行上便利デス

○中川委員 アノ圖ニ塗ツテアルアノ面積ダケガ四千二百九十萬坪デアリマスカ

○土岐計畫課長 サウデス



- 中川委員 地勢ノ關係上他カラ這入ツテ來ルモノハ……
- 近藤技師 地勢ノ關係上他カラ這入ツテ來ル分ハ四千二百四十五萬坪デス
- 中川委員 ソレハ凡ソドノ邊ノ部分デスカ
- 近藤技師 色ヲ塗潰シテ居リマセヌケレドモ(圖面ニ就キ説明)約コンナ見當ニナリマス
- 中川委員 ソレハ色々御研究ニナツタノデアリマセウガ、多摩川ノ方ニハ落ちナイノデセウカ……
- 多摩川ニ沿ツテ居ル部分ハ高臺ニナリマスガ、少シ深ク掘ルト皆多摩川ノ方ニ落ちルト思ヒマスガ……
- 近藤技師 御話ノ通りニアノ區域ハ分水嶺ニナツテ居リマス、掘割リマシテ多摩川ノ方ニ流サウト思ヘバ流シ得ル譯デアリマスケレドモ、工事ノ點デ結局アノ分水嶺ノ方ガ宜クハナイカト思ヒマシテ分水嶺ヲ境ニ致シマシタ
- 中川委員 今ノ御説明ニ依リマスト、或ル程度ニ掘レバ多摩川ノ方ニ流レルガ、工費ノ點デト云フコトデアリマスガ、極ク概略デモ宜イノデアリマスガ、一二ノ例ヲ擧ゲテ御説明ヲ願ツテ置キタイ

○茂庭囑託 只今ノ御話ノ點ハ、地形上現在ノ計畫デハ、掘割ツテモ、澁谷川流域ノモノハ全部今ノ御話ノ古川ノ方ニ落ちマセヌカラ……汚水ヲ排除スルト云フコトハ、分水嶺ヲ越エレバ唧筒場ヲ設

ケナケレバナラヌコトニナル、又分水嶺トシマシテモ、ダラ／＼ノ分水嶺デアリマスカラ、地形上ドウシテモ、ソツチヘ持つテ行クコトハ不利益ガナカラウカ……ドツチヘ持つテ行ツテモ汚水ヲ多摩川ニ放流スルコトハ出來マセヌカラ、之ヲ集メテ放流スルト云フコトニナレバ、工費ノ點ニ於テハ何モ變リハナイシ、成ベク一ト纏ニシテ大キイ處分場ヲ拵ヘテ、餘リ小サイモノニシタクナイト云フヤウナ所カラ四ツ位ニ定メマシテ、尙必要ガアレバ多摩川ノ方ニ排除サレルモノヲ一ト纏ニシテ處分場ヲ拵ヘヨウ、斯ウ云フ考デアリマス

○中川委員 圖デ見マスト、多摩川ノ方ガ非常ニ近い、場所ニ依ツテハ汚水ヲ多摩川ノ方ニ抜イタ方ガ非常ニ便利ナヤウニ考ヘラレル所ガアルノデアリマス、決シテ御調査ヲ疑ツテ彼レ此レ言フ譯デハアリマセヌガ、區域ガ非常ニ廣イノデアリマスカラ、全部御調査ハ爲サツタノデアリマセウガ、ナカ／＼困難デアリマスカラ、或ハサウ云フ點ヲ尙能ク老慮スル點ガアルノデハナイカト考ヘマシガ、其ノ邊ハ如何デセウ

○茂庭囑託 全體汚水ヲ處理スルト云フ事ヲ計畫ト致シテ居ルノデアリマシテ、雨水ノ排除ハ別途ニ考ヘテ居リマス、現在ノ川ナリ堀ナリガ、斯ウ云フ系統ニ流レテ居リマスカラ、雨水ノ排除ノ爲ニ將來多摩川ニ持つテ行ク方ガ宜イト云フコトニナレバ、別途ノ調査ニナル、此ノ調査ニハ這入ツテ居リマセヌ、唯汚水ヲ排除スルニハ斯ウ云フ方法ヲ以テヤツテ行カウ、斯ウ云フ考ヲ持つ



テ居リマス、多摩川ニハ水道ノ取入ガ澤山アリマス、若シソレガ地形上、水道取入口ノ上流ニ持ツテ行ケナイト思ヒマス是ハ雨量ヲ計畫スル場合ニハ、色々ノ研究ヲシナケレバナラヌト思ヒマスガ、此ノ調査ハ其ノ方ニハ觸レマセヌデ、汚水ヲ排除シヨウト云フ事ノ出發點カラ來テ居リマス

○藤田委員長 御尋ネシマスガ、是ハ假ニ掛カルトスレバ何年位デ仕上ゲル見込デアルカ、東京府ガ若シ着手スレバ何年位デ出來ルモノカ、又其ノ負擔ト云フモノハ、凡ソ六千萬圓、ソレニ更ニ六千萬圓、合セテ一億二千萬圓ト云フ金ハドウ云フヤウナ振合ニ、國庫ガ幾割出ストカ、受益者ガ出ストカ府ガ出ストカ見込ガ付ク譯デアリマスカ、其ノ見込ハドウ云フモノデアリマスカ、東京府知事カ復興局ノ御考ヲ伺ツテ置キタイ

○土岐計畫課長 實ハ御話ノアリマシタ通、何處デヤルコトニナルカ、實體ガ定マツテナイヤウナ次第デアリマス、實ハ東京府ノ申請デアリマスカラ、成ベク東京府ノ方デ施行シテ貰ヒタイト思ヒマスガ、併シ東京府トシテモ非常ニ多額ノ豫算ヲ要スル關係ニナリマスカラ、之ヲ今東京府デ引受ケルト云フ事ヲ言ハレル譯ニハイカナイヤウナ状態ニナツテ居リマス、東京府デ若シ出來ナケレバ町村組合ノ方デヤル、全部ヲ東京府デヤルカ、或ハ一部ヲ東京府デヤツテ一部ヲ町村組合デヤルト云フヤウナ問題モアリマス、其ノヤリ方ニ依ツテ、何年位掛カルカト云フコトハ少シ見當ガ附キ兼ネルノ

デアリマス、主タル問題ハ金ノ問題デアリマス、此ノ次ニモウ一遍都市計畫事業トシテ委員會ニ掛カル際デナケレバ、何年間ニト云フコトハ御答辯申上ゲ惡イヤウナ状態ニナツテ居リマス、ソレカラ此ノ財源ニ付キマシテハ一部國庫ノ補助ガアル、尙又町村ガ施行スルニシマシテモ東京府ガ施行スルニシマシテモ、東京府ガ施行スル場合ニハ、或ハ町村ニ受益者トシテノ分擔金ヲ賦課スルコトモ出來ル、尙東京市ナリ王子ナリニ於キマシテハ、其ノ一部ヲ直接人民ニ受益者負擔トシテ賦課シテ居ル例モアリマス、巢鴨町ノ、コノ間御決定ヲ願ヒマシタ下水道ニ於キマシテハ、若シ起債ナリ或ハ其他ノ豫定シタ財源ガ得ラレナカツタ場合ニハ、受益者負擔ヲ以テ補填シヨウト云フ様ナトコロモアリマス、ダカラ是ハ實際實施スルコトニ定マツタ上デナケレバ分ラナイノデアリマス、唯サウ云フヤウニ出シ得ラル、途ガアルト云フ事ダケヲ申上ゲル次第デアリマス、其ノ以上ノ事ハ此ノ際御答辯申上ゲ兼ネルノデアリマス

○藤田委員長 モウ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、只今御話モアリマシタガ愈之ヲ爲サウト云フ場合ニハ、更ニ之ニ依ルカ何レカ知リマセヌガ、執行シヨウト云フ者カラ案ヲ具シテ内務大臣ニ伺フノデアリマセウガ、内務大臣ガ、假ニ此ノ委員會デ決定シタ案ヲ、變ヘルコトモ出來マセウケレドモ、又補充スルコトモアリマセウカラ、ドウセ願出ル時ニハ種々財源ナリ方法ヲ定メルコトニナリマセウガ、八重ナルヤウナ懸念ハナイデアリマセウカ、詰リ是ハ將來成ス原案ノ草稿ニデモナル



ト云フヤウナ意味デアリマセウカ

○土岐計畫課長 變更ハシナイ筈ナノデス、之ヲ事業トシテヤリマス場合ニハ、内務大臣ハ——大體ハ内部デハ申請ニ依ルノデアリマスケレドモ、形式カラ言ヒマスルト、内務大臣ガ東京府知事ヲシテ執行セシメ、或ハ組合町村ヲシテ執行セシムルト云フ事ヲ定メルコトニナルノデアリマスガ、ソレヲ何年間ニドウ云フ方法デ執行スル、斯ウ云フ認定ノ決議ヲモウ一回スルコトニナル譯デアリマス、是ハ是デ計畫トシテ確定スル譯デアリマス、國庫事業ノ際ニ多少ノ變更ハ是ハ大體ノ計畫トシテ比較的大ザツバニ線ガ引イテアリマスカラ、實際事業トシテヤル場合ニハ此ノ附近ニハ相違ナイケレドモ、此ノ中ノ何處ヲ通スト云フヤウナ事ハ、事業デナイト定メラレナイノデアリマス

○藤田委員長 御質問ハゴザイマセヌカ

○牛塚委員 先程ノ關係町村組合デヤルカ府デヤルカト云フ問題デアリマスガ、府デヤル考ガアルカト云フ御尋デアリマスガ、組合町村ヲ排シテ府デヤルト云フ事ヲ今日迄考ヘテ居ラヌノデアリマスカ、ソレニ關聯シテ、今ノ御説明デハ、成ベク府デヤレ、ソレガ出來ナケレバ町村組合デト云フ御説明デアリマシタガ、是ハ考ヘ方デアリマスカラ一應御尋ネシテ置キタイ、法律ノ趣意カラ言ツテ、都市計畫關係ノ仕事デ、町村ニ關係ノモノハ、出來ルナラバ町村ニヤラセルコトガ本旨デアリマシテ、ソレガ出來ナイ場合ニハ府デヤルト云フ事ガ本當ナノカ、ソレトモ先ヅ府デヤルコトガ先ニスベキ

カ、今ノ御説明デ多少疑ヲ持ツタノデアリマスガ、町村組合ノ事業トスルカ、ソレガ出來ナイ場合ニ府デヤツタ方ガ適當デナイカト認メル、此ノ計畫ハ計畫デアツテ、實行的デナイカラ後ノ問題デアリマシト思ヒマスガ、大體ノ考ヘ方ハ、町村組合デヤラセルノヲ主トシテ、ソレガ出來ナイ時ニ府ガ一ツ肌ヲ脱グベキカ、町村デヤルベキ事ヲ府ガ乗出シテヤルノカ、ソレヲ念ノ爲ニ伺ツテ置キタイ

○土岐計畫課長 都市計畫法ニ於キマシテハ、市ガヤルコトガ原則ニナツテ居リマス、市以外ノ區域ニ亘ツテ執行スル場合ニハ原則ト云フコトハ都市計畫法ニ於テハ無イ譯デアリマス、ダカラ町村ニ於テヤリマスモ之ヲ統轄スル府縣ニ於テヤリマシテモ、此ノ順位ハドツチガ先、ドツチガ後ト云フコトハナイノデアリマス、大體此ノ法規ハ市ヲ主體ニシテ、出來テ居ルノデアリマス、今ノ斯ウ云フヤウナ計畫ニナリマスルト市町村限リデ出來ナイノデアリマスカラ、組合ガ出來マスレバ、結構デアリマシテ、實際執行上ノ問題トシテハ府ノ方デスルコトガ便利ダラウト思ツテ居リマス、

○牛塚委員 一ツノ町村デアレバ其ノ町村デヤラセルノデアリマスガ、ソレガ二ツニナリ三ツニナリマスルカラ、考ヘ方ニ於キマシテハ矢張組合デヤルカ、ソレガ出來ナイ時ニハ府ガヤルノガ當リ前デハアリマセヌカ、假ニ一ツノ場合ヲ想像スレバ一番明瞭デ、一ツノ場合デモ府デヤルト云フ論ガアルノデアリマスカ

○土岐計畫課長 ソレハ別ニサウ云フ論ハアリマスケレドモ……



○中川委員 今ノ御話ノ一ツノ場合ニハ勿論町村限リノモノデアリマセウガ、此ノ計畫ニモアリマス通り、汚水處分場トカ、總テノモノヲ纏メテ一緒ニヤル幹線的ノ仕事ガアリマス、サウ云フモノハ出來レバ組合デヤラセル、ソレガ餘リ複雑ニナルト組合ノ組合ト云フモノガ出來テ來ナケレバナラヌヤウニナル、ソレヲ府デ纏メテヤラレルノガ執行上便利デナカラウカ、實質上サウ云フコト決定スルノデアラウト思ヒマス

○藤田委員長 是ハ段々説明ニナリマシタ通りニ、實施デナク大體ノ計畫デアリマス、更ニ段々個々ニ下水道ノ計畫モアル譯デアリマスカラ、大體ノ計畫ヲ決定シテ置クト云フコトハ極メテ必要ナコト、思ヒマス、段々御質問モアリマシタケレドモ、將來實施ノ際ニ於ケル注意ニ屬スルヤウナモノモ多イヤウニ考ヘマス、大體ノ所原案ニ御異存ガナケレバ、尙御意見ノ御交換ヲ願ツテ御決定ヲ願フコトガ出來レバ結構ダト思ヒマス——先刻當局ノ方カラ經費ナドノ明細書ヲ戴クト云フコトデアリマシタガ、或ハソレヲ見タ上デモウ一回御開キニナリマスカ、ドウ云フ御都合デゴザイマセウカ、ドウモ主トシテ技術上ノ事デアリマスカラ、今日此處ニ技術ノ方ノ方モ居ラレルヤウデアリマスカ、其ノ御方ナドノ御意見ニ依リマシテ、モウ一遍御開キニナリマスカドウデスカ

○牛塚委員 如何デセウ、モウ一回寄ツテ見テハ……

○藤田委員長 其ノ方ガ宜シイヤウデスカ、御出席ニナラヌ方モ御アリノヤウデアリマスカラ、御迷

惑デモモウ一回御寄リヲ願フコトニシテ、其ノ時ニ今ノヤウナ書類ヲ頂戴シテ其ノ上デ御決定ニナツテハ如何デセウカ

○土岐計畫課長 書類ハソレ迄ニ御送り致シマセウ

○中川委員 色々御調ガアルヤウデアリマスカ、工費ヤ何カモウ少シ分リ易イモノヲ……

○藤田委員長 土地ヲ買收スル費用ハドノ位要ルトカ、暗渠ガ幾ラアルカト云フヤウナ、素人ニ分ルヤウナモノモ頂戴シタラ宜イカト思ヒマス、御見込デ宜イノデアリマス——ソレデハ今日ハ是デ閉デマス、次回ハ七日ト云フコトニ願ヒマス、矢張午前十時カラ開クコトニ致シマス

正午散會



計  
東京都市  
畫

郊外下水道決定ノ件第二回特別委員會議事速記録

昭和五年二月七日(金曜日)復興局ニ於テ開會

出席者氏名

委員長

貴族院議員 藤田四郎君

委員

警視總監丸山鶴吉君代理  
警視廳書記官 古川靜夫君

内務省土木局 三邊長治君

東京府知事 牛塚虎太郎君

内務技監 中川吉造君

東京市會議員 新甫寬實君

東京市長 堀切善次郎君

5  
L



正四位勳三等 牧 彦 七君  
 東京府會議員 佐藤 久太郎君  
 復興局長官 中 川 望君

幹 事

復興局書記官 武 部 六 藏君  
 復興局書記官 土 岐 銀次郎君  
 正六位勳五等 西 村 輝 一君  
 復興局事務官 片 野 道 藏君

議 事

午前十時二十五分開議

○藤田委員長 是ヨリ開會致シマス、先日御依頼ノ書類ヲ當局カラ御廻シニナツテ居リマスカラ、御受取ニナツタコト、思ヒマス、ソレニ付キマシテ、尙ホ其ノ他總テニ付キマシテ御尋ガアリマシタラドウカ……

○土岐計畫課長 此ノ前ノ委員會ノ際ニ、中川サンカラ御質問ノアリマシタ點ニ付キマシテ、尙ホ一應私カラ御答ヘ甲上ゲテ置キマス、此ノ前中川サンカラ、御質問ノ、江北ノ處分場ヲ廢メテ、之ヲ三河島ノ處分場ノ方ニ移スコトハ出來ナイカト云フ御尋ガアツタノデアリマス、ソレニ付キマシテハ(圖面ニ就キ説明)實ハ此處ニ三河島ノ處分場トシテ一萬坪ノ計畫ニナツテ居リマスガ、是ガ現在此處ニ在リマス東京市ノ三河島ノ汚水處分場約六萬坪アルノデアリマス、其ノ六萬坪ノ土地ノ中デー一萬坪ヲ東京市ノ方カラ融通ヲ受ケテ、サウシテ一萬坪ノ面積ヲ設ケラレル程度ノ汚水ヲ其處デ處分ヲスル、斯ウ云フヤウナ計畫ハ内輪ニハアツタノデアリマス、實ハ打合セノ當時色々意見モアリマシテ、東京市トノ協約デハ、一萬坪以上ハ融通ガ出來ナイガ、一萬坪ハ融通シテモ宜イト云フ打合セノ結果、市ノ處分場ノ場内ニ一萬坪ノ今度ノ計畫ヲ立テタ譯ナノデアリマス、隨ツテ一萬坪ニ相當シマス汚水トシテ、大體紫色ノ部分ヲ此處デ處分スルト云フ事ニ、當時ノ計畫ハサウ云フ事ニナツタノデアリマス、然ラバ此ノ一萬坪以外ニ江北ノ處分場トシテ豫定シテ居リマスル約五萬坪ノ土地ハ、其ノ附近ニ於テ得ラレナイノカドウカト云フ點ニ付キマシテハ、其ノ當時モ能ク調査セラレタノデアリマスガ、此ノ附近ニハ火葬場モアリマスルシ、尙ホ五萬坪ノ土地其ノモノハ得ラレルノデアリマスケレドモ、比較的工業ノ發達シ得ベキ土地デアリマスルシ、尙ホ都市計畫道路等ノ完成ニ依リマシテ、將來益々發展スベキ土地デアリマスルノデ、是ガ買收ニ付キマシテモ相當困難ヲ感ジマ



ス、尙ホ價格ニ付キマシテモ相當多額ノ經費ヲ要シマスル關係カラ、色々協議ノ結果、江北處分場ヲ設ケヨウ、斯ウ云フ事ニ打合セハ成立ツタヤウナ次第デアリマス、ソレデ江北ノ處分場ヲ此ノ位置ニ設ケマス際ニ、先日御話ノアリマシタ舊荒川ノ川底ヲ通リマシテ、伏越ヲ拵ヘマス事ノ可否ニ付テノ點デアリマスガ、之ニ付キマシテハ大體鐵管デ汚水ヲ導水スル豫定デアリマシテ、相當深サノアル關係カラ、工事トシテハ困難ヲ伴フ譯デアリマスケレドモ、約八萬八千圓位ノ金額デ導水シ得ラレル見込デアリマシテ、尙ホ此ノ鐵管ガ故障等ノアツタ場合ヲ豫想シマシテ、先ヅ二本鐵管ヲ引クト云フ風ニ致シマスレバ、大體支障ナク處分場ニ汚水ヲ導クコトガ出來ルデアラウ、斯ウ云フ計畫ニナツテ居リマス、尙ホ此ノ荒川放水路ト舊荒川ノ間ノ土地ヲ選ビマシタ理由ニ付キマシテハ、アノ土地ト致シマシテハ比較的發展ノ少ナイ土地デアリ、尙ホ土地ノ價格カラ申シマシテモ割合ニ低廉デアリ、尙ホ川ト川ニ挾マレマシテ、汚水處分場トシテ最モ厭フベキ蟲ノ發生ニ依リマシテ、近所ニ及ボス惡影響ヲ少ナクスルコトガ出來マスルノデ、アノ土地ヲ選ンダヤウナ譯デアリマス、尙ホ兩方ノ計畫ヲ經費ノ關係カラ見マスレバ、五萬坪ノ土地ヲ三河島ノ方ニ選ブトシマスルノト、江北處分場ノ土地ヲ選ビマスノトデハ、約百七十萬圓位經費ガ餘計掛ル計算ニナルデアリマス、尙ホ伏越ノ廢止ニ依リマシテ八萬八千圓バカリヲ節約スルコトガ出來ルデアリマスケレドモ、幹線敷設ノ損失ヲ伴ヒマスルノデ、約六十萬圓バカリ餘計ノ費用ヲ要スル計算ニナルデアリマス、

斯ウ云フヤウナ都合デアリマシテ、色々攻究モシ、又實地調査モシマシタ結果、今度ノ計畫ニナリマシタ次第デアリマス、ドウカ御承知ヲ願ヒマス

○三邊委員 一寸伺ヒタイノデアリマスガ、此ノ計畫ノコトハ色々御質問ガアリマシタノデスガ、計畫ダケヲ定メルト云フ事ニ付テハ、或ハ餘計ナ質問カモ知レマセスガ、計畫ヲ定メルト云フノハ、結局之ヲ執行スルト云フ腹ガナケレバ、マルデ無意義ナノデアリマスガ、財政計畫ナドニ付テ多少前回モ質問ガアリマシタガ、是ハ一體誰ガ執行シヨウト云フ本當ノ腹ガアルノデアリマスガ、從來都市計畫ト云フモノハ、ソレハ成程此ノ委員會デ定メテモ、或ハ市デヤルトカ或ハ府デヤルトカ、實際ヤラウト云フ仕事ノ主體ハ定マツテ居ル、法律上ノ手續ハ色々アリマスケレドモ、是ハ説明ヲ讀ンデ見テモ、組合ガアルカモ知レナイ、或ハ之ヲ併セテ上級行政廳デ執行スルノガ適當デアルカモ知レナイト云フノデ、此ノ點ノ説明ハ前回ニモアリマシタガ、一體何處デヤラウト云フノカ疑ヒガアルノデアリマスガ、ソレヲ言フノハ、組合ガアルカ府ガアルカ、唯此ノ儘ニシテ置イテハ進マナイト思フ、實際ハ府ガ必要ト認メタノデ、ケレドモ其ノ仕事ハ組合ニヤラセヨウ、マア組合ヲ造ラセルト云フコトデナイカト思フガ、其ノ組合ト云フモノガアルノデアルト、組合ガ進ンデヤルト云フコトガアリマスケレドモ、組合ト云フモノハ無いノデアリマス、愈々組合ヲ造ラセルコトニ着手スルト云フコトニナルト、組合ニヤラセナケレバナラヌト思フガ、組合ヲ造ラセタガ、サア



ドツチガヤラウカト云フ事ニ付テ、實際責任ヲ負ウテヤラウト云フノハ、何處ガヤラウト云フノデアリマスカ、前回此ノ點ノ東京府知事ノ説明ハ甚ダ不徹底デアツタノデアリマスガ……

○土岐計畫課長 實ハ此ノ計畫ハ、大正九年——タシカ九年デアツタト思ヒマスガ、東京府デ調査員ヲ置キマシテ、其ノ後引續イテ計畫ヲ立テルベク調査ヲ進行シテ居ツタノデアリマスガ、最近東京府ノ此ノ調査ガ完了致シマシタノデ、東京府知事カラ都市計畫委員會ニ提案方ノ申請ガアリマシテ、實ハ其ノ東京府知事ノ申請ニ基キマシテ復興局ニ於キマシテハ、東京府市ノ關係ノ方々ニ度々御出デヲ願ツテ色々打合セヲシタ結果、是ナラバ宜カラウト云フコトデ實ハ本會ニ付議スルコトニナツタノデアリマス、最初私共ノ考デハ、東京府ニ於テ執行セラレタキ希望ヲ持チ、又多分サウナルコト、考ヘテ居ツタノデアリマスケレドモ、本案件ノ際ニ、東京府ニ於キマシテ之ヲ執行スルト云フ事ヲ確定的ニ本案ニ現ハスト云フ事ハ、今日ノ東京府ノ財政カラ考ヘマシテ、明確ニサウ云フ事ヲ書カレルト云フコトハドウモ困ルト云フヤウナ話モアリマシテ、東京府カ然ラザレバ關係町村組合ニ於テ執行スル外主體ガ無イノデアリマスノデ、關係町村又ハ東京府ト云フコトニ實ハ此ノ説明ニ表ハシタ次第デアリマスガ、私共ノ希望ト致シマシテハ、郡役所ノ廢止サレタ今日ニ於キマシテ、是ダケノ多數ノ町村組合ヲ拵ヘマシテ、本案ヲ執行スルト云フコトハ相當困難ヲ伴フノデハナイカ、サウ云フヤウナ考カラ、東京府ニ於テ成ルベク早く執行ノ出來ルヤウニ御計畫ヲ願ヒタイト云フ希

望ヲ實ハ持ツテ居ルノデアリマス、併シ必ズシモ東京府デ執行シナケレバナラヌ性質ノモノデハアリマセヌノデ、東京府ノ方ノ御盡力ニ依リマシテ町村組合ガ出來テ、ソレニ對シテ工事ヲ執行セシムルト云フコトニ御盡力ヲ願ヒマスレバ、勿論ソレデ結構ナ次第デアルノデアリマス、實ハ此ノ前ノ會議ノ際ノ色々ノ問答カラ見マスレバ、多少不徹底ノヤウニ御感ジニナラレル嫌ガアルノデアリマスガ、東京府ニ於テハ之ヲ自身又ハ組合ニ於テ當然執行スルヤウニ十分ニ御骨折ニナラレル、サウ云フ精神ノ下ニ申請セラレタモノト信ジテ居リマス、ドチラニナルカハ御答ヘシ兼ネルノデアリマスガ、ドチラカニ於テ必ズ事業トシテノ計畫ガ立チ、執行サレルモノト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○三邊委員 大體分リマシタガ、其ノドチラカト云フノガ私ハ危ブルノデアリマス、今ノヤリ方デハ、形式ハ都市計畫委員會デ決定シテヤルコトニナルノデアリマスガ、實際ニ於テハ此ノ仕事ヲヤラウト云フ決心ヲ持ツテ居ル團體ガ定マツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、ソレデナケレバソレコソマルデ計畫ダケニ終ツテ、單ニ描イタヤウナモノニ往々ソレガナルノデアリマスカラ、在來ノハ何處デヤルト云フ本當ノ腹ガ定マリ、ソレヲ進メテ行カウト云フ主體ガ定マツテ居ルヤウデアリマスガ、前回ノ説明デモ、又今日聽イテモ多少ソコガ不安ナヤウデアリマシテ、此ノ仕事ヲ組合デヤツテモ宜イ、府デヤツテモ宜イガ、府デヤルカ組合デヤルカ、之ヲ實現スル責任ヲ取ルノハ東京府ダト思



○牛塚委員代理來島東京府技師 今日ハ知事ハ公用ガアリマシテ、只今出席致シテ居リマセヌノデ、是ハ府ヲ代表シテ御答ヘスルト云フコトニマデ府ノ意見ガ全部一致シテ居ルト云フ譯デハナイノデアリマスガ、大體私ノ考ヘテ居ル所ヲ申上ゲマスレバ、唯今郊外各町村トモ、皆下水工事ノ必要ガ段々ニ迫ツテ居ルノデス、ソレデ先達モ申サレタヤウニ、數箇町村ハ最早著手シテ居ルノデアリマス、ケレドモ此ノ個々ノ町村ガ下水ヲ執行致シマス際ニ、何レニシテモ最後ニハ斯ウ云フ風ナ幹線ヲ造ツテ、ソレヲ處分場ニ持ツテ行クト云フコトガ必要ナノデアリマス、ソレデ其ノ幹線ヲ凡ソドウ云フ風ニ造ルト云フコトヲ決定シマセヌト、各町村個々ニヤツテ居ル下水工事ノ歸著點ガ分リマセヌカラ、ソレデ先ヅ最後ニハ斯ウ云フモノヲ拵ヘルノデアルト云フ事ヲ決定シテ置クコトハ必要ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ此ノ案ヲ決定シテ戴ク、サウシマスレバ各町村個々ニヤツテ居リマスル下水工事ハ、之ヲ基準ニシテ進メテ行クコトガ出來ル、サウシテ進ミマス間ニ、此ノ幹線モ何レ執行シナクテハナラヌト考ヘテ居リマスガ、之ヲ今直チニ府デヤルトカ或ハ町村組合デヤルトカ云フ事ハ、今ハドチラニスルト云フ事ヲ確定シテ居ナイノデアリマス、確定シナイノニ斯ウ云フ計畫ヲドウシテ進メルカト云フヤウナ御尋ノヤウニモアリマスガ、ソレハ今申シマシタヤウニ、此ノ幹線ガドウ云フ風ニナルト云フ事ヲ決定シテ置カナケレバ、各町村ノ下水ヲ、計畫ヲ進メテ行ク

コトガ一寸困難ニナリマスカラ、ソレデ先ヅ此ノ幹線ヲ斯ウ云フ風ニヤルノデアルト云フ事ノ御決定ガ出來マスルト、此ノ御決定ニ基イテ、將來財政計畫ノ容ス範圍ニ於テ、如何ニシテ進メテ行カウカト云フ事ヲ研究シテ、サウシテ實行シテ行キタイ、斯ウ考ヘルノデアリマス

○三邊委員 誰ガヤルカト云フ事ニ付テ確定シテ居ラヌノニ何故出シタカ、其ノ出サレタ趣旨ハ分ツテ居ルケレドモ、其ノ場合之ヲ組合ニヤラセルカ、府ニ於テヤルカ、實際組合ト云フモノガ出來テ居ラナイノデアアルカラ、組合ニヤラセルト言ツテモ、誰カソレヲ指導シテ行クモノガナケレバナラヌ、ソレヲ此ノ前聽クト何ダカ曖昧デアリマシテ、誰ガ原動力ニナツテ此ノ仕事ヲ實行ニ移ス事ヲ努力スルノデアアルカ、形式カラ言ヘバ、或ハ内務大臣トカ色々アルカモ知レマセヌガ、其ノ法律關係ハ兎モ角、實際ハ誰ガ原動力ニナルノデアアルカ、又將來誰ガヤツテ行ク積リカト云フ事ヲ御尋ネスルノデアリマス、今ノ所デハ此處ニ説明シテアル通りドツチカ分ラナイ、ドツチカ分ラナイデアウツテ置ケバ、本當ニ空漠タルモノニナル

○中川長官 只今東京府ノ方ノ御説明モアリマシタガ、三邊委員ノ御質問ハ、要スルニ前回東京府知事ガ色々御質問等ガアリマシタノデ、是ハ東京府知事ガ新任日ガ淺イノデ、事情ヲ一寸モ御承知ガナカツタノデ、餘所ノ方ノ仕事ノヤウナ質問ガアリマシタノデ、自然誤解サレタノデアリマスガ、隨ツテ主體ガ定マラナイヤウナ御質問ガ出ルノハ御尤モデアリマスガ、此ノ仕事ノ主體ガ定マラヌ



ト云フ事ハ、他ノ道路計畫ト云フヤウナモノデアレバ、固ヨリ初メカラ主體ガ定メラレルノデアリマス、市以外ノ所ノ都市計畫ニ付テ、府ガヤルカ市ガヤルカト云フ事ニ付テ主體ガ定マラナイト云フ事ハソレハ比較的少ナイノデアリマス、此ノ下水ノ如キハ、關係町村ガ個々デモヤレル部分ガアリマスガ、幹線トカ處分場ノ如キハソレヲ一ト纏メニシテヤルコトニナルノデアリマス、ソレデ今ノ道路ニ付テ市ト府トノ關係ト云フヤウナモノトハ非常ニ違フノデアリマス、東京府ハ數年前ヨリ此ノ調査ヲヤツテ居ラレル、ソレカラ察シテモ、財政ガ容スナラバ、幹線ニ纏メテ處分場ヲ設ケテ處分ヲ行フト云フ事カラ言ツテモ、府デ行フコトガ適當ト認メテ居ラレルノデアラウト思フ、唯今日ノ財政上ニ於テハソレガ不可能デアルカラ、自分ノ方デヤルト云フ事ヲ斷言シ兼ネルノデアラウト思ヒマス、併シ全體ノ計畫ヲ定メテ置カナカツタナラバ、個々ノ問題ガ起ツテ來タ場合ニ之ヲ定メルコトガ出來ナイト云フノデ、是ガ空文ニ終ツテシマフト云フヤウナ事ハ杞憂デナイカト思ヒマス、蛇足デアリマスカ知レマセヌガ、一寸申上ゲテ置キマス

○牧委員 東京府ノ方ノ先程ノ御話ト、今ノ長官ノ御説明デ稍々疑問ガ出來タノデアリマスガ、東京府ノ方ノ御話ニ依リマスルト、此ノ幹線計畫ガ確定シナイ以前ニ、部分的ニ此ノ下水計畫ガ個々ニ進メラレルト云フコトニナルト、下水ノ根本策ハ第二ニシテ置イテ、取敢ヘズ汚水ヲ、ドウニカスウニカ間ニ合セニ排除シテ置ケバ濟ムト云フ、一時的ノ經過的ノ計畫ヲ遂行セラル、コトニ終ツテ、

此ノ幹線計畫ノ下水ノ根本策ト云フコトハ、財政計畫ガ立タナイト云フコトノ口實ノ下ニ、三邊委員ガ心配サレタヤウナ工合ニ、無期延期ノヤウナ形ニナツテ、此ノ計畫モ空文ニ終ルノデハナイカト云フヤウナ疑ヲ一寸持ツテ來タノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デアリマセウカ、モウ一步進ンデ御説明ヲ伺ヒタイ

○牛塚委員代理來島東京府技師 大體先程申上ゲタ所デアリマスガ、要スルニ組合デヤルカ或ハ府デヤルカ、何レデヤルニ致シマシテモ、先ヅ此ノ計畫ヲ定メルト云フ事ガ私ハ第一デアルト思フ、此ノ計畫ガ定マルト、例ヘバ組合ヲ設ケルニシテモ砂町系統ノ町村ノ組合ヲ造ルト云フコトガ出來マス、先ヅ此ノ系統ガ定マラナイ間ハ、組合ヲ造ラウト言ツテモ、ソレハ何處ト何處ヲドウ云フ風ニ組合ニスルト云フ計畫モ立タナイ、ソレデ先ヅ此ノ計畫ヲ定メテ置ク、サウシテ今度ハソレガ決定スレバ其ノ次ニハ組合ヲ造ル、砂町系統ハ砂町系統デヤツテ行カウ、コツチハ斯ウ云フ風ニヤラウト云フヤウニ、組合ノ範圍ガ定マツテ來ル、又府ガヤルトシテモ、此ノ中デ何處ヲ府デヤラウト云フヤウニナル、兎ニ角根本ニナルモノヲ先ニ定メテ置クト云フ事ガ第一デアツテ、實行ヲ如何ニスルカト云フ事ハ其ノ次ニ、財政ノ方面モ考ヘマシテサウシテ決定シテ行クベキモノダラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、財政ノ計畫ガドウシテモ樹タヌ時ニハ、今直チニ之ヲ實行スルト云フコトハ困難カト考ヘマスガ、何レニシテモ之ヲ實行ニ移シテ行クト云フコトハ、此ノ計畫ガ定マツ



タ後デ十分努力シナクテハナラヌ問題デアラウト考ヘマス

○牧委員 私ノ心配スルノハ、斯ウ云フ事ガアリハシナイカト思フ、此ノ各系統ノ根本計畫ガ定マツテ、將來財政計畫ガ確立スレバ此ノ根本的ナ幹線計畫ヲ遂行スルノデアルガ、未ダソレニハ今日確定シタ案モ無イノデアリマスカラ、便宜的ニ極ク小サク刻ンデ、附近ノ自然排水路ニ放出シテサウシテ一時ノ急ヲ凌グ、ソレカラシテ將來幹線計畫ガ出來ル曉ニ、其ノ各系統ニ從ツテ、ソレニ結付ケテ、サウシテ全體トシテノ下水系統ノ完成ヲ圖ルト云フヤウナ、ソコニ便宜ナ一時的ナ手段ガ執ラレルト云フヤウナ場合ガアリハシナイカ、サウスルト云フト、無イ袖ハ振ラレスト云フ事實問題カラ、マアソレデ間ニ合フノデアルカラ、非常ナ負擔ヲシナケレバナラヌノデアルカラ、根本計畫ハマアノ、當分見合ハシテ宜カラウト云フノデ、一時延バシニサレルコトガ起ツテ來ルト思フ、サウシテ此ノ計畫ナルモノハ無期延期ノ形ニナルト云フヤウナ事ニナリハシナイカト云フ事ヲ私ハ實ハ心配スルノデアリマシテ、其ノ點ニ付テノ御見込ヲモウ少シハツキリシテ置キタイト思ヒマス

○牛塚委員代理來島東京府技師 私ノ考ト致シマシテハ、サウ云フ事ノ無イヤウニ努力シテ行キタイト云フ事ダケ申上ゲテ置キマス

○三邊委員 私モ今牧君カラ言ハレタ事ト、結論ガ似テ居ルノデ、露骨ニ言ヒマスルト、果シテ之ヲ東京府デ調べテ、此ノ問題ヲ實際進メテ行クト云フ熱ヲ持ツテ居ルノデアラウカドウデアラウカ、

法律ノ手續ハドウデアラウト、實際仕事ヲ進メテ行クノハ恐ラク東京府ダラウト私ハ想像スルノデアリマスガ、東京府デソレヲヤルカ組合デヤルカ、財政關係ハドウナルカ、國ノ補助ヲ貰ヘルカドウカ、熱ヲ持ツテ居ルカドウカト云フ事ヲ聽キタカツタノデアリマス、前回ノ會議ニ於テ、新任ノ知事デアリマスカラ、彼是レ言フノデハナイガ、自分ノ方デハ今ノ所サウ云フ考ハ無イト云フヤウナコトデ實際ニ此ノ問題ヲ進メテ行ク原動力ト云フモノハ何處ニ在ルカト云フ事ハ、非常ニ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、ソレガハツキリシテ居ラナケレバ、言葉ガ過ギルカ知ラナイケレドモ、此ノ問題ヲ進メルニ付テ本當ノ熱ガアルノカドウカ、熱ト言フノハ惡イカ知ラヌガ、原動力ガ何處ニ在ルカ、之ヲ進メテ行ク所ノ主體ガナケレバナラヌ、此ノ計畫ヲ定メル以上ハ、計畫ニ止メルノミデナク、實行シナケレバナラヌ、其ノ實行ノ實際ノ責任ヲ負ウテ行ク者ハ誰デアルカ、又ソレニ基イテ進メテ行クト云フ熱ヲ持ツテ居ルカ、ソレガ實際何處カト云フ事ヲハツキリシテ置カナケレバ、言葉ハ過ギルカ知ラヌケレドモ、單ナル計畫ニ終ルヤウナコトニナリハシナイカ

○牛塚委員代理來島東京府技師 此ノ調査其ノモノモ府ノ方デ調査致シマシテ提案シテ戴クヤウニ御願ヒシタコトニナツテ居リマス、勿論府トシテハ、郡部ノ下水計畫ヲ促進セシムルコトニ、熱ヲ以テ努力シナケレバナラヌモノデアルト斯ウ考ヘテ居リマス

○三邊委員 其ノ責任ガ何處ニ在ルカ、前回聽イタ時ニハ、此ノ計畫ヲ定メルダケデ、アトハドウナ



ルカト云フ事ハハツキリシテ居ラヌヤウデ、ソレハ形式ヲ言フノデハナイ、組合デヤルカ府デヤルカト云フ形式ヲ言フノデハナイ、サウ云フ事ヲ實際骨折ツテ行カウト云フ考ヲ持ツテ居ラレルノハ何處デアルカ、府デアラウト思ヒマスガ……

○佐藤委員 段々御意見ヲ伺ツタノデアリマスガ、私モ最初カラ此ノ點ニ付テ懸念シテ居ツタ一人デアリマスガ、是ガ若シ此ノ通りニ決定サレルト云フコトニナツタ場合ニ、四十一箇町村ノ中單獨ニ一箇町村ガ財政上ノ餘裕ガ出來、下水道ヲ建設シヨウト云フ現實ノ問題ガ起ツタトシテ、其ノ町村ガ隣接町村ト組合ヲ造ルト云フコトニナレバ勿論差支ナイノデアリマスケレドモ、事情已ムヲ得ズ其ノ町村ノミガ特ニ先ンジテヤルト云フ場合ニ於テ、若シ此ノ計畫ガ無イトスレバ、其ノ町村ニ對シテ、財政上ノ點カラ考ヘテモ適當ナ計畫ガ出來ルノニ、此ノ計畫ガ決定致シタガ爲ニ非常ニ困難ニナル、其ノ制肘ヲ受ケルト申シマスカ、何ト申シマスカ、其ノ計畫ノ範圍内ニ於テ單獨ニ其ノ町村ノミガヤルニ付テ非常ニ故障ガ起ルト云フヤウナ場合ガアリ得ルヤウニ考ヘルノデアリマス、サウシタ事ヲ考ヘマスルト、此ノ計畫ヲ定メタ爲ニ、寧ロ非常ニ不都合ガ起ツテ來ルト云フヤウナ事モ考ヘラレルノデアリマス、苟モ是ダケノ大計畫ヲ樹テル以上ハ、町村組合ヲ以テヤラシムルカ、東京府自身ガ確信ヲ持ツテオヤリニナルト云フ決心ガ無ケレバ、此ノ根本計畫ハ樹タヌノデハナイカトモ考ヘルノデアリマスガ、單獨ニ或ル町村ガ此ノ計畫ヲ樹テタ場合ニ於テ、斯ノ如ク決定シタトシタナラバ何等ノ支障ヲ來サヌカドウカト云フ事ヲ東京府ノ方ニ御伺ヒシタイ

○牛塚委員代理來島東京府技師 此ノ計畫ガアルガ爲ニ却テ各町村ガヤルノニ難カシクナリハシナイカト云フ御意見ノヤウデアリマスガ……

○佐藤委員 四十一箇町村ノ中、例ヘバ四系統ノ中ニ適當ノ組合ガ出來レバ、大體此ノ計畫ノ通り出來マスガ、其ノ中ノ何處カ單獨ノ一箇町村ガ之ヲヤル、斯ウシタ場合ニハ、一箇町村ノミノ立場カラ考ヘテ、捉ハレザル計畫ヲ進メテ行クコトガ出來レバ、此ノ下水管ノ布設系統ナリ排水徑路ナリガ、町村本位ニ而モ經費ヲ安クヤルコトガ出來ルガ、此ノ計畫ガ定マレバソレガ出來ナクナル

○牛塚委員代理來島東京府技師 ソレハサウ云フ事ハ無イノデアリマス、兎ニ角各町村ノ下水系統ヲ、現在此ノ幹線ガ出來テ居リマセヌカラ利用スル譯ニハ參リマセヌケレドモ、將來ハカウ云フモノガ出來テ纏メラルベキモノデアルト云フ事ヲ頭ニ置イテ、サウシテ計畫ヲ進メテ、其ノ町ハ其ノ町デ、當分ノ間ハ何レニカ排除シテ、サウシテ實行シテ行クコトガ出來ルノデアリマス、唯將來何處ヘ幹線ガドウ云フ風ニ出來ルカト云フ事ガ定マツテ居ラナイト、各町村ノ設計ガ出來惡イノデアリマス、ソレデ是レアルガ爲ニ却テ實行ヲ進メテ行クコトガ出來ナイデヤナイカト云フコトデアリマスガ、サウ云フ事ハナイノデアリマシテ、是ガアルカラ却テ各町村ノ設計ヲ進メル上ニ於テ、其ノ爲ニ方針ガ定マツテ來ルト云フコトニ考ヘテ居リマス



○佐藤委員 今ノ御答辯デアリマスルガ、ドウモ私ニハ分リ兼ネルノデアリマス、定マツタナラバ其ノ方針ニ向テヤルデアラウカラ出來ルト考ヘルト云フヤウナ御答辯ノヤウニ拜聽シマシタガ、併シ今ハ之ヲ定メルカ定メナイカト云フ事ヲ決定スル以前ノ問題デアリマス、若シ斯ノ如ク決定シタ場合ニ於テ、各町村ガソレニ依ツテヤルダラウト云フ結論ハドウシテモ出テ來ナイ、或ル特殊ノ町村ガ單獨ニヤルトシタナラバ、此ノ計畫ニ全然捉ハレナイガ便利デアルト思ヒマス

○牛塚委員代理來島東京府技師 ソレハ將來集メテ處分スルト云フヤウナ事ヲ考ヘナケレバ、自身デ流シ放シニスルト云フコトハ宜イカモ知レマセヌガ、何レニシテモ各郊外ノ下水ガ相當ニ汚クナルト云フヤウナ時期ニハ、ドウシテモ之ヲ集メテ一箇所デ處分スル時期ガ來ルト思フ、其ノ場合ニ各自勝手放題ニヤツタナラバ、ソレヲ幹線ニ集メルコトハ出來ナイコトニナリマスカラ、今日カラ、何處ニドウ云フ風ニ集メルノデアルト云フ事ヲ定メテ置イテ、サウシテ各個々ノ町村ノ下水計畫ト云フコトハ、此ノ郊外全體ヲ考ヘルト云フコトガ最モ必要デナイカト思フノデアリマス

○佐藤委員 只今ノ御答辯ハマア理想ト言ヒマスカ、希望ト言ヒマスカ、サウ云フ事ヲ述ベラレテ居ルノデアリマスガ、私ハ現實ニ此ノ下水ヲヤルト云フ、此ノ現實ノ場合ヲ申上ゲルノデアリマス、現實ニ來年度ナラ來年度、本年度ナラ本年度ノ中ニ、或ル一町村ガ計畫ヲ樹テ、執行スルト云フ場合ニ、他ノ連絡町村ガ、少ナクトモ二年後三年後、或ハ五年後トカニ於テ、矢張同ジ方針ノ下ニ之

ヲ執行スルノデアルト云フ確認ガ附クト云フヤウナ状態デアラバソレデモ宜カラウト思ヒマスガ、極端ナル場合ヲ言ヘバ、他ノ町村ニ於テハ將來ニ於テ計畫スル見込ハ無イ、斯ウ云フヤウナ場合ニ於テ、或ル特殊ノ町村ガ其ノ計畫ヲ進メル上ニ於テ、斯ノ如ク大體ノ計畫ガ樹ツテ居ルト云フ事ガ、大體ノ計畫ガ樹ツテ居ラヌ場合ヨリモ、不都合ヲ來スコトガアリ得ルト云フコトガ言ヘルト思フ、理想トカ希望トカ云フコトデナク、現實ニサウシタ事ノ生ジタ場合、不便ヲ來サヌト云フヤウナコトニナツテ居ルカドウカ、自分ノ考トシテハ、ドウモ全然捉ハレナイ立場ニ於テ計畫シタ方ガ宜イヤウニ思フ、此ノ計畫ハ、先程モ御尋ノアツタ通りニ、熱ヲ以テ東京府ガ近キ將來ニ於テ之ヲ執行セシムルト云フコトデナケレバ、此ノ計畫ト云フモノハ全ク何ニモナラヌ計畫ニナリハシナイカト云フ事ヲ慮レルガ爲ニ、出來ルコトナラバ一町村デモヤラセル、若シ熱ヲ以テオヤリニナルコトガ出來ナイナラバ、進ンデ一町村カラデモヤラシタラ宜イト云フヤウナ見地カラ今ノヤウナ御質問ヲ申シタノデアリマス

○中川長官 佐藤委員ノ御話ニ付テ私ノ愚見ダケヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、佐藤委員ノ御心配ニナル點ハ、斯ウ云フ系統的ノ計畫ガ出來テ居ルト、個々ノ場合ニ却テ制肘ヲ加ヘルコトニナリハシナイカト云フヤウナ御趣旨ノヤウデアリマス、制肘ヲ加ヘル爲ニ、其ノ個々ノ問題ノ實現ヲ妨ゲルコトニナリハシナイカト云フ御心配デアリマス、併シ都市計畫ニ於テ之ヲ問題ニシテ居ルト云フ



ノハ即チ其ノ點ニアリマスノデ、道路ノ如キデモ、自分ノ都合ダケ道路ヲ造ルト他トノ連絡ガ土來マセヌ、都市計畫ト云フモノニ依ツテ、計畫區域内ハ、其ノ町村ダケヲ本位デナク、全體ヲ本位トシテ考ヘナケレバナラヌ、下水ノ如キモ勝手ニ處分サレルト、ソレデハ下水ノ本當ノ目的ヲ達シ兼ネルコトニナリマスカラ、ソレデ矢張都市計畫トシテ之ヲ取扱ツテ、全體ノ系統的設計ヲ立テ、置キマセヌケレバ、之ヲ適當ニ解決スルコトハ出來ヌノデアリマス、ソレデ個々ニ問額ヲ解決シタイト思ヒマシテモ、下水ノ如キハ自分ノ計畫ダケデハ計畫ノ出來ル問題デアリマセヌカラ、矢張主務大臣ノ認可ヲ受ケテヤラナケレバナリマセヌカラ、將來ノ全體ノ計畫ヲ見テ主務大臣ハ之ヲ認可シナケレバナラヌ、サウ云フ場合ニ此ノ計畫ガ定マツテ居ルト云フ事ハ極メテ大切ナ事デアリマス、是迄ニ既ニ認メタモノモ、略々斯ウ云フ計畫ヲ頭ニ置イテ認可サレテ居ルノデアリマス、勿論御承知ニナツテ居ル事デアリマスルガ、經驗ダケヲ申上ゲマス

○堀切委員 段々ト御意見御質問ヲ承リマシタガ、三邊委員ノ御心配ハ、此ノ下水ノ計畫ニ付テ是迄東京府ガ約十年モ前カラ色々ト調査ヲ進メラレテ居ツテ、此ノ成案ヲ得ラレタ今日ニ於テハ、東京府ノ方ニ所謂熱ノアルモノト認メテ進ンデ差支ナイノデアアリマセヌカ、工費ガ六千數百萬圓モ掛ルノデアリマスカラ、東京府ノ現在ノ状態ニ於テ直チニ之ヲ執行スルナド、云フコトハ一寸豫想ガ難カシイト思ヒマスガ、或ルモノニ付テハ町村組合ヲ造ラセルコトヲ熱ヲ持ツテ勸メラレル、モノニ依

ツテハ府ノ今後ノ狀勢ニ依ツテ、或ハ場合ニ依ツテハ直接ニ計畫サレル時期ガ到來スルカモ知レマセヌガ、熱ガ有ルカ無イカト云フ點ニ付テハ東京府ニ其ノ熱アリトシテ認定シテ進ンデ行ツテ一向差支ナイノデアナイカト思ヒマス、ソレカラ佐藤委員ノ色々御心配ニナル事ニ付キマシテハ、是モ一應御尤モノ事ニハ思ヒマスガ、長官カラ御説明ニナリマシタ事ニ私モ全然賛成デ、各町村々々テ獨自ノ立場デヤツテ行キマスルト、數年後ニハ動キノ附カナイヤウナ狀況ニナルコトハ極メテ明瞭デアリマスカラ、計畫ヲ定メラレテ居ル、ソレニ基イテ設計ヲヤツテソレヲ執行シテ行クト云フコトハ、是ハ技術上ノ問題ニ付テハサウ難カシイ事デアナイ、簡單ニヤレルモノノヤウニ考ヘマス、是非此ノ案ハ成立タセタイモノト思ツテ居リマス

○中川長官 先刻三邊委員ノ御質問ニ對シテ私カラ御答ヘシタ行掛リモアリマスシ、只今堀切委員ノ御話モアリマシタガ、其ノ問題ヲ解決致シマスニ、此處ニ東京府知事カラノ書面ガ出テ居リマス、ソレヲ一寸御參考ニ朗讀致シマス

已都發第四六號

昭和四年十一月二十二日

東京府知事

牛塚 虎 太郎



近郊町村ノ下水計畫ヲ都市計畫トシテ決定ノ件

大正十五年三月十八日昭和三年十月二十九日寅土第二五一號及昭和四年十月十日已都發第四六號ヲ以テ標記下水道計畫ヲ都市計畫トシテ至急御決定方及上申置候處右ハ事業ノ實施ニ際リ專ラ當該町村ヲシテ擔當セシムル見込ナルモ該事業中幹線及處分場ハ數箇町村ニ關係ヲ有スルモノナルニ依リ當該町村單獨ニ實施セシムルハ困難ト認ムルヲ以テ關係町村ノ組合ニ於テ施行セシムルカ若ハ當府ニ於テ施行ノ見込ニ有之候條右御含ノ上御決定相成度此段申進候也

斯ウ云フヤウニ立派ナ書面モ出テ居リマスカラ御安心ヲ願ヒマス

○三邊委員 成程町村ガヤルノニハ此ノ計畫ニ據ラセル、ソレガ惡イト云フノデハナイガ、此ノ計畫ガ相當年月ノ後ニ、唯計畫ガ出來タダケテ棄テラレルノデハナイカト云フ事ヲ心配スルノデアリマス、實際其ノ熱ヲ持ツテ進メラル、ノデアルカ、私共此ノ計畫ヲ議決スル上ニ付テ多少ノ參考ニナルト思ツテ御尋ネシタノデアリマス

○堀切委員 マダ御心配ノヤウデスガ、必ズシモ組合デヤラナケレバナラヌトカ、或ハ今ノ書面ノ府ノ方デ直接オヤリニナラナケレバナラヌト云フヤウナ仕事ノ範圍ハ、此ノ全部デハナクテ、此ノ中

ノ一部分ノ問題デナイカト思ヒマス、大體町村ノ區域内ノ仕事ハ其ノ町村デヤツテ、他ノ方ト關係ヲ持ツ幹線ト汚水處分場ダケノ問題デアラウト思ヒマス、サウスレバ自ラ此問題ノ解決モサウ難カシイモノデナクナル、サウシテ段々トヤラレテ行ク間ニ、氣運モ動イテ、自然サウ云フヤウニヤラレルコトニナルト思ヒマス、大都會並大都會同様ナ町村ニ於テモ、下水ノ仕事ハ非常ニ大切デ、一日モ速ニヤラナケレバナラヌト云フヤウナコトニナツテ居ルノデスカラ、サウ面倒ニナリ又執行ガ難カシクナルト云フコトハナク、段々進ンデ行ク時世ガ間モナク來ルモノダラウト思ヒマス

○藤田委員長 マダ御質問ガゴザイマスカ

○堀切委員 一寸技術上ノ事ニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、例ヘバ石神井流域、妙正寺幹線ト云フノハ、非常ニウネツテ居リマス、眞ツ直ニズツトヤツテ行クヤウナ工合ニハ參リマセヌカ

○近藤技師 御説明申上ゲマス、現在ノ谷ノ地形ガ非常ニ曲リクネツテ居リマシテ、元ハ此ノ案ニ見エテ居リマスヨリモモウ少シ地形ニ沿ツテ曲リクネツタ設計ガ一遍出來上ツタ位デアリマシテ、是デ以テ相當地形ニ逆ラツテ、マア成ルベク眞ツ直ニ眞ツ直ニヤル方針ヲ立テ、ヤリマシテ、努力シテ是ダケニナツタノデアリマス

○堀切委員 其ノ他ノ線モ非常ニ曲ツテ居ル所ガ多イノデ、非常ニ不經濟デアリ不便デナイカト思ヒマスガ、其ノ關係ハ矢張地形ノ關係デアリマスカ



○近藤技師 左様デアリマス、假ニ、無理ニヨリ直線ニスルコトニナリマスルト、管ヲ埋設シマス際ニ非常ニ深い土工ヲシナケレバナラヌ、或ハ全然隧道ニ依ツテ長イ距離ヲ貫カナケレバナラヌヤウニナリマシテ、大變工費ヲ増スコトニナリマスカラ、結局此ノ方ガ一番經濟デアルト云フノデ、斯ウ云フ設計ヲ致シタノデアリマス

○堀切委員 尙ホ此ノ妙正寺幹線ノ所ハ、黄色ノ區域ハ一ツノ排水區ニナルノデアリマスカ、此ノ地ニナリマスルト、矢ノ方向ガ二ツニナツテ行クカノヤウニ見エマスガ、ドウ云フ設計ニナリマスカ  
○土岐計畫課長 (圖面ニ就キ説明) コチラハ斯ウ云フ風ニ行キマス、コチラノ水ハ斯ウ流レマス、戸塚町ノ一部ハ石神井系統ニナル、尙ホ地形ノ關係デ戸塚町ノ一部ハ、コチラカラモ參リマスシ、コチラカラモ參リマシテ、此處デ東京市ノ唧筒場デ水ヲ揚ゲマシテ、コチラノ石神井川ニ流スノデアリマス

○堀切委員 解リマシターソレカラ其ノ下水ヲ皆江北處分場ヘ持つテ行ク、雨水ナンカモ持つテ行クノデアリマスカ

○土岐計畫課長 雨水モ矢張此ノ系統ニ流スノデアリマスケレドモ、雨水ハ或ハ石神井川ナリ途中ノ川ニ皆放流シマシテ、下ニ残ツタ汚水ダケヲ結局汚水處分場ニ持つテ行ク、所々ニ雨水吐ヲ拵ヘマシテ、汚水ハ結局處分場ニ持つテ行キマス

○牛塚委員 段々執行上ニ付テノ御意見ガ出タサウデアリマスガ、私遅刻致シマシタノデ十分ニ拜聽スルコトハ出来マセヌデシタガ、此ノ場合一寸申上ゲテ置キタイト思ヒマス、甚ダ不詮索デ、且ツ素人デアリマスカラ見當違ヒガアルカ知レマセヌガ、私共考ヘテ居ル所ニ依レバ——段々御質問等ノアリマシタノハ御尤モデアリマス、殊ニコノ間私ガ答ヘタ所カラ却テ御疑念ガ深クナツタノデハナイカト思ヒマスガ、私共ハ、計畫ハ執行ヲ急ゲバ急ゲ程成ベク早く定メナケレバナラヌ、計畫ガ定マツテ然ル後ニ更ニ執行ニ移ルノデアリマス、コノ間私ガ申上ゲマシタノハ、町村組合デヤルカ府デヤルカ定マツテ居ラヌ實狀デ、今之ヲ町村組合ニヤラセナイデ府デヤルコトヲ定メタコトハナイト云フ事ヲ申上ゲタノデアリマシタガ、大正十五年ノ上申以來、府デ申上ゲタコトハ、是ハ各町村デヤツテ貫ヒタイ、ソレガイカヌ時ニハ府デ之ヲ一遍ニ纏メテヤリタイ、斯ウ云フ事ヲ申上ゲテアルノデアリマス、文書其ノ他カラ見マスルト、歴代ノ當局ハ、成ベク是ハ關係町村ニ向ツテヤラセテ、ソレデイケナイ時ニハ府デヤル、イケナイ時ニハ府デヤラウト云フ事ハ、即チ府ガ非常ニ此ノ事業ノ執行ノ緒ニ就クコトヲ熱望シテ居ル矢張證據デアルト思ヒマス、ソレデ先ヅ此ノ計畫ガ定マツテ居ラナケレバ、急グ事情ノ下ニ一町村單獨ニヤル場合デモ、其ノ全體ノ計畫ニ基イテ事業ヲ進行シナケレバ其ノ間ニ無駄ガアル、サウ云フ風ニシテ計畫ノ全部ヲヤラウト云フコトデアリマスノデ、サウ云フ意味合ノ事ハ先達テ復興局長官ノ説明ノ中ニモアツタヤウニ思フノデアリマス、此



處デ審議ヲ爲サル上ニ於テモ、單ナル計畫ニ終ラズシテ、此ノ計畫ガ一日モ速ニ計畫ヲ實現スルヤ  
 ウニト云フ希望ヲ御添ヘニナルト云フコトハ是ハ御尤モト思ヒマスガ、大正十五年以來ノ行掛リガ  
 アルノデアリマシテ、今日ソレヲドチラデアルカ分ラヌノデアリマスカラ、計畫ノ審議モ其ノ積リ  
 デ御願ヒシタイ、斯様ニ思ツテ居リマス

○藤田委員長　モウ大抵御質問モ無イヤウデスカラ私一ツ御尋ネシテ置キタイノデスガ、先刻ノ御説  
 明ニハ、幹線ヲ早ク定メナイト、現ニ既ニ各町村ニ於テソレト自分ダケノ設計デ排水ノ方法ヲ盡  
 シテ居ルト云フ御話ガアリマシタガ、ソレハホンニ當座ノモノデアルカ、大體此ノ計畫ノ幹線ニ對  
 シテ略々副フヤウナ形ノ意味合ニ於テ、各町村ガ組合カ何カデ排水ノ方法ヲ盡シテ居ルノデハナイ  
 カ、又ソレヲ願出テ居ルノデアリマスガ、願ハズニヤツテ居ルノデアリマスガ、其ノ排水ノ手段、  
 程度ト云フモノハ、大體之ニ副フヤウナ工合ニ、相當ノ金ヲ投ジテヤツテ居ル所ガアルノデアリマ  
 スガ、佐藤委員ノ御尋ノ事モ御尤モナ所ガアルト思ヒマスガ、若シ今度答申案ガ定マリマシテ、内  
 務大臣カラ御定メニナルヤウナ場合ニ於テ、之ヲ東京府ナリ其ノ他關係ノ所デ、イツ行フカ分ラヌ  
 ト云フコトデアリマシテ、サウシテ此ノ計畫ノモノニ多少違ツテ、經費ヲ安クシテ排水ノ方法ヲ執  
 リタイト云フヤウナ場合ガ起リマシタ時ニ、ソレ等ハ矢張認可ヲ與ヘズニ置ク、詰リ都市計畫ト云  
 フモノ、長官ノ御説明ノアツタ通りノ御方針カラシテ、區々ニナラヌヤウニサセル、此ノ計畫ニ

適ハヌ以上ハ許サスト云フノデアリマスガ

○土岐計畫課長　只今ノ御尋デアリマスガ、實ハ現在下水計畫ヲ樹テタ町村モ大分アルノデアリマス  
 ガ、ソレハ實際皆東京府デ大體指導シマシテ、サウシテ出來タモノデアリマス、隨ツテ各町村ノ計  
 畫ハ、東京府デ調査致シマシタ此ノ計畫ニ總テ合致シテ居ルヤウナ事情ニナツテ居リマス、尙ホ、  
 ドウ云フヤウナ風ニシテ處分スルカト云フ點ニ付キマシテハ、大體此ノ幹線ニ放流スルト云フ實ハ  
 條件附ヲ以テ各町村ニ認可シテ居ルヤウナ譯デアリマス、各町村別ニ早ク出來マシテモ、汚水處分  
 場ガ出來ナイ限り、汚水其ノモノニ付テハ處分ガ出來ナイノデ、下水ガ留マラナイ程度ニ唯流レル、  
 暫クノ間處分シナイデ流レル、斯ウ云フヤウナ計畫ニナツテ居リマス、汚水處分場ガ出來マシテ始  
 メテ其ノ各町村ニ於テ出來タ下水道計畫ノ汚水處分モ、完全ニソレニ依ツテ出來ル、ソレ迄ハ汚水  
 處分ハ完全ニ出來ナイデ、現在ノ川ニ一時假ニ放流シマシテ、處分シナイデ其ノ儘流レル、不究全  
 ノ状態ニ於テ下水計畫ガ出來テ居ル、斯ウ云フヤウナ關係ニナルノデアリマス

○藤田委員長　如何デセウカ、モウ御質問ハゴザイマヌカ——ソレデハ是カラ續キマシテ討論ニ移リ  
 タイト思ヒマス

○堀切委員　此ノ案ハ東京都市計畫ノ、大都市計畫ト致シマシテ、極メテ適切ナ、又非常ニ良イ計畫  
 デ、一日モ速ク此ノ根本計畫ヲ定メテ置クコトハ、非常ニ必要ダト思ヒマス、原案ニ賛成致シマス、



原案ノ通り可決ニナリマスヤウニ希望致シマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○藤田委員長 決ヲ採ル前ニ一寸伺ツテ置キマスガ、希望カ何カ御附ケニデモナリマスカ、東京府知事ニ於テモ何ダカ御明答ノ無イ所ガアリマスシ、尤モ財政ノ關係モアルコトデアリマスカラ、直グ爲サラウト云フ譯ニモ參リマスマイケレドモ、或ル程度ノ希望決議カ何カヲ御附ケニナツテ置イタラ執行者モ餘程御樂デアラウト思ヒマスガ、堀切委員ニ何カ御序ニ……

○堀切委員 委員長ノ仰セデアリマスガ、如何デアリマセウカ、早クヤルヤウニト云フヤウナ希望ヲ附ケテ置クコトハ、財政上ノ影響ヲ持ツコトデアリマシテ、此ノ計畫ニ依リマシテモナカノ、大キナ金額デ、約六千萬圓ノ金額デアリマスカラ、今ソコマデ斯ノ委員會トシテ進ンデ置クト云フコトハドウ云フモノダラウカト云フ疑問ヲ持チマスガ……

○三邊委員 附ケマス方ガドウデスカ……

○藤田委員長 ソレデハ一寸其ノ點ニ付テ御懇談ヲ願ヒタイト思ヒマス  
(速記中止)

○藤田委員長 ソレデハ、只今原案ニ御賛成ガアリマシタガ、ソレデ御異存ハゴザイマセヌカ——ソレデハ全會一致デ本案ハ原案ノ通り可決サレマシタ——是デ散會致シマス

午前十一時四十分散會

参 考

東京都市計畫郊外下水道各排水系統別事業費内譯表

| 種 別      | 砂 町 系 統   | 三 河 島 系 統 | 石 神 井 系 統  | 羽 田 系 統    | 計          |
|----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| 管渠布設費    | 二、三四〇、五〇八 | 七三〇、九八三   | 四、三六一、三一   | 九、三一五、八四五  | 一六、七四八、六四七 |
| 唧筒場設置費   | 七二、〇〇〇    | —         | 三四六、三〇〇    | 三一四、五〇〇    | 七三二、八〇〇    |
| 汚水處分場設置費 | 五、四六〇、〇〇〇 | 一、八〇〇、〇〇〇 | 一二、〇五〇、〇〇〇 | 一六、五六〇、〇〇〇 | 三五、八七〇、〇〇〇 |
| 計        | 七、八七二、五〇八 | 二、五三〇、九八三 | 一六、七三七、六一  | 二六、一九〇、三四五 | 五三、三五一、四四七 |
| 器具機械費    | 一九五、〇〇〇   | 六三、〇〇〇    | 四〇九、五〇〇    | 六三〇、五〇〇    | 一、三〇〇、〇〇〇  |
| 測量費      | 三〇、〇〇〇    | 一〇、〇〇〇    | 六三、〇〇〇     | 九七、〇〇〇     | 二〇〇、〇〇〇    |
| 検査費      | 一九、五〇〇    | 六、五〇〇     | 四〇、九五〇     | 六三、〇五〇     | 一三〇、〇〇〇    |
| 通信費      | 一、二〇〇〇    | 四、〇〇〇     | 二五、二〇〇     | 三八、八〇〇     | 八〇、〇〇〇     |
| 建築費      | 四五、〇〇〇    | 一五、〇〇〇    | 九四、五〇〇     | 一四五、五〇〇    | 三〇〇、〇〇〇    |
| 雜務費      | 二一、〇〇〇    | 七、〇〇〇     | 四三、〇〇〇     | 六七、五五三     | 一三八、五五三    |
| 事務費      | 六七〇、〇〇〇   | 二二〇、〇〇〇   | 一、四〇〇、〇〇〇  | 二、二一〇、〇〇〇  | 四、五〇〇、〇〇〇  |
| 豫備費      | 一五〇、〇〇〇   | 五〇、〇〇〇    | 三一五、〇〇〇    | 四八五、〇〇〇    | 一、〇〇〇、〇〇〇  |



|     |           |           |            |            |            |
|-----|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| 合 計 | 一、一四二、五〇〇 | 三、七七七、五〇〇 | 二、三九一、一五〇  | 三、七三七、四〇三  | 七、六四八、五五三  |
| 計   | 九、〇一五、〇〇八 | 二、九〇八、四八三 | 一九、一四八、七六一 | 二九、九二七、七四八 | 六一、〇〇〇、〇〇〇 |

東京都市計畫郊外下水道事業費內譯表

下水道幹線延長 一一一、三二〇<sup>米</sup>  
 唧筒場(四箇所) 一、二二五<sup>坪</sup>  
 污水處分場(四箇所) 一六〇、〇〇〇<sup>坪</sup>  
 事業費總額 一六、七四八、六四七<sup>円</sup>  
 事務費其ノ他 七三二、八〇〇

各排水系統別內譯  
 合 計 六、六四八、五五三  
 一、砂町系統 六一、〇〇〇、〇〇〇

下水道幹線延長 一三、六七〇<sup>米</sup>  
 大島唧筒場 一五〇<sup>坪</sup>  
 砂町污水處分場 四〇、〇〇〇<sup>坪</sup>  
 事務費其ノ他 二、三四〇、五〇八<sup>円</sup>  
 一、一四二、五〇〇

計

二、三河島系統

下水道幹線延長 七、一二〇<sup>米</sup>  
 三河島污水處分場 一〇、〇〇〇<sup>坪</sup>  
 事務費其ノ他 一、八〇〇、〇〇〇  
 計 二、九〇八、四八三

三、石神井系統

下水道幹線延長 三三二、五一〇<sup>米</sup>  
 落合唧筒場 四〇〇<sup>坪</sup>  
 江北污水處分場 五〇、〇〇〇<sup>坪</sup>  
 事務費其ノ他 四、三六一、三一<sup>円</sup>  
 計 一二、〇五〇、〇〇〇  
 二、三九一、一五〇  
 一九、一四八、七六一

四、羽田系統

下水道幹線延長 五八、〇二〇<sup>米</sup>  
 淀橋唧筒場 三七五<sup>坪</sup>  
 計 九、三一五、八四五<sup>円</sup>  
 一、五九、五〇〇



第二十六回總會

|          |                        |                         |
|----------|------------------------|-------------------------|
| 大森 唧筒場   | 三〇〇 <small>坪</small>   | 二三四                     |
| 羽田 汚水處分場 | 六〇、〇〇 <small>坪</small> | 一五五、〇〇 <small>坪</small> |
| 事務費其ノ他   |                        | 一六、五六〇、〇〇〇              |
| 計        |                        | 三、七三七、四〇三               |
|          |                        | 二九、九二七、七四八              |

|            |            |
|------------|------------|
| 一、三〇〇、〇〇〇  | 二、八〇八、四八三  |
| 二、五〇〇、〇〇〇  | 三、七三七、四〇三  |
| 三、七三七、四〇三  | 二九、九二七、七四八 |
| 四、〇〇〇、〇〇〇  |            |
| 五、〇〇〇、〇〇〇  |            |
| 六、〇〇〇、〇〇〇  |            |
| 七、〇〇〇、〇〇〇  |            |
| 八、〇〇〇、〇〇〇  |            |
| 九、〇〇〇、〇〇〇  |            |
| 一〇、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 一一、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 一二、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 一三、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 一四、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 一五、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 一六、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 一七、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 一八、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 一九、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 二〇、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 二一、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 二二、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 二三、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 二四、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 二五、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 二六、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 二七、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 二八、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 二九、〇〇〇、〇〇〇 |            |
| 三〇、〇〇〇、〇〇〇 |            |



特別都市計畫委員會第二十六回總會議事速記錄

昭和五年三月十七日(月曜日)內務省會議室ニ於テ開會

議事日程

- 第一 議第一二六號 東京都市計畫事業道路(環狀線、放射線)受益者負擔規程改正ニ關スル件  
(特別委員長報告)
- 第二 議第一二七號 東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔ニ關スル件  
(特別委員長報告)
- 第三 議第一二八號 東京都市計畫郊外下水道決定ノ件  
(特別委員長報告)

51  
10



- 第四 議第一三七號 內務大臣執行東京及橫濱都市計畫事業執行年割變更ノ件
- 第五 議第一三八號 東京都市計畫土地區劃整理事業執行年割變更ノ件
- 第六 議第一三九號 東京府知事執行東京都市計畫事業執行年割變更ノ件
- 第七 議第一四〇號 東京市長執行東京都市計畫事業執行年割變更ノ件
- 第八 議第一四一號 東京都市計畫東京市下水道中變更ノ件
- 第九 議第一四二號 東京都市計畫東京市下水道事業及其ノ執行年割變更ノ件
- 第十 議第一四三號 橫濱市長執行橫濱都市計畫事業執行年割變更ノ件

出席者名

會長

內務大臣 安達謙藏君

委員

- 一番 從三位勳二等男爵 斯波忠三郎君
- 二番 從四位勳四等 渡邊鐵藏君

- 三番 警視總監 丸山鶴吉君
- 四番 貴族院議員 永田秀次郎君
- 五番 內務書記官 鈴木敬一君
- 八番 宮內次官 關屋貞三郎君
- 九番 內務省土木局長 三邊長治君
- 一番 內務次官 潮惠之輔君
- 一三番 東京府知事 牛塚虎太郎君
- 一八番 遞信次官 今井田清徳君
- 二〇番 神奈川縣知事 山縣治郎君
- 二一番 貴族院議員 藤田四郎君
- 二三番 衆議院議員 中島守利君
- 二四番 陸軍次官 阿部信行君
- 二六番 貴族院議員 菅原通敬君
- 二八番 橫濱市土木局長 伊藤清君
- 二九番 內務政務次官 齋藤隆夫君



|     |         |        |
|-----|---------|--------|
| 三二番 | 貴族院議員   | 橋本圭三郎君 |
| 三四番 | 文部次官    | 中川健藏君  |
| 三七番 | 東京市會議員  | 新甫寬實君  |
| 三九番 | 衆議院議員   | 小俣政一君  |
| 四〇番 | 橫濱市會議員  | 赤尾彦作君  |
| 四五番 | 內務省地方局長 | 次田大三郎君 |
| 四六番 | 東京府會議員  | 大神田軍治君 |
| 四七番 | 正四位勳二等  | 今村明恒君  |
| 四八番 | 逓信省工務局長 | 稻田三之助君 |
| 四九番 | 正五位勳四等  | 三木武吉君  |
| 五一番 | 從五位     | 大橋新太郎君 |
| 五六番 | 東京市會議員  | 川村正夫君  |
| 五七番 | 橫濱市會議員  | 平沼亮三君  |
| 五九番 | 司法次官    | 小原直君   |
| 六〇番 | 東京府會議員  | 伊藤武七郎君 |

|     |         |        |
|-----|---------|--------|
| 六二番 | 正七位勳四等  | 矢野恒太君  |
| 六三番 | 正四位勳三等  | 佐野利器君  |
| 六四番 | 從四位勳三等  | 松木幹一郎君 |
| 六六番 | 農林次官    | 松村真一郎君 |
| 六七番 | 衆議院議員   | 太田信治郎君 |
| 六八番 | 營繕管財局理事 | 太田嘉太郎君 |
| 七〇番 | 正四位勳三等  | 牧彦七君   |
| 七二番 | 東京府會議員  | 佐藤久太郎君 |
| 七三番 | 東京府會議員  | 立石知滿君  |
| 七四番 | 東京府會議員  | 內田秀五郎君 |
| 七五番 | 東京市局長   | 近田新三郎君 |
| 七九番 | 神奈川縣會議員 | 山崎小三君  |
| 八〇番 | 正五位勳四等  | 前田多門君  |
| 八一番 | 復興局長官   | 中川望君   |

5  
10



幹事

復興局書記官 武部六藏君

復興局書記官 土岐銀次郎君

正六位勳六等 西村輝一君

復興局事務官 片野道藏君

職員

建築部長 笠原敏郎君

土木部長 大岡大三君

經理部長 吉村哲三君

報第一一號

委員、臨時委員異動報告

昭和五年一月二十一日 衆議院議員横山勝太郎君、同中島守利君、同矢野鉉吉君、同太田信治郎君ハ  
孰レモ議員資格消滅ニ付委員ノ資格消滅

昭和五年一月二十八日 横濱市會議員赤尾彦作君、同平沼亮三君、同吉澤光義君、同田邊徳五郎君ハ  
孰レモ市會議員任期滿了ニ付委員又ハ臨時委員ノ資格消滅

昭和五年二月二十二日 東京府會議員赤塚五郎君府會議員辭任ニ付委員ノ資格消滅

昭和五年三月十一日 内務參與官内ヶ崎作三郎君退官ニ付臨時委員ノ資格消滅

昭和五年三月十四日 衆議院議員横山勝太郎君、同中島守利君、同太田信治郎君、同小俣政一君、  
横濱市會議員赤尾彦作君、同平沼亮三君委員被仰付

議事

午後三時三十五分開議

○議長(會長安達謙藏君) 是ヨリ開會致シマス、議事日程ノ第一、議第一二六號東京都市計畫事業道路(環狀線、放射線)受益者負擔規程改正ノ件、之ヲ議題ニ供シマス、特別委員長ノ報告ヲ求メマス  
〔幹事〕朗讀

報告

本特別委員會ハ昭和五年一月十八日付託セラレタル議第一二六號議案東京都市計畫事業道路(環狀線



放射線受益者負擔規程改正ニ關スル件ニ付同年一月二十八日及三月三日ノ二回會議ヲ開キ慎重審議ノ結果左ノ通修正シ他ハ全部原案ヲ適當ト認メ候條此段及報告候也

昭和五年三月三日

特別委員長

菅原

通敬

特別都市計畫委員會會長 安達謙藏殿

修正事項

議第一二六號議案東京都市計畫事業道路(環狀線、放射線)受益者負擔規程改正ニ關スル件  
左ノ通修正ス

記

第八條第五號中「國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入シタルトキ」ヲ「國若ハ公共團體ノ所有地ニ編入シ又ハ無償ニテ供用シタルトキ」ニ改ム

○二十六番(菅原通敬君) 只今議題ニナリマシタ議第一二六號議案特別委員會審查ノ結果ニ付テ其ノ概要ヲ御報告申上ゲタイト思ヒマス、本特別委員會ハ本年一月十八日ノ本會議ニ於キマシテ付託セラレタル議第一二六號議案東京都市計畫事業道路受益者負擔規程ノ改正ニ關スル件ニ付テ審議致シマス爲ニ、一月二十八日ト三月三日ノ二回ニ會議ヲ開キマシテ、先ツ例ニ依リマシテ當局ノ説明ヲ聽

取致シマシタ上、審議ニ移リマシテ、委員ト當局トノ間ニ質問應答ヲ重ネ、或ハ其ノ間懇談的ニ隔意無キ意見ノ交換ヲ爲シマシテ慎重審議ヲ盡シマシテ、別紙報告書ノ通り一部ノ修正ヲ致シ、其ノ他ハ全部原案ヲ適當ト認メタノデアリマス、今其主ナル質問應答ノ要旨ト修正理由ノ概要ヲ申述ベヨウト思フノデアリマス、第一ニハ某委員ヨリ昨年八月制定ニ係ル東京市ノ受益者負擔規程ニハ、其ノ第八條ニ土地利用ノ狀況又ハ建物ノ階層ニ依リ負擔額ヲ増課スル規定ガアルガ、本案ニハ其ノ規定ガ無い、其ノ規定ヲ缺クノハ如何ナル理由デアルカト云フノデアリマス、之ニ對シマシテ當局ハ斯様ニ答辯サレタノデアリマス、本案ハ昭和二年八月ニ決定シタル郊外ノ新道路網ニ屬スル事業ニ依ル所ノ受益者負擔ノ規定ヲ設クルコトガ主眼トナツテ居ルノデ、唯環狀線、放射線ニ關スル現行規程トノ間ノ權衡ヲ保タシムルコトヲ目的トスル爲ニ、同一ノ省令ニ之ヲ統一スルヲ便宜ト認メテ全文改正ノ方法ヲ執ツタニ過ギナイノデアアルカラ、隨ツテ今新ニ東京市ノ如キ負擔金増課ノ規定ヲ設ケル時ニハ、環狀線、放射線道路ニ關シテ既ニ賦課シタルモノトノ間ニ却テ權衡ヲ失スルコトニナルノデアアル、加之、其ノ開發ノ狀況ハ、郡部ニ於テハ市部トハ其ノ趣ヲ異ニシテ居ルノデ、假令増課ノ規定ヲ設ケテモ其ノ收入ハ僅少ニ止マルノデアアル、尙又東京府ノ意見トシテハ、郡部ノ開發ヲ助長スル上ヨリ、其ノ階層ノ大キイ建築物ノ増加ヲ望ム點ヨリシテ、増課制度ヲ設ケナイ方ガ宜シイト云フコトデアアルノデ、其ノ趣旨ヲモ參酌シテ旁本規定ヲ設クルコトニシタノデアアルト云フ説



明デアツタノデアリマス、第二ハ又某委員ヨリ斯様ナ質問ガアリマシタ、負擔區劃ハ道路ノ幅員ノ七倍ヲ原則ト定メラレテ居ル、而シテ土地ノ狀況ニ依ツテ其ノ伸縮性ヲ認メテ、之ヲ十倍マデ擴張スルコトヲ得ル規定ニナツテ居ルガ、其ノ負擔區劃ヲ若シ擴張スルコトニナレバ、之ニ隨ツテ坪當リノ負擔金ハ却テ薄クナルノデアアル、然ルニ例ヘバ郊外道路ヲ設クル場合ノ如ク、都ノ中心カラ遠ク隔ツタ土地ヲ開發スル場合ニ於テハ、寧ロ受益者ノ負擔ヲ増加スルコトヲ適當トスルデハナイカスウ云フ問ガアツタノデアリマス、之ニ對シテ當局ハ斯様ニ答ヘラレテ居ルノデアリマス、負擔區劃ヲ擴張スルトキニハ坪當リ負擔金ハ低クナル結果デアルケレドモ、之ヲ全體的ニ見ルトキハ、受益程度ハ必ズシモ増加スルモノトハ認メ難イノデアアル、且ツ土地開發ノ狀況如何ニ依ツテ區々ノ取扱ヲ爲スト云フコトハ實際上困難ト認メラレルカラ、單ニ道路ノ新設ノ場合ト擴張ノ場合トニ依ツテ之ヲ區別スルコトニ止メタノデアルト云フ答辯ガアツタノデアリマス、ソレカラ第三ニハ又某委員ヨリ斯ウ云フ質問ガアツタノデアリマス、ソレハ負擔金減免ニ關スル第八條ノ規定中、其ノ第五號ニハ、「國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入シタルトキ」トアツテ、無償供用ノ場合ヲ認メナイノハドウ云フ理由デアアルカト云フノデアリマス、當局ハ之ニ對シマシテ新様ナ答辯ヲセラレタノデアリマス區劃整理又ハ耕地整理ノ場合ニ於テ、民有ノ儘ニ道路敷ニ使用スル場合モアルト云フコトハ、現行法規ノ上ニ於テ絶對ニ想像スルコトノ出來ナイ問題デハナイケレドモ、併ナガラ斯カル場合ハ極メ

テ稀ナル事デアアルカラ、ソレデ原案ノ通提案シタルモノデアアル、斯ウ云フ説明デアツタノデアリマス、以上ハ主ナル質問應答ノ要旨デアリマスガ、此ノ質問應答ガ終リマスト鈴木委員ヨリシテ、第八條第五號ニ關スル修正意見ノ提出ガアツタノデアリマス、其ノ修正意見ニ對シテ審議ノ結果、別紙報告ノ通り修正スルコトニナツタノデアリマスガ、其ノ修正ノ理由ノ大要ハ斯様デアリマス、區劃整理又ハ耕地整理ノ場合ニ於テハ假換地ヲ交付スル場合ガアル、其ノ如ク事實上整理ヲ終了シタルモノト認メ得ベキ場合ニ於テハ、換地處分ヲ爲ス手續デアツテモ負擔金ヲ減免シ得ル事トスル方が適當デアラウ、又極メテ稀ナル事例デモアラウガ、民有ノ儘ニ道路ヲ改修スルト云フ場合モ亦アルコトデアアルカラ、旁々是等ノ場合ニ處スル爲ニ無償供用ノ場合ト云フモノヲ認ムルコト、シテ、斯様ニ修正スルコトガ適當デアラウ、斯ウ云フ理由デアリマス、此ノ段御報告致シマス

○六十七番(太田信治郎君) 委員長ノ報告通り速ニ可決確定アランコトヲ希望致シマス

○議長(會長安達謙藏君) 御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(會長安達謙藏君) ソレデハ特別委員長ノ報告ノ通ニ可決確定致シマス——議事日程第二、議第一二七號東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔ニ關スル件、特別委員長ノ報告ガアリマス

〔幹事朗讀〕



本特別委員會ハ昭和五年一月十八日付託セラレタル議第一二七號議案東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔ニ關スル件ニ付同年三月三日及同月十二日ノ二回會議ヲ開キ尙同月七日實地調査ヲ爲シ慎重審議ノ結果全部原案ヲ適當ト認メ候條此段及報告候也

昭和五年三月十二日

特別委員長 菅 原 通 敬

特別都市計畫委員會會長 安達謙藏殿

○二十六番(菅原通敬君) 議第一二七號議案ノ審査經過ノ概要ヲ御報告申シマス、本特別委員會ハ本年一月十八日ノ本會議ニ於テ付託セラレマシタ只今議題トナツテ居ル議案ニ付テ審議致シマスル爲ニ、三月三日第一回ノ會議ヲ開キ、先ヅ當局ノ説明ヲ聽取リマシテ審議ニ移ツタノデアリマスガ、委員ト當局トノ間ニ質問應答ヲ重ネマシタ結果、審議上實地調査ノ必要ヲ認メマシテ、三月七日ニ其ノ實地調査ヲ致シタノデアリマス、其ノ結果ニ基キマシテ三月十二日第二回ノ會議ヲ開イテ更ニ慎重審議ヲ凝シマシテ、原案ヲ適當ト認メテ決議致シタノデノリマス、其ノ間主ナル質問應答ノ一、二ヲ御報告申上ゲマスレバ斯様デアリマス、澁谷川ハ古川ノ上流ニ當ツテ居ルノデ、其ノ受益者負擔規程ハ古川ノソレト權衡ヲ保タシメタキ趣意ニ於テ、護岸負擔百分ノ十二・五トアルノヲ百分ノ十

四ニ、一般負擔ノ百分ノ十二・五トアルノヲ百分ノ十一ニ修正スルコトガ適當デハナイカ、斯様ナ質問デアツタノデアリマス、之ニ對シテ當局ハ斯様ニ答ヘラレタノデアリマス、古川ノ方ノ護岸ハ其ノ工事ノ竣功後ハ其ノ所有權ヲ沿岸土地ノ所有者ニ附與スルコトニナツテ居ルガ、澁谷川ハ之ヲ民有ニ附與スルコトニハナツテ居ラヌ、其ノ他彼レ此レ事情ヲ異ニスルノデアルカラ原案ノ通スルコトガ適當ト認メタノデアアル、斯様ナ答辯デアリマス、次ニ又護岸負擔ノ區域ハ澁谷川及古川ノ兩川ニ於テ河川ノ境界線ヨリ奥行六間デアリマスガ、此ノ區劃ヲ定メル主ナル根據トナルノハ護岸ニ對スル土壓等ノ關係ニアルノデアアルカラ、而シテ又澁谷川ノ護岸ハ古川ノ護岸ニ比シテ低イノデアアルカラ澁谷川ニ於ケル護岸ノ負擔區劃ハ古川ニ比ベテ之ヲ狹バメ、奥行五間ノ區域トスルコトガ適當デハナイカ斯様ナ問デアツタノデアリマス、之ニ對シテ當局ハ兩川ノ護岸ノ高サハ多少高低ハアルケレドモ、負擔區劃ノ廣サハ寧ロ古川ノ先例ニ隨ツテ奥行六間トスルコトガ至當デアアル、斯様ニ認メテ立案シタモノデアアルト云フ答辯デアツタノデアリマス、是ダケヲ御報告申上ゲテ置キマス

「委員長ノ報告通リ異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(會長安達謙藏君) 御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(會長安達謙藏君) ソレデハ委員長ノ報告ノ通ニ決定致シマス——日程第三、議第一二八號東



## 京都市計畫郊外下水道決定ノ件、特別委員長ノ報告

〔幹事朗讀〕

## 報 告

本特別委員會ハ昭和五年一月十八日付託セラレタル議第二百二十八號議案京都市計畫郊外下水道決定ノ件ニ付同年一月三十日及二月七日ノ二回會議ヲ開キ慎重審議ノ結果全部原案ヲ適當ト認メ候條此段及報告候也

昭和五年三月十二日

特別委員長 藤 田 四 郎

特別都市計畫委員會會長 安達謙藏殿

○二十一番(藤田四郎君) 只今議題トナリマシタル、京都市計畫郊外下水道決定ノ件ニ付キマシテハ本年一月三十日二月七日ノ二回會議ヲ開キマシテ、當局ノ說明ヲ求メマシタ上審議ニ移リ、委員ト當局ノ間ニ種々質問應答ヲ重ネマシタガ、其ノ中主トシテ江北污水處分場ノ位置及本計畫ノ事業執行者ニ付キマシテ質問ガアリマシタガ、此ノ事ニ付テハ茲ニ御報告スルヲ便宜ト致シマス、其ノ第一ハ或ル委員ヨリ、江北處分場ニ至ル管線ハ舊荒川ノ河底ニ伏越工事ヲ要スルモノデアルガ、該工事ハ相當困難ニシテ多額ノ經費ヲ要スルモノト思ハレルカラ、東京市ノ三河島污水處分場ノ附近

カ又ハ舊荒川ノ右岸ニ變更シテハ如何ト云フ質問ガアリマシタガ、當局ニ於テハ、此ノ點ニ付テハ此ノ計畫ノ際十分調査ヲ遂ゲマシタガ、江北處分場ノ敷地ハ約五萬坪ヲ要スルトコロ、東京市ノ三河島污水處分場ノ空地ハ僅ニ一萬坪ヨリアリマセヌ、然ルニ之ヲ此ノ狭イ所ニ併置スルコトハ出來マセヌガ爲ニ、他ニ之ヲ求ムルトシタ所ガ、其ノ附近ハ非常ニ其ノ場所ヲ得ルニ困難デアリ、又荒川ノ右岸ハ現在著シク發展致シテ居リマス爲ニ、此處ニ五萬坪ヲ求メマスト云フコトハ尠カラヌ經費ヲ要スルコトニナリマスカラ、彼此深ク調査ノ上デ此ノ原案ヲ採用シタ次第デアルト云フ答辯デアリマシタ、又第二ニハ將來此ノ計畫ヲ執行スルニハ、町村組合ガ致スノカ、或ハ又主管ノ東京府知事ガ致スノカ、孰レデアルカト云フ質問ガアリマシテ、之ニ對シマシテハ提出者ノ議案ノ說明ニアリマス如ク、本計畫ハ各町村相關聯シテ唧筒場及ビ污水處分場ヲ設クルノデテルカラ、之ヲ各町村ニ分立スルコトハ不可能デアリマスカラ、自然町村ニ於テ組合事業トシテ之ヲ執行スルカ、又ハ東京府知事ニ於テ之ヲ執行スルカ、孰レカノ見込デアルケレドモ、所要經費約六百萬圓ヲ要シ、其ノ實施モ將來ニ屬スルコトデアルカラ、今確乎トシタ財政計畫ヲ樹テ、其實行案ヲ定メルト云フコトハ甚ダ困難デアリマス、何レ是ハ更ニ慎重考究ノ上適當ナ方法ヲ講ズル旨ノ當局ノ說明デアリマシテ、其ノ他種々質問應答ノ末、出席者全會一致ヲ以テ原案ヲ可決スルコトニ相成リマシタ、此ノ段御報告致シマス



○計畫課長(土岐銀次郎君) 此ノ際私カラ一言御報告申上ゲタイト思ヒマス、ソレハ下水道ノ特別委員會ガ終了致シマシタ後ニ於キマシテ、遞信省カラ復興局ニ宛テマシテ照會ガアツタノデアリマス、ソレハ此ノ地圖ニアリマス、羽田汚水處分場ノ附近ニ於キマシテ、遞信省ニ於テ約十六萬坪ノ國際飛行場ノ敷地ヲ決定致シタサウデアリマス、此ノ下水幹線ガ丁度其ノ國際飛行場ノ敷地ノ真中ヲ通過スル關係ニアリマスノデ、之ガ變更方ニ付テ照會ガアツタノデアリマス、尙又此ノ幹線ハ既ニ都市計畫事業トシテ決定致シマシタ東京市ノ下水道計畫ノ幹線ニ沿ウテ居リマス關係カラ、既ニ決定致シマシタ東京市ノ下水道計畫ノ幹線ノ位置モ變更ヲ願ヒタイト云フ意味ノ通牒ガアツタノデアリマス、之ニ付キマシテハ地形ノ關係カラ致シマシテ、此ノ附近ハ尙海面デアリマシテ、隨ツテ今日直ニ變更計畫ヲ樹テルコトガ出來ナイ現状ニアリマス、實際事業ニ着手致シマス際ニ於キマシテ、其ノ附近ノ狀況ニ鑑ミマシテ、或ハ幹線ノ位置ヲ變更致スカ、或ハ飛行場ノ使用ニ差支ナイ方法ニ依リマシテ下水管渠ヲ布設致スカ等ノ方法ニ依リマシテ、下水道ニモ、又遞信省ノ飛行場使用ニモ共ニ差支ナイ方法ヲ十分考究致シマシテ、成ベク御希望ニ副フヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、左様ニ御承知ヲ願ヒタイトデアリマス、右御報告申上ゲマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(會長安達謙藏君) 御異議ガナイモノト認メマシテ委員長報告ノ通決定致シマス——次ハ日程

第四議第一三七號内務大臣執行東京及横濱都市計畫事業執行年割變更ノ件

〔幹事朗讀〕

議第一三七號

- 一 内務大臣執行東京及横濱都市計畫事業執行年割變更ノ件  
官計發第一七七號

特別都市計畫委員會

内務大臣ノ執行ニ係ル東京及横濱都市計畫事業執行年割ヲ左ノ通變更セムトス  
右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年三月十三日

内務大臣 安 達 謙 藏

- 一、大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫事業中幹線街路ノ新設、改修及運河ノ新鑿、改修ハ大正十二年度ヨリ昭和五年度迄八箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

街路ノ新設、改修事業執行年割



昭和四年度 約一割二分三厘

昭和五年度 約五分一厘

運河ノ新鑿、改修事業執行年割

昭和四年度 約二割

昭和五年度 約一割七厘

二、大正十三年五月二日内務省告示第二百九號東京都市計畫運河埋立竝改修事業ハ大正十三年度ヨリ

昭和五年度迄七箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

運河埋立竝改修事業執行年割

昭和四年度 約一割四分九厘

昭和五年度 約一分四厘

三、昭和四年六月十五日内務省告示第九十七號東京都市計畫外濠改修事業ハ昭和四年度ヨリ昭和五年度迄二箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ其ノ年割ヲ左ノ通定ム

外濠改修事業執行年割

昭和四年度 約九割五分一厘

昭和五年度 約四分九厘

四、大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫公園ノ新設事業ハ大正十二年度ヨリ昭和

五年度迄八箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

公園新設事業執行年割

昭和四年度 約八分一厘

昭和五年度 約二分三厘

五、大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫事業街路ノ新設、改修事業ハ大正十二年度ヨリ昭和

五年度迄八箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

街路ノ新設、改修事業執行年割

昭和四年度 約六分八厘

昭和五年度 約九厘

説明

内務大臣ノ執行ニ係ル復興事業中東京ニ於ケル街路、河川運河及公園竝横濱ニ於ケル街路ハ昭和四年度ニ完了スル豫定ナリシモ事業執行ノ都合ニ依リ何レモ其ノ執行年限ヲ一箇年延長シ昭和四年度以降ノ執行年割ヲ定メトスルモノナリ

○復興局長官(中川望君) 御説明申上ゲマス、本案ハ内務大臣ノ執行ニ係リマス復興事業ノ中東京市



ニ於ケル街路、河川、運河、公園及ビ横濱市ニ於ケル街路ニ關スル都市計畫ノ事業ノ執行年度ヲ變更セントスルモノデアリマス、先ヅ東京市ニ付キマシテ申上ゲマスルト、第一ニ幹線街路ハ總テ五十二路線ノ新設改修事業ハ大正十二年度ヨリ昭和四年度迄七箇年度繼續事業トシテ執行中デアリマスルガ、街路舗装ト一部未完成ノ部分ガゴザイマスノデ、其ノ執行年度ヲ一箇年延長致シマシテ昭和四年度以降ノ年度割ヲ定メタイト思フデアリマス、ソレカラ第二ハ運河、河川デアリマスガ、築地川外十箇川ノ新鑿改修事業ハ大正十二年度ヨリ、東、西兩堀留川埋立竝ニ改修事業ハ大正十三年度ヨリ昭和四年度迄繼續執行シ來ツタデアリマス、然ルニ前者ニ付キマシテハ横十間川ノ護岸小名木川附近ノ浚渫工事等ノ一部ヲ殘シテ居リマス、後者ニ付キマシテハ東堀留川ノ浚渫工事ヲ年度内ニ完了致シ兼ネマスノデ、尙又外濠ノ改修事業ハ是モ昭和四年度ニ執行致シマシテ一箇年度ニ完了致ス豫定デアリマシタ處、植樹芝張等ノ工事が未完成デアリマスノデ、右三件トモ執行ノ年限ヲ一箇年延長致シマシテ、昭和四年度以降ニ於ケル年度割ヲ決定シテ戴キタイト思フデアリマス、第三ノ公園ニ付キマシテハ、濱町、隅田、錦糸ノ三公園ノ新設事業ハ、大正十二年度以降七箇年繼續事業トシテ其ノ年割ヲ決定致シマシテ、濱町錦糸ノ二公園ハ既ニ竣工シテ開園致シテ居リマスルガ、隅田公園ノ方ノ埋立ヲヤツテ居リマス部分ノ植樹其ノ他ノ設備ガ一部完了セザルモノガアルノデアリマスカラ、是亦執行年限ヲ一箇年延長シテ昭和四年度以降ノ執行年度割ヲ定メテ戴キタイトノ

デアリマス、ソレカラ横濱ニ付キマシテハ、街路ノ中十三線新設改修ヲ致スノデアリマスガ、是モ東京ト同様大正十二年度ヨリ七箇年度繼續事業トシテ執行中デアリマスガ、第一號路線其他一部未完了ノ部分ガアリマスノデ、是亦執行年度ヲ一箇年延長シテ、昭和四年度以降ノ年度割ヲ決定シテ戴キタイトデアリマス、大體繰延ノ事業デアリマス

○六十七番(太田信治郎君) 大體ニ本案ハ年度割ノ延長デ、已ムヲ得ナイコト、存ジマスカラ、本員モ賛成致シマスガ、復興局ハ本年度ヲ以テ大體事業ガ完成シテ閉鎖サレルヤウニ承ツテ居リマスガ、昭和五年度ニ繰延ベマシタ所ノ事業ヲ遂行スル上ニ於キマシテハ、ドウ云フ方法ニ相成リマスカ、此ノ際一寸伺ヒタイト思ヒマス

○復興局長官(中川望君) 復興局ハ三月三十一日ヲ以テ廢止ニナリマシテ、其ノ殘留ニ當ル爲ニ新ニ復興事務局ナルモノガ設ケラレマシテ、其ノ復興事務局ニ於テ是等ノ事業並ニ其ノ他ノ事務ヲ遂行致ス豫定ニナツテ居ルノデアリマス、從來ノ復興局トハ極メテ規模ノ小ナルモノニ致シマシテ、是等ノ殘務ヲ完成シタイト云フ積リデ只今其ノ準備中デゴザイマス

○六十七番(太田信治郎君) 大體本案ハ適當ナ事デ、且又已ムヲ得ナイコト、思ヒマス、原案通即決確定アランコトヲ希望致シマス

○議長(會長安達謙藏君) 御異議ハアリマセヌカ



「異議ナシト呼フ者アリ」

○議長(會長安達謙藏君) ソレデハ原案ノ通決定致シマス——次ハ日程第五議第一三八號東京都市計畫土地區劃整理事業執行年割變更ノ件

〔幹事朗讀〕

議第一三八號

一 東京都市計畫土地區劃整理事業執行年割變更ノ件  
官計發第一七三號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫土地區劃整理事業執行年割ヲ左ノ通變更セムトス  
右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年三月十三日

内務大臣 安 達 謙 藏

大正十三年三月二十日内務省告示第三百三十二號東京都市計畫土地區劃整理事業ハ大正十二年度ヨリ昭和五年度迄八箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

昭和四年度

約一割二厘

昭和五年度

約二分八厘

說 明

内務大臣及東京市長ニ於テ執行スル復興事業中土地區劃整理事業ハ昭和四年度ニ完了スル豫定ノ處事業執行ノ都合ニ依リ其ノ執行年限ヲ一箇年延長シ昭和四年度以降ノ年割ヲ定メムトスルモノナリ

○復興局長官(中川望君) 是ハ内務大臣竝ニ東京市長ニ於テ執行中ニ屬シテ居リマス東京都市計畫土地區劃整理事業デアリマスガ、大正十二年度以降七箇年ノ繼續事業トシテ曩ニ年度割ヲ定メテ執行

シテ居リマシテ、換地處分ハ全部完了致シタノデゴザイマスガ、極メテ僅少ナル街路工事ノ未了ナルモノガアリマスノト、補償金ノ支拂ヲ了セザルモノガアリマス爲ニ、已ムヲ得ズ執行年度ヲ一箇年延長致シマシテ、昭和四年度以降ノ年割ヲ定メタイト云フノデゴザイマス

○六十七番(太田信治郎君) 本案モ大體前同様ノ案デアリマスカラ直ニ可決確定ヲ願ヒタイト思ヒマス

「賛成」ト呼フ者アリ

○議長(會長安達謙藏君) 御異議ガゴザイマセヌカラ本案モ原案ノ通り決定致シマス——次ハ日程第六、議第一三九號、東京府知事執行東京都市計畫事業執行年割變更ノ件



議第一三九號

一、東京府知事執行東京都市計畫事業執行年割變更ノ件  
官計發第一七六號

特別都市計畫委員會

東京府知事ノ執行ニ係ル東京都市計畫事業執行年割ヲ左ノ通變更セムトス  
右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年三月十三日

内務大臣 安達謙藏

一、大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業中街路ノ新設及擴張事業ハ大正十年度ヨリ昭和七年度迄十二箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム  
街路ノ新設及擴張事業執行年割

- 昭和四年度 約一割七分一厘
- 昭和五年度 約七分九厘

- 昭和六年度 約一割一分一厘
- 昭和七年度 約一割四分一厘

二、昭和二年八月十八日內務省告示第四百十號東京都市計畫道路ノ新設、改修事業ハ昭和二年度ヨリ昭和十二年度迄十一箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

- 昭和四年度 約三分六厘
- 昭和五年度 約一分
- 昭和六年度 約一分二厘
- 昭和七年度 約一分四厘
- 昭和八年度 約一割六分九厘
- 昭和九年度 約一割九分一厘
- 昭和十年度 約一割八分五厘
- 昭和十一年度 約二割八厘
- 昭和十二年度 約一割五分六厘

三、大正十一年十一月二十三日內閣認可東京都市計畫目黒川改修事業ハ大正十二年度ヨリ昭和九年度迄十二箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム



- 昭和四年度 約二割六分二厘
  - 昭和五年度 約一割九厘
  - 昭和六年度 約五分六厘
  - 昭和七年度 約六分九厘
  - 昭和八年度 約二分六厘
  - 昭和九年度 約二分三厘
- 四、大正十五年三月六日内務省告示第二十四號東京都市計畫花畑運河ノ新鑿事業ハ大正十四年度ヨリ昭和六年度迄七箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム
- 昭和四年度 約二割八分六厘
  - 昭和五年度 約二割七分一厘
  - 昭和六年度 約六分九厘
- 五、昭和二年三月八日内務省告示第二百七十四號東京都市計畫澁谷川改修事業ハ昭和二年度ヨリ昭和六年度迄五箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム
- 昭和四年度 約四割五分
  - 昭和五年度 約三割二厘

昭和六年度

約七分一厘

説明

東京府知事ノ執行ニ係ル道路、河川運河ニ關スル都市計畫事業ハ府財政並事業執行ノ都合ニ依リ何レモ其ノ執行年限ヲ延長シ昭和四年度以降ノ年割ヲ定メトスルモノナリ

○復興局長官(中川望君) 本案ハ東京府知事ノ執行ニ係ル道路、河川、運河ニ關スル都市計畫事業執行年割ヲ變更致シタイト云フノデアリマス、第一ニ道路ニ付キマシテハ、大正十年五月内閣認可ノ事業ハ大正十年度カラ昭和六年度マデ、又昭和二年八月内務省告示第四百十號ノ事業ハ昭和二年度ヨリ昭和十一年度マデノ繼續事業トシテ執行中デアリマスケレドモ、府財政並ニ事業執行ノ都合ニ依リマシテ執行年度ヲ各一箇年延長致シテ、昭和四年度以降ノ年割ヲ定メントスルモノデゴザイマス、次ニ河川ニ付キマシテハ目黒川改修事業ハ大正十二年度ヨリ昭和五年度ニ至ル八箇年繼續事業トシテ執行中デアリマス、又澁谷川改修事業ハ昭和二年度ヨリ昭和五年度マデ四箇年ノ繼續事業トシテ執行中デアリマスガ、是モ府財政並ニ事業執行上ノ都合ニ依リマシテ、目黒川ハ四箇年、澁谷川ハ一箇年、執行年限ヲ延長致シテ、昭和四年度以降ノ年割ヲ定メントスルモノデアリマス、次ニ運河デアリマスガ、花畑運河ハ大正十四年度ヨリ昭和四年度マデ五箇年繼續事業トシテ執行中デアリマスガ、府財政並ニ事業ノ實績ニ鑑ミマシテ、其ノ執行年度ヲ二箇年延長シテ、昭和四年度以



降ノ年割ヲ定メントスルモノデゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(會長安達謙藏君) 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(會長安達謙藏君) ソレデハ原案ノ通り可決確定致シマス——次ニハ日程第七、議第一四〇號、

東京市長執行東京都市計畫事業執行年割變更ノ件

〔幹事朗讀〕

議第一四〇號

一 東京市長執行東京都市計畫事業執行年割變更ノ件

官計發第一七五號

特別都市計畫委員會

東京市長ノ執行ニ係ル東京都市計畫事業執行年割ヲ左ノ通變更セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年三月十三日

内務大臣 安 達 謙 藏

一、大正十三年三月二十日內務省告示第三百三十三號東京都市計畫事業補助線街路ノ新設、改修ハ大正

十二年度ヨリ昭和五年度迄八箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

補助線街路ノ新設、改修事業執行年割

昭和四年度

約三割一分五厘

昭和五年度

約一分五厘

二、大正十三年七月四日內務省告示第四百二十四號東京都市計畫事業小公園ノ新設ハ大正十三年度ヨ

リ昭和五年度迄七箇年度ニ繼續執行スルコトニ定メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

小公園ノ新設事業執行年割

昭和四年度

約二割五厘

昭和五年度

約一分四厘

三、大正十五年三月六日內務省告示第二十二號東京都市計畫街路ノ改修事業ハ大正十五年度ヨリ昭和

五年度迄五箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

街路ノ改修事業執行年割

昭和四年度

〇



昭和五年度

約一割

四、昭和四年八月六日内務省告示第二百七十二號東京都市計畫街路ノ新設事業ハ昭和四年度ヨリ昭和五年度迄二箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ其ノ年割ヲ左ノ通定ム

街路ノ新設事業執行年割

昭和四年度

約三割三分五厘

昭和五年度

約六割六分五厘

說明

本案ハ東京市長ノ執行ニ係ル復興事業中補助線街路ノ新設、改修及小公園ノ新設竝司法省前街路ノ改修及中央官衙建築地域内第三號路線ノ一部新設ノ各事業ハ何レモ昭和四年度迄ニ執行スルモノトシテ曩ニ年割ヲ決定シタルモ事業執行上ノ都合ニ依リ豫定年度内ニ完成シ難キヲ以テ何レモ其ノ執行年限ヲ昭和五年度迄延長シ昭和四年度以降ノ年割ヲ定メムトスルモノナリ

○議長(會長安達謙藏君) 御異議ハアリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(會長安達謙藏君) ソレデハ原案ノ通り可決確定致シマス——日程第八、議第一四一號、東京都市計畫東京市下水道中變更ノ件

〔幹事朗讀〕

議第一四一號

一 東京都市計畫東京市下水道中變更ノ件

官計發第一八〇號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫東京市下水道中左ノ通變更セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年三月十三日

内務大臣 安 達 謙 藏

大正十三年十二月二十九日内務省告示第七百九十五號東京都市計畫東京市下水道第六中排水區域及其ノ面積、下水道延長竝唧筒場及汚水處分場ノ位置及面積ヲ左ノ通改ム

第一區

高 段

下水道延長

約十二萬九千三百間

中 段

同

約二十六萬五千八百三十間

51  
10



低段區域 日本橋、京橋(月島ヲ除ク)ノ全部、神田、麴町、四谷ノ一部並江

戸川沿岸

面積 約三百三十四萬六千坪

下水道延長 約十七萬一千九百五十間

錢瓶町唧筒場

位置 麴町區大手町二丁目

面積 約四千八十九坪

第二區

下水道延長 約十六萬七千九十間

和泉町唧筒場

面積 約百三十七坪

田町唧筒場

面積 約九百七十八坪

第二區污水處分場

面積 約五萬五千九百三十四坪

第三區

下水道延長 約十八萬九千六百七十間

業平橋唧筒場

位置 本所區中ノ郷八軒町

面積 約一千三百四十四坪

三之橋唧筒場

位置 本所區德右衛門町

面積 約一千四百十六坪

木場唧筒場

面積 約二千六百九十九坪

木場砂町間污水幹線

延長 約一千七百四十間

第三區污水處分場

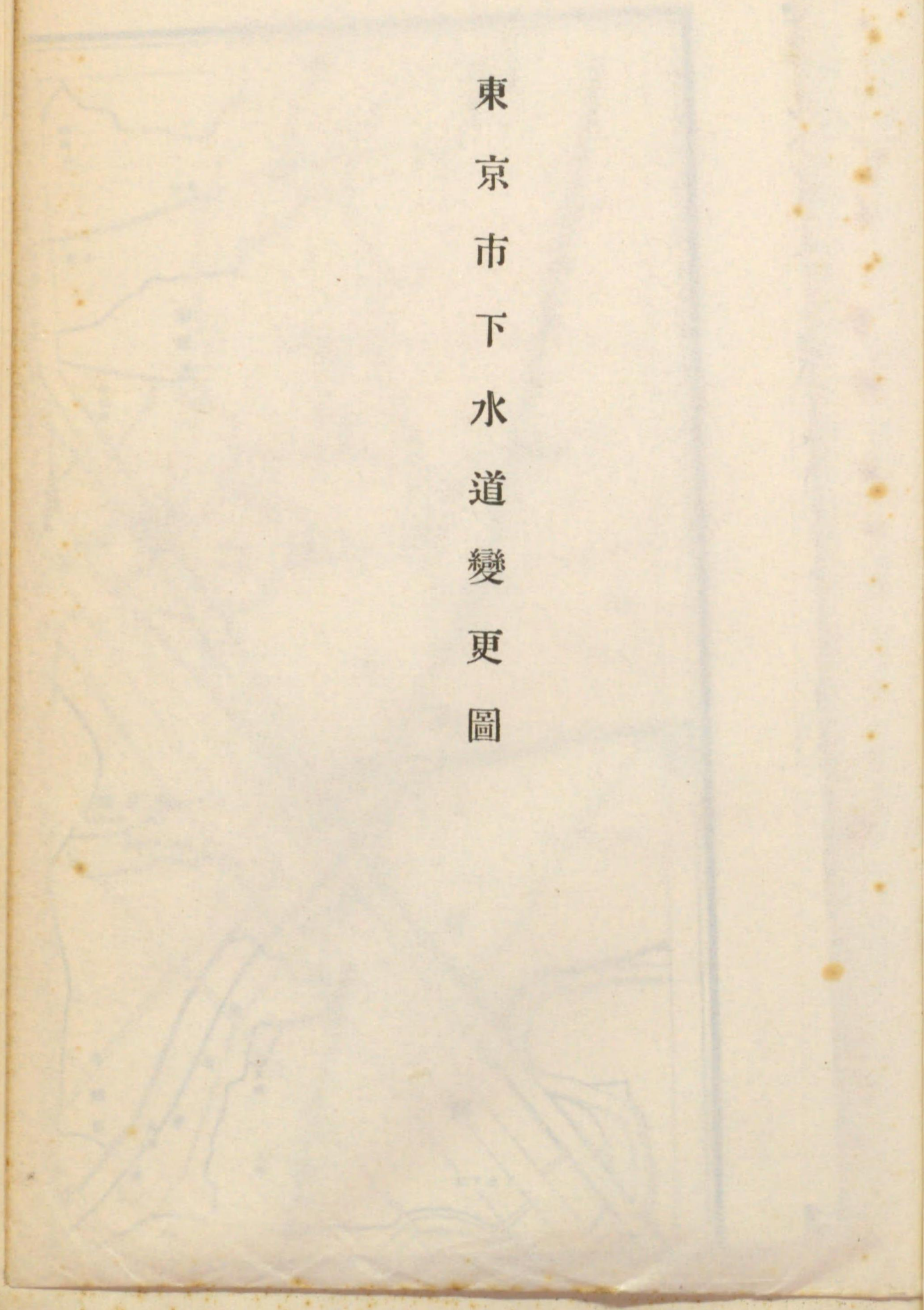
位置 砂町大字本砂町字海面耕地

面積 約六萬二千坪



51  
10

東京市下水道變更圖



(圖面表示)

說明

本案ハ東京市下水道計畫中事業ノ實施竝復興計畫ニ屬スル街路ノ改廢ニ伴ヒ主トシテ汚水處分場竝下水道管線ノ位置、面積及延長ヲ變更シ其ノ他排水區域、唧筒場ノ表示及面積ニ些少ノ變更ヲ加ヘントスルモノナリ



518  
101

東京都

東京

# 折り込み部分

# 未撮影

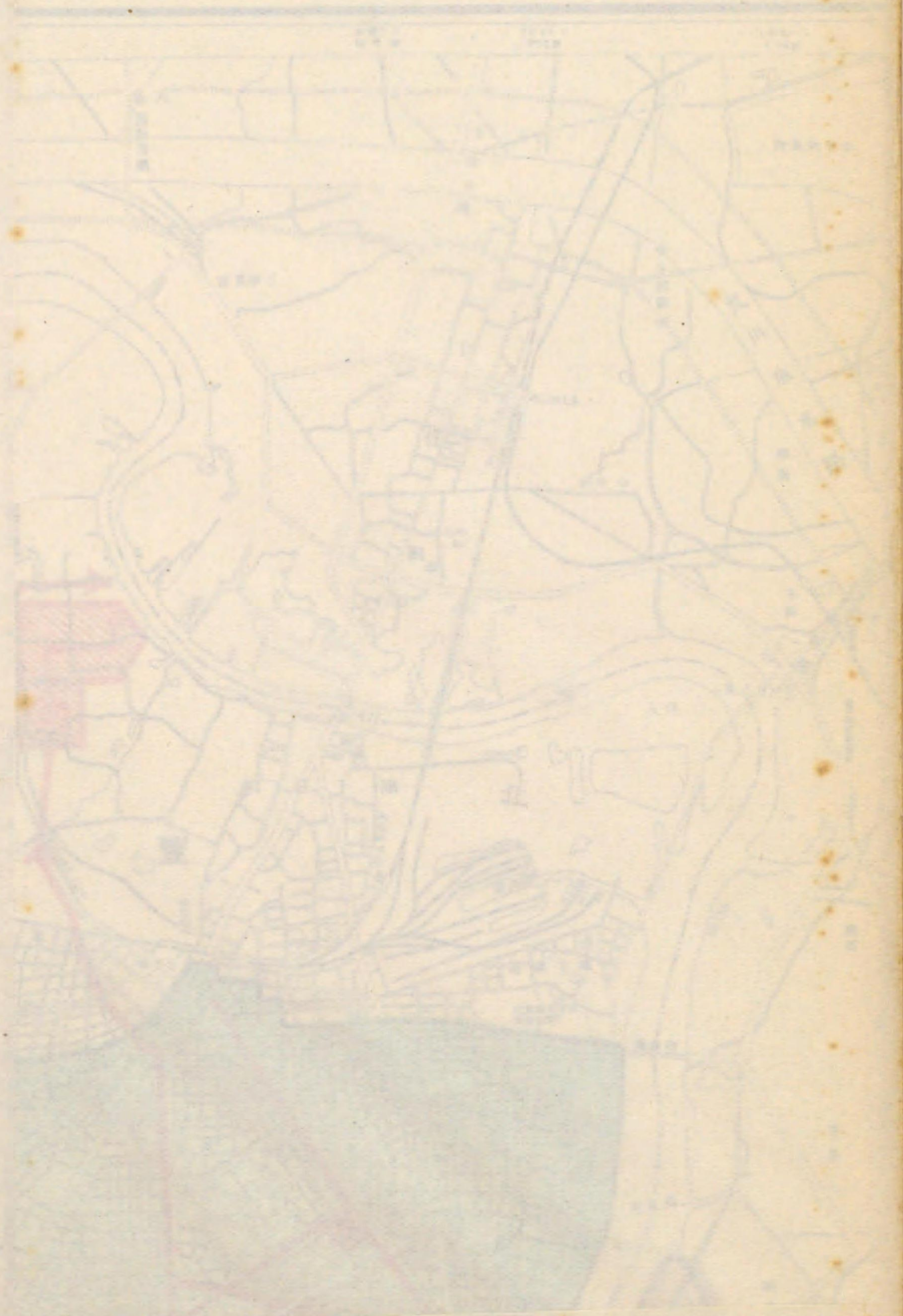
本案ハ東京市下水道計畫中事業ノ實施竝復興計畫ニ屬スル街路ノ改廢ニ伴ヒ主トシテ汚水處分場竝下水道管線ノ位置、面積及延長ヲ變更シ其ノ他排水區域、唧筒場ノ表示及面積ニ些少ノ變更ヲ加ヘントスルモノナリ

説明

(圖面表示)



# 東京都



○復興局長官(中川望君) 本案ハ東京市ノ下水道ノ計畫中一部ヲ變更シヨウト云フノデゴザイマス、其ノ主ナル點ヲ申上ゲマス、第一區排水區域ニ築地中央卸賣市場ノ附近ヲ加ヘマス、砂町汚水處分場ノ位置ガ陸地トノ間ニ滲筋ガ介在シテ居リマス爲ニ、工道施行上相當困難デアルト云フ事ヲ發見致シマシタノデ、之ヲ滲筋ノ北側ニ變更致シタイト云フノデアリマス、又復興計畫ニ屬スル街路ノ改廢ニ伴ヒマシテ、各排水區域内ニ於ケル主要管渠ヲ變更シテ其ノ汚水處分場唧筒場等ノ表示面積等ニ多少ノ變更ヲ加ヘントスルモノデアリマス、事柄ハ極メテ簡單ト存ジマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(會長安達謙藏君) 御異議ガナイヤウデアリマスカラ原案ノ通り可決確定致シマス……次ニ日程第九、東京都市計畫東京市下水道事業及其ノ執行年割變更ノ件

〔幹事朗讀〕

議第一四二號

一 東京都市計畫東京市下水道事業及其ノ執行年割變更ノ件  
官計發第一七四號

特別都市計畫委員會



東京都市計畫東京市下水道事業及其ノ執行年割中左ノ通變更セムトス  
右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年三月十三日

内務大臣 安 達 謙 藏

大正十三年十二月二十九日内務省告示第七百九十六號東京市計畫東京市下水道事業及其ノ執行年割ノ件第二中「神田區ニ屬スル幹線ノ全部」ヲ「神田區ニ屬スル幹線ノ大部」ニ「麴町區芝區ニ屬スル高段幹線ノ全部」ヲ「麴町區ニ屬スル高段幹線ノ全部」ヲ「麴町區ニ屬スル高段幹線ノ大部、芝區ニ屬スル高段幹線ノ全部」ニ改メ其ノ執行年度ヲ昭和五年度迄延長シ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

東京市下水道事業執行年割

昭和四年度 約一割四分七厘

昭和五年度 約一分四厘

說 明

東京都市計畫東京市下水道復興事業ハ大正十三年度ヨリ昭和四年度迄六箇年度ニ執行スルモノトシテ曩ニ年割ヲ決定シタルモ市財政ノ一部ヲ繰延タルト且事業執行上ノ都合ニ依リ豫定年度内ニ完成シ難キヲ以テ執行年限ヲ昭和五年度迄延長シ昭和四年度以降ノ年割ヲ定ムトスルモノナリ

○復興局長官(中川望君) 是ハ復興事業ノ一トシテ東京市長ニ於テ執行中ノ下水道デアリマスガ、事業費總額三千八百七十七萬圓、大正十三年度以降六箇年ノ繼續事業トシテ執行中デアリマス、本年度ニ於テ完成致ス豫定デアリマシタケレドモ、其ノ一部ハ別途失業救濟事業トシテ執行致シマスシ、尙市財政ノ都合ニ依リマシテ一部事業ノ繰延ヲ行フ等、事業ノ内容ニ多少ノ變更ヲ加ヘマシタ、且ツ又殆ド竣功ニ近イ、出來形歩合ガ九割餘ニ達シテ居ルノデアリマスケレドモ、街路ノ改廢等ニ關聯致シマシテ枝線工事ノ一部ガ本年度内ニ完成致シ難イコトニナツテ居リマス旁々執行年限ヲ一箇年延長致シマシテ、昭和四年度以降ノ執行年割ヲ定メヨウトスルモノデゴザイマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(會長安達謙藏君) 御異議ガアリマセスカラ原案ノ通り可決確定致シマス——次ニ日程第十、議第一四三號、横濱市長執行横濱都市計畫事業執行年割變更ノ件

〔幹事朗讀〕

議第一四三號

一 横濱市長執行横濱都市計畫事業執行年割變更ノ件

官計發第一七八號



特別都市計畫委員會

横濱市長ノ執行ニ係ル横濱都市計畫事業執行年割ヲ左ノ通變更セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和五年三月十三日

内務大臣 安 達 謙 藏

大正十三年五月二日内務省告示第二百八號横濱都市計畫事業街路ノ新設、改修ハ大正十三年度ヨリ昭和五年度迄七箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和五年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

街路ノ新設及改修事業執行年割

昭和四年度 約五分八厘

昭和五年度 約五厘

說 明

横濱市長ノ執行ニ係ル復興事業中ニ街路ノ新設、改修事業ハ昭和四年度ニ完成スル豫定ノ處事業執行上ノ都合ニ依リ年度内ニ完成シ難キヲ以テ其ノ執行年限ヲ昭和五年度迄延長シ昭和四年度以降ノ年割ヲ定メトスルモノナリ

○復興局長官(中川望君) 横濱市長ノ執行シテ居リマス街路ノ中デ、第十六號線ノ一部、第二十一號

線ノ路線ノ鋪裝工事等ガ未完成ノ部分ガアリマス爲ニ、執行年度ヲ一箇年延長致シマシテ昭和四年度以降ノ年割ヲ定メタイト云フノデゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(會長安達謙藏君) 御異議ガアリマセスカラ原案ノ通り可決確定致シマス——是デ議案ハ全部議了致シマシタ、此ノ機會ニ當リマシテ私一言御挨拶ヲ申上ゲマス、我國未曾有ノ大震災災後ノ帝都ノ復興ノ大事業ハ本春ヲ以テ完成ノコトニ運ビマシテ、洵ニ芽出タキコトニ存ジマス、畏クモ天皇陛下ニハ近日此ノ都市ノ大部分ヲ御巡視遊バサレマシテ、又復興完成ノ式典ニモ臨御遊バサレルコト ナツテ居リマス、各位ト共ニ洵ニ此ノ上モ無イ光榮ト存ズル次第デアリマス、八年前ヲ回顧致シマスルト全ク夢ノヤウナ心地ガ致シマシテ、彼ノ焦土トナリマシタ焼野ヶ原ニ立ツテ、吾々ハ、イツ此ノ帝都ガ復興セラレルカト云フコトヲ考ヘマシタ時ニ、斯クモ速ニ短キ年月ノ間ニ帝都ノ復興ノ姿ヲ見ルト云フノハ、其ノ際豫想シナカツタコトデゴザイマス、當時人心ハ恟々トシテ不安ニ襲ハレ、甚シキニ至ツテハ遷都ノ論ヲ爲ス者サヘアツタヤウナ次第デゴザイマスルガ、御詔書ハ煥發セラレマシテ、人心ハ安定シ、而シテ朝野一致協力シ、此ノ絶大ナル努力ニ依リマシテ、茲ニ復興ノ事業ノ完成ヲ見ルコトヲ得マシタノハ、洵ニ慶賀ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、此ノ間ニ處シマシテ各位ガ非常ナル御努力ニナリマシテ、而シテ復興事業ノ完成ノ上ニ於テ御配慮御努力ノ



蹟大ニ見ルベキモノガアリマス、此ノ會ハ本會ヲ二十六回開キマシテ、ソレカラ特別委員會ガ二十一回、常務委員會ガ二十二回、合計六十九回會議ヲ開イテ居リマス、非常ナ御努力ニナツタコトヲ私感謝致シマス、此ノ各位ノ御努力ハ永ヘニ忘ラレヌ御功績デアリマスコトヲ茲ニ私ハ衷心ヨリ感謝スル次第デアリマス、此ノ特別都市計畫委員會ハ本年度デ廢止ニナリマシテ、其後ハ震災前ノ制度ニ復スルノデアリマス、就キマシテ此ノ際一言御挨拶ヲ申上グル次第デアリマス。

〔拍手起ル〕

○一番(斯波忠三郎君) 會議ノ終リマスニ際シマシテ一寸一言述べサシテ戴クコトノ御許シヲ得タイ第一ハ皆様ニ甚ダ僭越デゴザイマスケレドモ席次ガ偶々私ハ一番ニナツテ居リマスノデ、此ノ際本會カラ復興局ヲ始メ復興關係ノ官憲ニ對シ一言敬意ヲ表シタイト存ジマス、ドウゾ御許シヲ願ヒタイ(拍手)本會ノ事業ハ只今大臣閣下ノ仰セラレマシタ如ク世界未曾有ノ事業デアアルノデアリマス、ソレガ幸ニ致シマシテ此ノ八年間ニ美事ニ完成ヲ告ゲマシタコトハ全世界ノ驚キデアアルノデアリマス、此ノ事業ニ對シマシテ吾々一同ガ及バズナガラ微力ヲ盡シタニ對シテ、只今大臣閣下ヨリ御叮嚀ナル御挨拶ヲ頂戴致シマシタコトハ甚ダ恐縮デアリマス、同時ニ吾々一同ハ復興ニ關係ノ官憲ニ對シ深ク謝意ヲ表シ敬意ヲ表スル次第デアリマス、簡單デアアリマスケレドモ之ヲ以テ御挨拶ト致シタイト思ヒマス(拍手起ル) 尙此ノ席デ申上グルノガ當ヲ得テ居ルカ否カハ存ジマセスケレド

モ、是デ今回ノ特別都市計畫委員會ハ終了ニナルコト、拜察致スノデアリマスカラ、此ノ場合申スベキ事デナイカモ存ジマセスケレドモ、敢テ私ハ一言希望ヲ申述べテ置キタイト存ジマス、其ノ希望ト申シマスノハ、斯カル大業ガ比較的短日月ノ間ニ於テ列國環視ト申シマスカ、ソレコソ世界ノ注目ノ裡ニ立派ニ完成ヲシタト云フコトハ、先程申上ゲマシタ如ク世界ノ驚キデアアルノデアリマス、現ニ昨年東京ニ開カレマシタ萬國工業會議ニ列席致シマシタ世界中ノ總テノ方面ノ權威者ハ是ハ實ニ世界ノ驚キデアアル、「ジス・イズ・ワンダフル・ゼ・ウォールド」ト云フコトヲ日本ニ來テモ申シテ居リマスガ、歸リマシテモ雜誌ナリ演説デ其ノ事ヲ述ベテ居ルヤウデアリマス、兎ニ角斯カル大業ガ短日月ノ間ニ、豫定ノ計畫ハ色々變更サレタカ知リマセスケレドモ、都合好ク進行シタト云フコトハ、實ニ吾々日本國民トシテノ一大誇リデアアルノデアリマス、就キマシテハ之ヲバ永遠ニ何カ記念ヲスルコトガ必要デナイカト私ハ密カニ考ヘルノデアリマス、ソコデ何レハ此ノ計畫ハ何處カラ出ルカ存ジマセヌガ、私ハ全クソレハ存ジマセヌノデアリマスガ、此ノ計畫ハ何處カラ出ルニ致シマシテモ、政府御當局ハ此ノ計畫ニ對シテ——此ノ計畫ト迄ハ行キマセヌケレドモ、永遠ニ此ノ事業ヲ記念スル事ニ對シテ、ドウゾ十分ノ御考慮ヲ願ヒ、又十分ノ御援助ヲ下サルコトヲ私共ハ切ニ希望スルノデアリマス、此ノ希望ニ對シテ皆様ノ御同意ヲ得テ、此ノ席ニ於テ大臣閣下ニ御願ヒヲ致シテ置キタイト存ズルノデアリマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒタイト存ジマス



〔拍手起ル〕

○議長(會長安達謙藏君) 能ク御趣意ハ解リマシタカラ御希望ニ副フヤウニ考慮致スコトニ致シマス

——ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス

午後四時三十五分散會

# 附 錄

(内務省令 内務省告示)

51  
10



●内務省令第二號

横濱都市計畫事業道路受益者負擔規程左ノ通定ム

昭和五年一月二十二日

内務大臣 安 達 謙 藏

横濱都市計畫事業道路受益者負擔規程

第一條 横濱市ハ昭和三年五月内務省告示第百八號横濱都市計畫道路ノ新設改修中横濱市長ノ執行スル事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條 大正九年九月内務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ道路ノ境界線(街角ヲ剪除シタル部分ニ於テハ其ノ剪除セザル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線)ヨリ道路ノ幅員ノ七倍ノ地域トス

土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路ノ幅員ノ五倍以上十倍以下ノ範圍内ニ於テ増減スルコトヲ得

新設又ハ改修スル道路ノ附近ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘、鐵道、軌道其ノ他地物ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前二項ノ規定ニ拘ラズ別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得  
負擔區劃ハ各路線毎ニ之ヲ定ム



第三條 市長ハ道路ノ幅員、事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ムルコトヲ得

負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ負擔金ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム

第四條 市長ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ地帯トシテ各地帯ノ負擔歩合ヲ定ム

前條ノ規定ニ依リ負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ地帯及負擔歩合ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム

第五條 各受益者ノ負擔金額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

- 一 道路新設ノ場合ニ於テハ其ノ事業費ノ三分ノ一ニ、道路改修ノ場合ニ於テハ其ノ事業費ノ四分ノ一ニ前條ノ負擔歩合ヲ乘ジテ得タル金額ヲ各地帯ノ割當額トス
- 二 新設又ハ改修スル道路ニ接スル地帯ニ在リテハ當該地帯ノ割當額ノ三分ノ一ヲ其ノ道路ニ接スル總間數ニテ除シテ得タル金額ヲ間口割一間當負擔金額トシ、三分ノ二ヲ其ノ地帯内ニ在ル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タル金額ヲ面積割一坪當負擔金額トス
- 三 前號以外ノ地帯ニ在リテハ當該地帯ノ割當額ヲ其ノ地帯内ニ在ル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タル金額ヲ面積割一坪當負擔金額トス

四 新設又ハ改修スル道路ニ接スル土地ニ付テハ間口割一間當負擔金額ニ其ノ道路ノ接スル部分ノ間數ヲ乘ジテ得タル金額ト面積割一坪當負擔金額ニ其ノ土地ノ坪數ヲ乘ジテ得タル金額トノ和ヲ以テ、其ノ他ノ土地ニ付テハ面積割一坪當負擔金額ニ其ノ坪數ヲ乘ジテ得タル金額ヲ以テ各當該土地ノ受益者ノ負擔金額トス

第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項第二號ノ間口割ノ割合ハ二分ノ一以下四分ノ一以上ノ範圍内ニ於テ之ヲ定メ其ノ殘額ヲ面積割トスルコトヲ得

第二條第三項ノ規定ニ依リ同條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル地域ヲ縮小シテ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ第一項第二號及第三號ノ間口割一間當負擔金額及面積割一坪當負擔金額ハ負擔區劃ヲ縮小セザルモノトシテ之ヲ算出ス

道路改修ノ場合ニ於テ其ノ道路ノ幅員ガ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ第一項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路ノ新設ト看做ス

隧道、橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ第一項第一號ノ事業費トスルコトヲ得

第六條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十四分シ事業著手後年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム但シ受益者ノ申請ニ依リ負擔金ノ全部又ハ一部ヲ繰上納付セシムルコトヲ得

51  
10



事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利（所有權ヲ除ク）ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

第七條 負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ之ヲ算出ス

前項ノ負擔金額ガ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第四號ノ場合ニ於ケル減免額ハ寄附額又ハ工費額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 同一ノ土地ニシテ本令ニ依リ重複シテ負擔金ヲ負擔スベキ關係ニ該當スルトキ

二 同一ノ土地ニシテ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ同一年度内ニ重複シテ負擔スベキ關係ニ該當スルトキ

三 地形ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ

四 道路ノ新設又ハ改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者アルトキ

五 道路ノ新設又ハ改修ニ要スル土地ヲ土地區劃整理又ハ耕地整理ノ施行ニ依リ無償ニテ國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入シタルトキ

第九條 第二條第二項及第三項ノ規定ニ依リ定メタル負擔區劃、負擔區、第四條ノ地帶及負擔歩合、第五條第一項ノ間口割一間當負擔金額及面積割一坪當負擔金額、同條第二項ノ規定ニ依リ定メタル間口割ノ割合、事業著手ノ日、第六條第一項ノ期日並事業費豫算額及精算額ハ市長之ヲ告示スベシ第十條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第一條ノ事業中本令施行前ニ著手シタル部分ニ付テハ本令ヲ適用セズ

●内務省令第三號

大正九年九月内務省令第二十八號都市計畫法施行令第九條第四號ノ規定ニ依リ受益者指定ノ件中左ノ通改正ス

昭和五年一月二十二日

内務大臣 安 達 謙 藏

第一號中「路面ノ改良又ハ」ノ次ニ「軌道ノ建設者ハ」ヲ、「其ノ道路、廣場、」ノ次ニ「軌道、」ヲ加フ



本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

大正九年九月六日内務省令第二十八號抄錄

都市計畫法施行令第九條第四號ノ規定ニ依リ指定スルコト左ノ如シ但シ第一號ノ期間ニ付テハ事業  
著手ノ時ヨリ之ヲ起算ス

一都市計畫事業トシテ道路、廣場ノ新設、擴築若ハ路面ノ改良又ハ河川、運河ノ新設、改修ヲ爲シ  
タル場合ニ於テ其ノ道路、廣場、河川若ハ運河ノ附近ニ於テ内務大臣ノ定ムル區劃内ニ有ル有租  
地ノ所有者但シ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者、十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永小作  
權及賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者、永小作人及賃借人

◎内務省令第五號

昭和二年三月内務省令第十一號東京都市計畫事業道路(環狀線、放射線)受益者負擔ニ關スル件左ノ通  
改正ス

昭和五年三月二十二日

内務大臣 安 達 謙 藏

東京都市計畫事業道路受益者負擔規程

第一條 東京府ハ大正十年五月内閣認可東京都市計畫事業街路ノ新設擴張及昭和二年八月内務省告示  
第四百九號東京都市計畫道路ノ新設改修中府知事ノ執行スベキ事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所  
ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條 大正九年九月内務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ道路ノ境界線(街角ヲ剪除シタ  
ル部分ニ於テハ其ノ剪除セザル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線)ヨリ道路ノ幅員ノ七倍ノ地域ト  
ス

土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ地域ヲ道路ノ幅員ノ五倍以上十倍以下  
ノ範圍内ニ於テ増減スルコトヲ得  
新設又ハ擴築スル道路ノ附近ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘、鐵道、軌道其ノ他地物ノ狀況ニ依

51  
10



リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前二項ノ規定ニ拘ラズ別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得

負擔區劃ハ各路線毎ニ之ヲ定ム  
第三條 府知事ハ道路ノ幅員、事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ムルコトヲ得

負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ負擔金ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム

第四條 府知事ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ地帯トシテ各地帯ノ負擔歩合ヲ定ム

前條ノ規定ニ依リ負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ地帯及負擔歩合ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム

第五條 各受益者ノ負擔金額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

- 一 道路新設ノ場合ニ於テハ其ノ事業費ノ三分ノ一ニ、道路擴築ノ場合ニ於テハ合ニ其ノ事業費ノ四分ノ一ニ前條ノ負擔歩合ヲ乘ジテ得タル金額ヲ各地帯ノ割當額トス
- 二 新設又ハ擴築スル道路ニ接スル地帯ニ在リテハ當該地帯ノ割當額ノ三分ノ一ヲ其ノ道路ニ接スル總間數ニテ除シテ得タル金額ヲ間口割一間當負擔金額トシ、三分ノ二ヲ其ノ地帯内ニ在ル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タル金額ヲ面積割一坪當負擔金額トス
- 三 前號以外ノ地帯ニ在リテハ當該地帯ノ割當額ヲ其ノ地帯内ニ在ル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タル金額ヲ面積割一坪當負擔金額トス

ル金額ヲ面積割一坪當負擔金額トス

四 新設又ハ擴築スル道路ニ接スル土地ニ付テハ間口割一間當負擔金額ニ其ノ道路ニ接スル部分ノ間數ヲ乘ジテ得タル金額ト面積割一坪當負擔金額ニ其ノ土地ノ坪數ヲ乘ジテ得タル金額トノ和ヲ以テ、其ノ他ノ土地ニ付テハ面積割一坪當負擔金額ニ其ノ坪數ヲ乘ジテ得タル金額ヲ以テ各當該土地ノ受益者ノ負擔金額トス

第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項第二號ノ間口割ノ割合ハ二分ノ一以下四分ノ一以上ノ範圍内ニ於テ之ヲ定メ其ノ殘額ヲ面積割トスルコトヲ得

第二條第三項ノ規定ニ依リ同條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル地域ヲ縮小シテ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ第一項第二號及第三號ノ間口割一間當負擔金額及面積割一坪當負擔金額ハ負擔區劃ヲ縮小セザルモノトシテ之ヲ算出ス

道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ道路ノ幅員ガ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ第一項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路ノ新設ト看做ス

隧道、橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ第一項第一號ノ事業費トスルコトヲ得

第六條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十四分シ事業著手後年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納



付セシム但シ受益者ノ申請ニ依リ負擔金ノ全部又ハ一部ヲ繰上納付セシムルコトヲ得  
事業著手後、十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル有租地ニ付テ  
ハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキ  
ハ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

第七條 負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ之ヲ算出ス

前項ノ負擔金額ガ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還  
付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ府知事ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第四號ノ場合ニ於ケル  
減免額ハ寄附額又ハ工費額ヲ超ユルコトヲ得ス

一 同一ノ土地ニシテ本令ニ依リ重複シテ負擔金ヲ負擔スベキ關係ニ該當スルトキ

二 同一ノ土地ニシテ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ同一年度内ニ重複シテ  
負擔スベキ關係ニ該當スルトキ

三 地形ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ

四 道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ府知事ノ

適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者アルトキ

五 道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル土地ヲ土地區劃整理又ハ耕地整理ノ施行ニ依リ無償ニテ國若ハ公

共團體ノ所有地ニ編入シ又ハ無償ニテ供用シタルトキ

第九條 第二條第二項及第三項ノ規定ニ依リ定メタル負擔區劃、負擔區、第四條ノ地帶及負擔歩合、第

五條第一項ノ間口割一間當負擔金額及面積割一坪當負擔金額、同條第二項ノ規定ニ依リ定メタル間

口割ノ割合、事業著手ノ日、第六條第一項ノ期日並事業費豫算額及精算額ハ府知事之ヲ告示スベシ

第十條 昭和二年八月内務省告示第四百十號ヲ以テ告示シタル都市計畫事業中本令施行ノ際既ニ著手

セルモノニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ事業著手ノ日ト看做ス

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ府知事之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六條第二項ノ規定ハ本令施行前ニ設定セラレタル權利ニ關シテハ之ヲ適用セズ

本令施行前ニ賦課シタル負擔金ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル但シ受益者ニ關シテハ第六條第二項及

第三項ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

負擔金ノ繰上納付及減免ニ關シテハ前項ノ規定ニ拘ラズ本令ノ規定ニ依ル



◎内務省令第六號

東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔規程左ノ通定ム

昭和五年三月二十二日

内務大臣 安 達 謙 藏

東京都市計畫事業澁谷川改修受益者負擔規程

第一條 東京府ハ昭和二年三月内務省告示第二百七十五號ニ依リ東京府知事ニ於テ執行スル東京都市計畫事業澁谷川改修ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條 大正九年九月内務省令第二十八號ノ區劃ハ河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側ニ於テ河川ノ幅員ノ三倍ノ地域トス

改修前ノ洪水時ニ於ケル浸水ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラズ別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得

第三條 府知事ハ河川ノ幅員、事業執行年度又ハ土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ分チテ負擔區ヲ定ムルコトヲ得

負擔區ヲ定メタル場合ニ於テハ負擔金ハ各負擔區毎ニ之ヲ定ム

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 負擔區劃内ニ在ル土地(受益者ナキ土地ヲ含ム)ニ付利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一坪當負擔指數ヲ定メ之ニ其ノ土地ノ坪數ヲ乘ジテ得タル數ヲ各當該土地ノ負擔指數トス

二 事業費ノ百分ノ十二箇半ヲ前項ノ總指數ニテ除シテ得タル金額ヲ指數一箇當リ負擔金額トス

三 指數一箇當負擔金額ニ各土地ノ負擔指數ヲ乘ジテ得タル金額ヲ以テ各當該土地ノ受益者ノ負擔

金額トス

第五條 前數條ニ定ムルモノノ外河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側各六間ノ區域内ニ在ル有租地ノ所有者ヲシテ事業費ノ百分ノ十二箇半ヲ當該區域内ニ在ル土地ノ總坪數ニテ除シテ得タル一坪當負擔金額ニ各所有者ノ土地ノ坪數ヲ乘ジテ得タル金額ヲ負擔セシム

第六條 橋梁其ノ他特殊ノ工事ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ前二條ノ事業費トスルコトヲ得

第七條 負擔金ハ之ヲ均等ニ四分シ毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム但シ受益者ノ申請ニ依リ負擔金ノ全部又ハ一部ヲ繰上納付セシムルコトヲ得

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス

同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ



最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ以テ受益者トス

前二項ノ規定ハ第五條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ負擔セシムル場合ニ之ヲ適用セズ

第八條 負擔金ハ前年度ノ事業費精算額（負擔金ノ第一回ノ計算ニ付テハ前年度以前ノ事業費精算合計額）ニ依リ之ヲ算出ス

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第三號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額又ハ工費額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 同一ノ土地ニシテ同一年度内ニ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ重複シテ負擔スル關係ニ該當スルトキ

二 土地ノ狀況ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ

三 澁谷川改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ府知事ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シタルトキ

第十條 第二條第二項ノ規定ニ依リ定メタル負擔區劃、負擔區、第四條第二號ノ指數一箇年負擔金額

第五條ノ一坪當負擔金額、第七條第一項ノ期日及事業著手ノ日ハ府知事之ヲ告示ス

第十一條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ府知事之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

51  
10



◎内務省告示第十八號  
東京都市計畫巢鴨町下水道及其ノ事業執行年割左ノ通決定スルノ件昭和五年一月二十五日内閣ノ認可ヲ得タリ(圖面省略)

昭和五年一月三十日

内務大臣 安 達 謙 藏

第一 東京都市計畫巢鴨町下水道ヲ左ノ通定ム

東京都市計畫巢鴨町下水道

- 一 下水排除區域ハ東京府北豊島郡巢鴨町ノ内大字巢鴨一丁目、同二丁目及駒込染井竝鐵道用地ノ各一部ヲ除キタル區域ニシテ總面積約五十六萬六千八百十坪トス但シ地勢ニ依リ本町ニ流入スル隣接市町ノ一部ノ下水ハ是ヲ收容スル計畫トス
- 二 下水排除量ハ汚水量ハ全町人口ヲ約七萬人ト豫想シ一人當リ一日平均六立方尺ノ半量ヲ八時間ニ排泄スルモノトシ雨水量ハ一時間最大降雨量ヲ五十耗トシテ之ヲ定ム
- 三 下水排除方法ハ合流法ニ依リ雨水汚水ヲ同一管渠ニ收容シ自然流下ニ依リ谷田川、谷端川及惡水路ニ排出ス
- 四 下水管渠ノ構造ハ主トシテ暗渠式トシ排水量ノ多寡ニ應シテ陶管、鐵筋「モルタル」管、鐵筋



「コンクリート」管及鐵筋「コンクリート」矩形渠ノ四種ヲ使用ス  
 五 地勢ニ依リ下水排除區域ヲ谷田川排水區谷端川排水區及白山排水區ノ三區ニ分割ス  
 各區ノ區域、面積及下水道延長左ノ如シ但シ工事施行ノ情況ニ依リ多少ノ増減ヲ見ルコトアルベシ

二 谷田川排水區

區 域 大字上駒込、駒込町妙義坂下及巢鴨三丁目ノ各全部並大字巢鴨二丁目、同四丁目、

駒込染井及巢鴨ノ各一部

面積 約三十萬五千九百坪

下水道延長 約二萬百七十九米

谷端川排水區

區 域 大字巢鴨及巢鴨四丁目ノ各一部

面積 約二十三萬九千六百八十坪

下水道延長 約一萬六千六百八十六米

白山排水區

區 域 大字巢鴨一丁目、同二丁目及巢鴨ノ各一部

面積 約二萬一千二百三十坪  
 下水道延長 約二千二百四十米

(圖面表示)

第二 前項ノ計畫ハ之ヲ都市計畫事業トシテ昭和四年度ヨリ昭和八年度迄五箇年度ニ繼續執行スルモ

經費ノトシ其ノ年割左ノ通定ム

下水道事業執行年割

昭和四年度 約一割六分

昭和五年度 約二割六分二厘

昭和六年度 約二割七、四厘

昭和七年度 約二割三厘

昭和八年度 約一割一厘

●内務省告示第二十號

東京都市計畫東京市下水道(失業救濟)事業執行年割左ノ通決定スルノ件昭和五年一月二十五日內閣ノ認可ヲ得タリ

昭和五年一月三十日



内務大臣 安 達 謙 藏

東京都市計畫東京市下水道事業中第一區ニ屬スル高段、低段ノ枝線及同區中段ノ幹枝線並第三區ニ屬スル枝線ノ各一部ハ之ヲ失業救濟事業トシテ昭和四年度ニ於テ執行スルモノトス

●内務省告示第二十一號

東京市區改正設計公園之部中第八號深川公園ノ位置ヲ改メ面積「凡一萬七千八百八坪」ヲ「凡七千七百四十六坪ニ改ムル」件「昭和五年一月二十五日內閣ノ認可ヲ得タリ(圖面省略)」

昭和五年一月三十日

内務大臣 安 達 謙 藏

●内務省告示第二十二號

昭和四年八月六日內務省告示第二百七十二號東京都市計畫街路及廣場ノ新設、改修ノ件第一街路第三號路線ノ次ニ左ノ路線ヲ加フルノ件昭和五年一月二十五日內閣ノ認可ヲ得タリ(圖面省略)

昭和五年一月三十日

内務大臣 安 達 謙 藏

路線番號 路線(起終點及經過地)

延長(約)

幅員

四 麴町區永田町一丁目參謀本部下ヨリ三宅坂ニ至ル

四一七\*

一九、三\*

●内務省告示第二十三號

昭和二年八月十八日內務省告示第四百九號東京都市計畫道路ノ新設、改修中幹線放射道路第一號路線ノ位置ヲ改ムルノ件昭和五年一月二十五日內閣ノ認可ヲ得タリ(圖面省略)

昭和五年一月三十日

内務大臣 安 達 謙 藏

●内務省告示第二十四號

大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業街路ノ部二等大路第二類第一號路線中起點ヨリ赤坂離宮鮫ヶ橋門前ニ至ル區間ヲ昭和四年度ニ於テ執行スルノ件昭和五年一月二十五日內閣ノ認可ヲ得タリ

昭和五年一月三十日

内務大臣 安 達 謙 藏

●内務省告示第二十五號

昭和三年五月一日內務省告示第九號橫濱都市計畫道路ノ新設改修事業及其ノ執行年割中左ノ通變更スルノ件昭和五年一月二十五日內閣ノ認可ヲ得タリ

昭和五年一月三十日

内務大臣 安 達 謙 藏



昭和三年五月一日内務省告示第百九號橫濱都市計畫道路ノ新設、改修事業及其ノ執行年割中幹線道路第二號路線ノ次ニ「第十四號路線」ヲ、第十七號路線ノ次ニ「第十八號路線」ヲ加ヘ昭和四年度以降ノ執行年割ヲ左ノ通改ム

道路ノ新設、改修事業執行年割

昭和四年度 約三割四分五厘

昭和五年度 約一割二分三厘

昭和六年度 約九分五厘

昭和七年度 約九分五厘

昭和八年度 約九分五厘

昭和九年度 約七分八厘

◎内務省告示第六十五號

東京都市計畫郊外下水道左ノ通決定スルノ件昭和五年三月二十二日内閣ノ認可ヲ得タリ(圖面省略)

昭和五年三月二十九日

内務大臣 安達謙藏

東京都市計畫郊外下水道左ノ通定ム

東京都市計畫郊外下水道

第一 下水排除區域ハ東京府南葛飾郡、南足立郡、北豐島郡、豊多摩郡及荏原郡ノ各一部ニシテ總面積約四千二百九十四萬坪ノ區域トス但シ地勢ノ關係ニ依リ本區域内ニ流入スル關係市町村ノ一部ノ下水ハ之ヲ收容スル計畫トス

第二 下水排除量ハ汚水量ハ全區域ノ人口ヲ約三百萬人ト豫想シ一人當リ一日平均六立方尺ノ半量ヲ八時間内ニ排泄スルモノトシ雨水量ハ一時間最大降雨量ヲ五十耗トシテ之ヲ定ム

第三 下水排除方法ハ合流法ニ依リ雨水汚水ヲ同一管渠ニ收容シ高地區域ノ下水ハ自然流下ニ依リ低地區域ノ下水ハ唧筒ヲ用キテ各汚水處分場ニ導水ス

第四 下水處分ハ雨水ハ適所ニ雨水吐ヲ設ケ河海ニ放流スルモ汚水ハ總テ處分場ニ導キ處理シタル後東京灣及荒川ニ排泄ス但シ最大汚水量ニ達スル迄ノ雨水ハ汚水ト共ニ之ヲ處理ス

第五 下水管渠ノ構造ハ雨水吐、隧道等ノ外ハ暗渠式トシテ排水量ノ多寡ニ應ジテ陶管鐵筋「クランク」管、及鐵筋「コンクリート」矩形「渠」三種ヲ使用ス

第六 地勢ニ依リ下水排除區域ヲ砂町系統、三河島系統、石神井系統及羽田系統ノ四排水系統ニ分割ス各排水系統ニ屬スル區域、面積、下水道延長、唧筒場及汚水處分場左ノ如シ但シ工事施行ノ情況ニ依リ多少ノ増減ヲ見ルコトアルベシ



砂町系統

區域 南足立郡千住町、綾瀨村及南葛飾郡南綾瀨町、寺島町、吾嬬町ノ各一部並南葛飾

郡隅田町、龜戸町、小松川町、大島町、砂町ノ各全部

面積 約六百八十八萬三千坪

下水道延長 約一萬三千六百七十米

大島唧筒場

位置 南葛飾郡大島町一丁目

面積 約百五十坪

砂町污水處分場

位置 南葛飾郡砂町大字本砂村

面積 約四萬坪

主要設備 沈砂池、唧筒場、沈澱池及消毒設備等

三河島系統

區域 北豐島郡尾久町ノ全部並南千住町、三河島町、日暮里町及瀧野川町ノ各一部

面積 約二百九十五萬六千坪

下水道延長 約七千二百二十米

三河島污水處分場

位置 北豐島郡三河島町但シ東京市下水道三河島污水處分場ニ併置ス

面積 約一萬坪

主要設備 沈砂池、唧筒場、沈澱池及消毒設備等

石神井系統

區域 北豐島郡王子町、長崎町ノ各全部及板橋町、瀧野川町、岩淵町、西巢鴨町、高田

町ノ各一部並豊多摩郡落合町、野方町ノ各全部及戸塚町、大久保町、淀橋町、中

野町、杉並町ノ各一部

面積 約一千四百一十一萬坪

下水道延長 約三萬二千五百十米 內隧道延長四百五十五米

落合唧筒場

位置 豊多摩郡落合町大字下落合

面積 約四百坪

江北污水處分場



位置 南足立郡江北村大字堀ノ内  
面積 約五萬坪

主要設備 沈砂池、唧筒場、沈澱池及消毒設備等

羽田系統

區域 豊多摩郡和田堀町、代々幡町ノ各全部及杉並町、中野町、淀橋町、千駄ヶ谷町、澁谷町ノ各一部並荏原郡荏原町、品川町、大井町、入新井町、大森町、蒲田町、羽田町ノ各全部及目黒町、大崎町ノ各一部

面積 約一千八百九十九萬一千坪

下水道延長 約五萬八千二十米 内隧道延長一千四百二十五米

淀橋唧筒場

位置 豊多摩郡淀橋町大字角筈

面積 約三百七十五坪

大森唧筒場

位置 荏原郡大森町

面積 約三百坪

羽田污水處分場

位置 荏原郡羽田町大字鈴木新田

面積 約六萬坪

主要設備 沈砂池、唧筒場、沈澱池及消毒設備等(圖面表示)

●内務省告示第六十六號

内務大臣ノ執行ニ係ル東京及横濱都市計畫執行年割左ノ通定ムルノ件昭和五年三月二十二日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和五年三月二十九日

内務大臣 安 達 謙 藏

一、大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫事業中幹線街路ノ新設、改修及運河ノ新鑿、改修ハ大正十二年度ヨリ昭和五年度迄八箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年度ヲ左ノ通定ム

街路ノ新設、改修事業執行年割

昭和四年度 約一割二分三厘

昭和五年度 約五分一厘



運河ノ新鑿、改修事業執行年割

昭和四年度 約二割

昭和五年度 約一割七厘

二、大正十三年五月二日内務省告示第二百九號東京都市計畫運河埋立竝改修事業ハ大正十三年度ヨリ

昭和五年度迄七箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

一、運河埋立竝改修事業執行年割

昭和四年度 約一割四分九厘

昭和五年度 約一分四厘

三、昭和四年六月十五日内務省告示第九十七號東京都市計畫外濠改修事業ハ昭和四年度ヨリ昭和五

年度迄二箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ其ノ年割ヲ左ノ通定ム

外濠改修事業執行年割

昭和四年度 約九割五分一厘

昭和五年度 約四分九厘

四、大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫公園ノ新設事業ハ大正十二年度ヨリ昭和

五年度迄八箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

公園新設事業執行年割

昭和四年度 約八分一厘

昭和五年度 約二分三厘

五、大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫事業街路ノ新設、改修事業ハ大正十二年度ヨリ昭和

五年度迄八箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

街路ノ新設、改修事業執行年割

昭和四年度 約六分八厘

昭和五年度 約九厘

●内務省告示第六十七號

大正十三年三月二十日内務省告示第三百二十二號東京都市計畫土地區劃整理事業ハ大正十二年度ヨリ昭和五年度迄八箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ムルノ件昭和五年三月二十二日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和五年三月二十九日

内務大臣 安達謙藏

昭和四年度 約一割二厘



昭和五年度 約二分八厘

●内務省告示第六十八號

東京府知事ノ執行ニ係ル東京都市計畫事業執行年割左ノ通變更ノ件昭和五年三月二十二日内閣ノ認可ヲ得タリ

昭和五年三月二十九日

内務大臣 安 達 謙 藏

一、大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業中街路ノ新設及擴張事業ハ大正十年度ヨリ昭和七年度迄十二箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム  
街路ノ新設及擴張事業執行年割

昭和四年度 約一割七分一厘

昭和五年度 約七分九厘

昭和六年度 約一割一分一厘

昭和七年度 約一割四分一厘

二、昭和二年八月十八日内務省告示第四百十號東京都市計畫道路ノ新設、改修事業ハ昭和二年度ヨリ昭和十二年度迄十一箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通改ム

昭和四年度 約三分六厘

昭和五年度 約一分一厘

昭和六年度 約一分二厘

昭和七年度 約一分四分

昭和八年度 約一割六分九厘

昭和九年度 約一割九分一厘

昭和十年度 約一割八分五厘

昭和十一年度 約二割八厘

昭和十二年度 約一割五分六厘

三、大正十一年十一月二十三日内閣認可東京都市計畫目黒川改修事業ハ大正十二年度ヨリ昭和九年度迄十二箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ昭和四年度以降ノ年割ヲ左ノ通定ム

昭和四年度 約二割六分二厘

昭和五年度 約一割九厘

昭和六年度 約五分六厘

51  
10